

白神山地世界遺産地域
管理計画

**Shirakami-sanchi World Heritage Area
Management Plan**

平成25年10月
October 2013

環境省
Ministry of the Environment

林野庁
Forestry Agency

文化庁
Agency for Cultural Affairs

青森県
Aomori Prefecture

秋田県
Akita Prefecture

目 次

1. はじめに	1
2. 目的	2
3. 遺産地域の概要	3
(1) 総説	3
(2) 位置等	3
(3) 自然環境	3
(4) 社会環境	5
4. 管理の基本方針	7
(1) 管理の目標	7
(2) 管理体制	7
(3) 地域区分による管理	7
5. 管理の方策	9
(1) 生態系の保全	9
(2) 遺産地域の適正な利用	12
(3) 巡視活動	13
(4) 生態系の保全に配慮した施設整備・管理	13
(5) 環境教育、情報の発信と普及啓発	13
(6) 調査研究・モニタリング	14
(7) 関係行政機関及び地元市町村の体制	14
6. 計画の実施その他の事項	16
(1) 計画の実施	16
(2) 計画の見直し	16
(3) 地元市町村の周辺地域における取組	16
7. おわりに	17

Contents

1. Introduction.....	39
2. Objectives	39
3. Overview of the Property	40
(1) Overview	40
(2) Location.....	40
(3) Natural Environment	41
(4) Social Environment	43
4. Basic Management Policy	45
(1) Management Goal	45
(2) Management Structure.....	45
(3) Management by Area Classification.....	45
5. Management Measures	47
(1) Conservation of Ecosystems.....	47
(2) Appropriate Utilization of the Property.....	50
(3) Patrolling	51
(4) Low-Impact Facilities Development and Management.....	52
(5) Environmental Education, Information Sharing and Awareness Programs.....	52
(6) Surveys, Research and Monitoring.....	52
(7) Organization of the Relevant Government Agencies and Local Municipalities.....	53
(8) Local Cooperation and Collaboration.....	53
6. Implementation of the Plan and Other Issues	54
(1) Implementation of the Plan	54
(2) Review of the Plan	54
(3) Measures by Local Municipalities for the Surrounding Area.....	54
7. Conclusion	55

1. はじめに

白神山地世界遺産地域（以下「遺産地域」という。）のブナ林は、優占度の高さや優れた原生状態の保存、動植物相の多様性で世界的に特異な森林であり、氷河期以降の新しいブナ林の東アジアにおける代表的なものである。

また、様々な群落型、更新のステージを示しつつ存在している生態学的に進行中のプロセスとして顕著な見本となっている。本地域のこうした自然環境は、平成5年（1993年）12月の第17回世界遺産委員会において世界遺産のクライテリア（評価基準）に合致する顕著な普遍的価値を有すると認められ、世界自然遺産に登録された。

このように世界的にも類まれな価値を有する遺産地域の自然環境を人類共有の資産と位置付け、より良い形で後世に引き継いでいくものとする。

2. 目的

白神山地の世界自然遺産としての価値をより良い形で後世に引き継いでいくに当たり、極めて多様な価値を有する遺産地域の自然環境を将来にわたり適正に保全・管理していくことを目的として、平成7年（1995年）11月に白神山地世界遺産地域管理計画（以下「管理計画」という。）が策定された。管理計画が策定されてから17年が経過し、現状に即した管理を実施するため、改定する。この管理計画は、遺産地域の保全に係る各種制度を所管する環境省、林野庁、文化庁、青森県及び秋田県（以下「関係行政機関」という。）が「白神山地世界遺産地域科学委員会」（以下「科学委員会」という。）の助言を得つつ、生態系の順応的管理を進めるとともに、地元市町村（青森県鮎ヶ沢町、深浦町及び西目屋村並びに秋田県能代市、藤里町及び八峰町をいう。以下同じ。）等の協力を求めつつ、遺産地域を適正かつ円滑に管理するため、各種制度の運用及び各種事業の推進に関する基本的な方針を明らかにする。

3. 遺産地域の概要

(1) 総説

白神山地は、日本の本州の北部、日本海側の標高約200mから1,250mの山地帯に位置する東アジアで最大の原生的なブナ属（*Fagus*属）の森林が広がる地域で、約12,000～8,000年前から北日本の丘陵や山地を覆っていた冷温帯ブナ林が残存している。

現在、ヨーロッパ、東アジア、北米大陸に分布するブナ属の森林は、氷期以前の周北極地域（北極を取り囲む地域）の植生が起源であるとされている。これらの植生が、氷期において周北極地域から分布域を変化させる過程で、東西に広がる山岳地域によって南下を阻まれた結果、現在の北アメリカやヨーロッパにおけるブナ属の森林の多くは植生が単純化している。一方、白神山地を含む日本のブナ林は、氷期において南下を阻まれることなく日本南部に避難していたブナを含む周北極地域起源の植生が晩氷期以降に再び分布を拡大した極相林であることから、第三紀周北極植物群（約5,000万年前の北極を取り囲む地域の植物群）の多くの要素を含んでいる。

白神山地では、日本海側の内陸部に特徴的で世界的にも稀な多雪環境を反映して、日本固有のブナ（*Fagus crenata*）を単一の優占樹木とした森林を形成し、常緑性のチシマザサに代表される林床植物を含む多様な植物を伴った特有の植物群落が形成されている。

また、白神山地には、老齢林を含む多様な森林環境を必要とするクマゲラなどの希少な鳥類、ニホンカモシカ、ツキノワグマ、ニホンザルなどの大型哺乳類が生息し、これらを始めとした多くの種が相互作用を持ちながら、生態系の構成要素として機能している。

遺産地域は、多雪環境を反映したブナ林と急峻な地形を有した白神山地の中心部に位置しており、人為の影響をほとんど受けることなく、原生的なブナ天然林が大面積にわたって成立してきた地域である。

遺産地域は、その全域が林野庁所管の国有林野である。また、環境省、林野庁、文化庁、青森県及び秋田県により各種保護地域等（白神山地自然環境保全地域、白神山地森林生態系保護地域、天然記念物、津軽国定公園等の自然公園、国指定白神山地鳥獣保護区、国内希少野生動植物種及び保安林）に指定され、自然環境の保全が担保されている。

(2) 位置等

遺産地域は、青森県南西部と秋田県北西部の県境にまたがる北緯40度21分～40度33分、東経140度0分～140度13分に位置し、標高約200mから1,250mの向白神岳に及ぶ山岳地帯で、遺産地域の面積は16,971haである。

関係する町村は、青森県西津軽郡鰺ヶ沢町、深浦町及び中津軽郡西目屋村並びに秋田県山本郡藤里町である。

(3) 自然環境

ア. 地形・地質

白神山地は河川によって開析され、深い溪谷をなした陰しい地形となっており、青森県側は岩木川水系の大川（西目屋村）や、赤石川（鰺ヶ沢町）、迫良瀬川（深浦町）、笹内川（深浦町）、秋田県側は米代川水系の粕毛川（藤里町）などの河川が、遺産地域を源流部として日本海に注いでいる。

白神山地一帯は隆起地域のため、侵食によってできた急斜面が発達しており、崩壊や地すべりが多く見られるのが特徴となっている。一方、そのような侵食の及んでいない尾根付近は比較的緩やかな傾斜を成しており、青森・秋田県境沿いの秋田県側（藤里町）小岳や二ツ森、青森県側（深浦町）の白神岳、向白神岳など、標高1,000m級の山々が連なっている。

白神山地の地質は、主として9,000万年前（中生代白亜紀）にできた花崗岩類を基盤に、2,000万年～数百万年前頃（新生代第三紀）の堆積岩（凝灰岩、泥岩、砂岩）とそれをつらぬく貫入岩類（地中のマグマが上昇してできた岩。流紋岩、安山岩等）で構成されている。

イ. 気候

白神山地は、日本海側の気候に属しており、日本国内でも特に四季の移り変わりが明瞭である。

春は、概ね4月から5月にかけて雪解けとともに新緑が訪れ、動植物の活動が盛んになる。夏は、6月から一気に気温が上昇し9月まで山間部でも高温となる。秋は、急激に気温が低下し、種類の豊富な樹木の紅葉が白神山地全体を彩る。冬は、11月頃から降雪がはじまり、低温で日本海側特有の北西の強い季節風が吹き、白神山地一帯に深い積雪をもたらす。

遺産地域内の櫛石山（鯨ヶ沢町）の尾根部（標高 615mの地点）での気象観測データ（1999 年以降）によると、年平均気温は 7.2℃で、最寒月（1 月）の平均気温は-4.7℃、最暖月（8 月）の平均気温は 20.5℃である。1 年の半分近くは雪に覆われ、最深積雪の平均は約 4 m に達する。

ウ. 植物

白神山地を代表する植物群落は、我が国の冷温帯における気候的極相であるブナ林である。白神山地のブナ林はイタヤカエデ、オオバクロモジ、タムシバ等が多く混生し、日本海側の典型的なブナ林の植生タイプであるブナ・チシマザサ群集に代表される。また、溪畔や地すべりで形成された崖錐等にはサワグルミ群落が広がっており、山麓にはミズナラ群落が出現する。高度 1,000m 以上の主要尾根付近には低木状のダケカンバやミヤマナラ、アカミノイヌツゲを中心とした風衝型群落がみられ、山頂付近の露岩地などには局所的にハイマツ群落も発達している。この他、上流域の溪谷に面する岩の多い痩せた尾根にはキタゴヨウ群落やクロベ群落が分布している。草本群落としては、白神岳山頂付近の尾根上などを中心に、ゼンテイカ、トウゲブキ、チシマフウロなどからなる高茎草本群落、雪崩斜面などにはタニウツギ・ヒメヤシャブシ群落やオオイタドリ、オオヨモギ、タヌキランなどから成る高茎草本群落などがみられる。さらに、一部の突出した岩石の露頭箇所では、アオモリマンテマやシコタンソウなどで構成される草本群落、溪谷に面した斜面や岩場では、ヒトツバヨモギ、オオヨモギ、フキユキノシタ、オシマオトギリ、クロバナヒキオコシなどで構成される草本群落が発達している。

植物相を構成する種には日本海側の多雪地帯を中心に分布する日本海要素の植物が多く、林内や山頂部の風衝地、崖錐、露頭部の岩礫地等の多様な立地において 540 種以上の多様な植物が確認されている。これらの植物の中には、白神山地の固有変種であるシラガミクワガタや、白神山地を中心とした僅かな地域にしか生育していない準固有種であるアオモリマンテマ、ツガルミセバヤ、オガタチイチゴツナギ等が含まれている。また、クロベ、ウチョウラン、トガクシショウマ、オニシオガマ等の分布限界に近い種やシコタンソウ、シロウマアサツキ、リシリシノブ、チシマフウロ、シナノキンバイ、コミヤマハンショウヅルといった各種の高山植物などの貴重な植物がみられる。

エ. 動物

白神山地の哺乳類は、これまでに 35 種の生息が確認されており、中でもクロホオヒゲコウモリ、モリアブラコウモリ、コヤマコウモリ等のコウモリ目が多いことが特徴である。確認されている哺乳類の多くはニホンザル、ツキノワグマ、ニホンカモシカを始めとする森林性の種であり、溪流にはカワネズミ等、やや攪乱された開放的な環境にはホンドキツネ、ホンドタヌキ等が生息している。哺乳類のうち、ニホンカモシカは特別天然記念物に、ヤマネは天然記念物にそれぞれ指定されている。

鳥類は、これまでに 94 種の生息が確認されており、特に樹洞に生息する種が多いのが特徴である。ブナ林を始めとする森林では、樹洞で繁殖するコノハズク、ブッポウソウ、クマゲラ等のほか、キビタキ、ゴジュウカラ、クロジ等の様々な森林性鳥類が生息しており、食物連鎖の頂点に位置付けられるイヌワシやクマタカ等の大型猛禽類も生息している。また、溪流にはシノリガモ、カワガラス、アカショウビン等が生息している。鳥類のうち、イヌワシ、クマゲラは天然記念物に指定、イヌワシ、クマタカ、オオタカは国内希少野生動植物種に指定されている。

爬虫類は、生息に適した森林や餌動物が多く、ニホントカゲ、タカチホヘビ、シロマダラを含む 9 種が確認されている。

両生類は、落葉広葉樹林であるブナ林に覆われているため、湿り気のある場所や餌になる昆虫などが大変多く、産卵場所にも恵まれており、ハコネサンショウウオ、クロサンショウウオ、カジカガエル、モリアオガエルを含む 13 種が確認されている。

魚類は、全域にエゾイワナ、カジカ大卵型が生息し、一部の河川でスナヤツメ、エゾウグイが確認されている。

昆虫類は、2,200 種以上が確認されている。ブナ林には、フジミドリシジミ、ヨコヤマヒゲナガカミキリ等、ブナに依存する昆虫類が生息している。白神山地に固有の昆虫類としては、シラカミメクラチビゴミムシ、シラカミナガチビゴミムシ等が知られている。

(4) 社会環境

ア. 歴史

白神山地とその周辺における人の営みの歴史は、縄文時代（旧石器末期から新石器までに相当）にまで遡る。縄文時代の遺跡は、鯨ヶ沢町、深浦町（旧岩崎村）等の海岸段丘上、西目屋村の岩木川沿いの砂子瀬地区を中心に分布している。

鎌倉時代（1185 年～）に入ると、幕府の支配が津軽にも及ぶようになり、南北朝期の正平 15 年（1360 年）頃には、根城南部氏が白神山地及びその周辺の目谷郷（現西目屋村）をも支配するようになったとされている。

17 世紀後半に入ると弘前藩では山林保護と造林からなる林業政策が整備され、白神山地でも木材生産のための伐採が行われるようになる。

18 世紀に入ると、白神山地東側の西目屋地域では尾太鉾山を中心とした銅鉛鉾山が最盛期を迎え、坑道の維持や製錬用としての木材の生産のための伐採が行われるようになる。また、18 世紀末、弘前藩では目屋野沢地域（現西目屋村）を流木（ながしぎ＝薪材の呼称）の生産地と位置付け、十箇年廻伐（薪材を伐採する輪伐）のルールを設定して計画的な伐採を行ったとされる。19 世紀頃の白神山地の様子は、日本画家である平尾魯僊の「暗門山水観」（現存する絵は、弟子の山形岳泉の写）により描かれており、暗門川流域（現西目屋村）で流木を伐り出す目屋地域の人々の生業の様子を伺うことが

できる。

20 世紀に入ると、当時の農商務省山林局が所管する森林について、国有林野施業案編成規程に基づく施業案の編成が進められ、国有林野として計画的な森林施業が実施されるようになった。

高度経済成長期には、木材需要の増大に対応するため全国的に天然林の伐採が進められ、白神山地では中央部を縦断する「青秋林道」が計画された。これに対し、地域住民等から天然林等に対する保護の要請が高まり、計画は中止された。このように、昭和 60 年代に入り、原始的な森林生態系の保全など自然保護への配慮が一層求められるようになったこと等を受け、平成 2 年（1990 年）3 月には、林野庁が白神山地の中心部の保全と学術的利用などを図る目的で約 1 万 7 千 ha を森林生態系保護地域に設定するとともに、平成 4 年（1992 年）7 月には環境庁（現環境省）が自然公園を除く地域を自然環境保全地域に指定した。

その後、平成 4 年（1992 年）10 月には世界遺産委員会に推薦書が提出され、平成 5 年（1993 年）12 月に屋久島とともに日本初の世界自然遺産に登録された。

イ. 利用状況

白神山地では、藩政時代以来、木器作りや薪炭生産などの木材利用や食用としての山菜やキノコ類などの利用が盛んに行われてきた。また、鉱物資源の開発も行われ、青森県側では尾太鉱山を中心とする湯ノ沢川沿いの銅鉛鉱山群が知られ、秋田県側でも太良鉛山が繁栄した。一方で、遺産地域を含む白神山地の中心部では、地形が急峻なために、人為による大きな影響は少なく、ブナ林の原始的な状態が保持されてきた。

また、白神山地では 17 世紀から弘前藩領内において「狼荒れ」「熊荒れ」など野生動物と地域住民の生業活動との間で農作物被害や人身事故などの軋轢が生じ、藩の日記に記録されるようになる。そして「またぎ役」と呼ばれる藩の在郷足軽として農民の一部が野生動物に対応する役割として位置づけられるようになった。「マタギ」と呼ばれる伝統的な狩猟文化を継承する狩猟者集団は、農業や山住の杣夫（樵など）を主生業としつつ、秋季から春季までを中心にブナ林の奥に分け入り、ツキノワグマを始めとする野生動物を獲り生活資源あるいは換金資源として活用する狩猟活動を副業として生活してきた。マタギは山の神を信仰し、すべての獲物は山の神の授かりものと考えするなど、独特の自然観により、自然と共生する生活様式を継承し、また、そうした歴史的な経験の蓄積によって醸成されてきた独自の知識体系を有して現在に至っている。加えて、薬草利用を含む山菜やキノコの採集活動も近世初頭（16 世紀）の古文書記録から確認でき、その持続的な山野の資源利用が広範におよんでいたことを裏付けている。

現在では、白神山地の恵みを基盤とした伝統的な生活様式に基づく利用を残しつつも、観光、自然探勝、登山等の利用が主体となっている。

ただし、遺産地域内については、世界自然遺産登録による知名度の上昇に伴う入山者の増加による自然環境への影響が懸念されたため、地域住民や利用者、有識者、行政が加わった場での議論を経て、一部地域を除き、立入りが制限されている。

現在の遺産地域及びその周辺への入山者数は概ね年間 5 万人前後とみられている。

4. 管理の基本方針

（１）管理の目標

世界自然遺産登録時に評価された白神山地の顕著な普遍的価値（クライテリア：生態系）である東アジア最大のブナ林とその生態系を、将来にわたって保全していくことを目標とする。

このため、人手を加えずに自然の推移に委ねることを基本とし、各種制度に基づき厳正な保護を図るとともに、必要に応じて外来種対策等の能動的な管理を行うこととする。また、管理を行うに当たっては科学的知見やモニタリング結果等を踏まえつつ、順応的に行うこととする。

クライテリア（ix）（生態系）：

陸上・淡水域・沿岸・海洋の生態系や生物群集の進化、発展において、重要な進行中の生態学的過程又は生物学的過程を代表する顕著な見本である。

（２）管理体制

遺産地域の管理に当たっては、関係行政機関と地元市町村の連絡調整の場として「白神山地世界遺産地域連絡会議」（以下「連絡会議」という。）を設置する。関係行政機関は相互に緊密な連携・協力を図るとともに、地元市町村の協力を得つつ、一体となって遺産地域の適正かつ円滑な管理を行う。また、遺産地域の管理を効果的に実施するためには、地元の理解と協力の増進が不可欠であることから、関係行政機関及び地元市町村は、関係団体及び地元住民等との連携を図る。

連絡会議は、科学的なデータに基づく順応的な管理に必要な助言を得るため、学識経験者による科学委員会を設置する。

（３）地域区分による管理

遺産地域を、①特にすぐれた植生を有し、また、人為の影響をほとんど受けていない核心的な地域（以下「核心地域（A地域）」という。）、②核心地域の周辺部の緩衝帯としての役割を果たす地域（以下「緩衝地域（B地域）」という。）の２種類の管理区分に分け、この管理区分に沿って管理を行う。

管理区分の面積

核心地域（A地域）	10,139 ha
緩衝地域（B地域）	6,832 ha
計	16,971 ha

ア. 核心地域（A地域）

核心地域（A地域）は、人手を加えずに自然の推移に委ねることを基本とし、工作物の新築や土石の採取など、自然環境の保全上支障を及ぼすおそれのある行為は、学術研究等特別の事由がある場合を除き、各種保全制度に基づき厳正に規制する。当該地域は、その全域が森林生態系保護地域の保存地区、大部分が自然環境保全地域の特別地区及び野生動植物保護地区、一部が国定公園の特別保護地区として保護されている。

また、今後とも本地域の良好な自然環境を保全するため、既存の歩道を利用した登山等を除き本地域への立入りを制限する。なお、制限の態様については、入り込みの状況、科学委員会からの助言、地元の意見等を踏まえたものにする。

イ．緩衝地域（B地域）

緩衝地域（B地域）は、現状の保全を図ることを基本とし、必要に応じ、一定の行為を規制する。特に、核心地域（A地域）の自然環境に影響を及ぼす行為については、厳正に規制する。当該地域は、その全域が森林生態系保護地域の保全利用地区、大部分が自然環境保全地域の普通地区、一部が国定公園の特別保護地区又は特別地域、県立自然公園となっている。

5. 管理の方策

（１）生態系の保全

ア. 基本的な考え方

遺産地域が有する原始性、生物多様性及び優れた自然景観を将来にわたって保全するため、これらの基盤となる生態系の構造と機能を維持する。

原則として人手を加えず自然の推移に委ねることとし、特定の生物や人為的活動等が生態系に著しく悪影響を及ぼす可能性がある場合には、これら特定の生物等の影響の緩和や生物多様性の維持等に有効な対策を講じていくものとする。

また、遺産地域の生態系は多種多様な生物種により構成されており、こうした複雑で将来予測が困難な生態系については、順応的管理を行う必要がある。このため、関係行政機関は地元市町村、大学・研究機関、その他の学識経験者などと連携して遺産地域のモニタリングを推進し、適正な管理を行う。

イ. 遺産地域における保護制度等

（ア）自然環境保全地域

「自然環境保全地域」は、優れた自然環境を維持している地域など一定の要件を満たす区域のうち、その区域における自然環境を保全することが特に必要な地域として、環境大臣が「自然環境保全法」に基づき指定し管理する地域である。

同法に基づき、平成４年（1992年）７月、白神山地の中心部の地域が「白神山地自然環境保全地域」に指定された。本地域には、特に保全を図るべき土地の区域である「特別地区」が指定されており、工作物の新築、土地の形質の変更、土石の採取、木竹の伐採などの行為は、環境大臣の許可が必要とされている。これと同一の地域が「野生動植物保護地区」に指定されており、保護対象となっている108種類の植物の採取、損傷が禁止されている。これらの地区は、すべて遺産地域の核心地域（Ａ地域）に含まれている。

特別地区以外の地域は「普通地区」であり、一定規模以上の工作物の新築、土地の形質の変更等の行為について環境大臣への届出が必要とされている。普通地区は、すべて遺産地域の緩衝地域（Ｂ地域）に含まれている。

（イ）自然公園（国定公園、県立自然公園）

「自然公園」は、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的として「自然公園法」に基づき指定される公園であり、自然環境保全地域を除く遺産地域は「国定公園」、「県立自然公園」のいずれかに指定されている。

本遺産地域には、環境大臣が同法に基づき指定し、青森県知事が管理している「津軽国定公園」（昭和 50 年（1975 年）３月指定）と、青森県知事が条例に基づき指定し管理している「赤石溪流暗門の滝県立自然公園」（昭和 56 年（1981 年）７月指定）、及び秋田県知事が条例に基づき指定し管理している「秋田白神県立自然公園」（平成 16 年（2004 年）８月指定。旧きみまち坂藤里峡県立自然公園。）が含まれている。津軽国定公園には、公園の保護及び利用上重要な地域であって工作物の

新築や木竹の伐採、環境大臣が指定する植物の採取等の行為は県知事の許可が必要とされている「特別地域」、及び公園の核心的部分を厳正に保護する地域であって工作物の新築や木竹の伐採、植物の採取等に加え、動物の捕獲等、落葉落枝の採取やたき火なども県知事の許可が必要とされている「特別保護地区」が指定され、それぞれの地種区分に応じて規制されている。両県立自然公園には特別地域が指定され、同様の規制が行われている。

（ウ）森林生態系保護地域

「森林生態系保護地域」は、我が国の森林帯を代表する原生的な天然林が相当程度まとまって存在する地域を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業管理技術の発展、学術研究等に資することを目的としている。本地域は、林野庁が「国有林野の管理経営に関する法律」に基づき計画的に国有林野の管理経営を行う中で、地域ごとの具体的な管理経営の計画策定に係る細部事項を定めた「国有林野管理経営規程」により策定された「国有林野施業実施計画」に基づき設定し管理する地域である。

本制度に基づき、平成 2 年（1990 年）3 月に白神山地の中心部の地域が「白神山地森林生態系保護地域」に設定された。「保存地区」は、最も原生的状況を呈する林分で、森林生態系の厳正な維持を図る地区であり、学術研究や非常災害時の応急処置のための行為等を除き、原則として、人手を加えずに自然の推移に委ねることとしている。「保全利用地区」は、保存地区の森林に外部の環境変化の影響が直接及ばないよう緩衝の役割を果たす地区であり、木材生産を目的とする森林施業は行わず、自然条件等に応じて、森林の教育的利用、大規模な開発行為を伴わない森林レクリエーションの場としての活用を行うものとしている。

遺産地域は、全域が森林生態系保護地域と重複しており、その保存地区が本計画の核心地域（A 地域）と、保全利用地区が緩衝地域（B 地域）と一致している。

（エ）天然記念物

「天然記念物」は、動植物（生息地、繁殖地、渡来地及び自生地を含む。）、地質鉱物（特異な自然現象の生じている土地を含む。）で我が国にとって学術上価値の高いもののうち重要なものを保存することを目的とし、文部科学大臣が「文化財保護法」に基づき指定するものである。また、「天然記念物」のうち特に重要なものを「特別天然記念物」に指定することができる。

遺産地域に生息する動物のうち、カモシカ（ニホンカモシカ）が特別天然記念物に、また、クマゲラ、イヌワシ、ヤマネの 3 種が天然記念物に指定されている。

天然記念物の現状を変更し、又はその保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは文化庁長官の許可が必要である。

（オ）鳥獣保護区

「国指定鳥獣保護区」は、国際的又は全国的な鳥獣の保護の見地から、鳥獣の保護のため重要と認める区域について、環境大臣が「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」に基づいて指定する区域である。

同法に基づき、平成 16 年（2004 年）3 月、遺産地域と重複する地域が「国指定白神山地鳥獣保護区」に指定され、狩猟が禁止されている。

（カ）国内希少野生動植物種

「国内希少野生動植物種」は、本邦に生息又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づき指定するものである。

遺産地域に生息する動物のうち、オオタカ、イヌワシ、クマタカが「国内希少野生動植物種」に指定されており、捕獲、殺傷、譲渡し等が禁止されている。

（キ）保安林

「保安林」は、水源のかん養、土砂の流出の防備、生活環境の保全・形成等、特定の公共目的を達成するため、「森林法」に基づき農林水産大臣又は都道府県知事が指定する森林である。

遺産地域の全域が農林水産大臣が指定する水源かん養保安林である。

当該保安林における立木の伐採や土地の形質の変更等の行為については、都道府県知事の許可が必要である。

（ク）禁止区域（水産動植物の採捕）

「禁止区域」は、水産動植物の繁殖保護を図るため、漁業法に基づき遺産地域に関係する各内水面漁業協同組合が、「第5種共同漁業権遊漁規則」及び「第5種共同漁業権行使規則」により指定する区域である。

ウ．生態系の保全・管理

遺産地域には、白神山地を代表するブナ林のほか、多様な植物群落が成立しており、それを基盤として様々な動物が生息している。

これらの多様な生態系を包含する遺産地域は、その全域が国有林野であり森林生態系保護地域に設定されているほか、大部分が自然環境保全地域、一部が自然公園に指定されている。関係行政機関は、これらの保全制度に基づき、専門家等と連携・協力を図りながら、多様な生態系を一体的に保全・管理する。

遺産地域に生育する植物については、遺産地域が自然環境保全地域、森林生態系保護地域、自然公園及び保安林に指定・設定されていることから、その全域において各種開発行為や樹木の伐採、アオモリマンテマ、ミツモリミミナグサ等の希少種を始めとした植物の採取等が規制されている。

遺産地域に生息する動物については、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、イヌワシ、クマタカ、クマゲラなど行動圏の広い哺乳類や鳥類から、特定の環境に依存する中小型の哺乳類や鳥類、両生類、爬虫類、魚類、昆虫類などを含む多種多様な野生動物の生息地の保全を図るため、生態系本来の構造と機能を維持することを基本として、文化財保護法、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の各種保全制度に基づき管理する。なお、遺産地域全域が鳥獣保護区に指定されており、鳥獣の狩猟が禁止されているほか、魚類については、遺産地域内のすべての河川が、漁業権を有している各漁業協同組合により採捕の禁止区域に指定されている。

なお、遺産地域内では木材生産を目的とする森林施業は行わないこととし、緩衝地域及び遺産地域に接続する周辺の国有林に含まれる人工林においては、関係団体等と連携し、スギ人工林の広葉樹林化等の自然再生活動を実施する。この他、野生動物や植物の花粉、種子等は遺産地域の内外に関係な

く移動するため、遺産地域に生息・生育する動植物が遺産地域外からの影響を受けるおそれがある場合には、関係行政機関は関連する地域の市町村と連携・協力し、実態の把握に努めるとともに、影響を防ぐための方策を検討する。特に生態系に多大な影響を及ぼすこととなる外来種やニホンジカの侵入、遺産地域周辺における他地域の個体群を用いた植樹や放流といった遺伝子攪乱の防止に配慮する。

また、遺産地域内に生息が確認されているイヌワシ、クマタカ、クマゲラといった希少種は、遺産地域内外での個体群の交流もあることから、関係行政機関は関連する地域の市町村と連携・協力し、周辺地域も含めた広域的な視点からの生息域等の保全に努める。

なお、ツキノワグマ、ニホンザル、ニホンカモシカ等についても遺産地域内外にまたがって行動する場合があります、人間生活との軋轢が生じる場合もあることから、必要に応じて周辺地域と連携し、青森県及び秋田県が定める鳥獣保護事業計画を踏まえつつ、適正な管理を行う。

エ. 気候変動等への対応

現状では、遺産地域としての価値を損なうような生態系への大きな問題は顕在化していないが、地球温暖化等の気候変動、外来種・病害虫の侵入、イノシシ・ニホンジカ等の従来生息していなかった動物の侵入、酸性降下物等については、関係行政機関が地元市町村や地域の関係者からの協力を得ること等により情報の把握に努め、自然の価値を損ねる危機・予兆現象の早期発見に努める。また、モニタリングを通じて収集されたデータ及び生態学的知見については、科学委員会の助言を得て、科学的な評価に基づき具体的な対策等を検討する。

特に地球温暖化については、白神山地のブナ林生態系全般に大きな影響を及ぼすおそれがあり、将来的にはブナ林の生育に適した区域が減少するとの予測があることを踏まえ、ブナ林の動態の経年変化を十分にモニタリングしていく。また、それ以外の多種多様な群落においても同様の注意を払いつつ、モニタリングを実施する必要がある。

（２）遺産地域の適正な利用

ア. 基本的な考え方

遺産地域内については、核心地域（Ａ地域）及び緩衝地域（Ｂ地域）の２種類の管理区分に沿って適正な利用を図る。核心地域（Ａ地域）では、既存の歩道を利用した登山等を除き立入りを制限することとし、植生等への悪影響が生じないよう適正な利用に誘導する。緩衝地域（Ｂ地域）では、各種制度の趣旨に反しない範囲において、森林の文化・教育的利用、簡易な森林レクリエーションの場、優れた自然とのふれあいの場として利用することができるものとする。なお、遺産地域内での狩猟、魚釣りについては、関係法令等により原則禁止とされている。

イ. 利用の適正化

遺産地域内の観光、自然探勝、登山等の利用については、世界遺産としての価値を将来にわたって損なうことのないよう、関係行政機関及び地元市町村は、関係団体と連携して、白神山地の入山者への利用マナーの周知及び普及を図るとともに、必要に応じて適正な利用に誘導する。

遺産地域周辺の林道のうち、核心地域（Ａ地域）への立入りに関して影響を及ぼす可能性のあるものについては、一般車両の通行を制限する。

また、利用の適正化を図るため、関係行政機関は、巡視活動時に核心地域（Ａ地域）への立入状況

や違法行為等の状況を確認するとともに、入山者数の動向とそれに伴う生態系への影響を把握するためのモニタリングを行う。巡視活動やモニタリングの結果を踏まえ、過剰利用等により生態系への影響が見られた場合やそのおそれがある場合には、利用の適正化に向けた調整を検討する。

ウ. エコツーリズムの推進

世界遺産としての価値を将来にわたって維持していくため、入山者が白神山地の自然環境とその保護の重要性についてより一層理解を深められるよう、緩衝地域（B地域）及び遺産地域周辺地域において体験型のプログラムに基づく利用を推進する。

エコツーリズムの推進に当たっては、地域に暮らす人たちの知恵や技術を活かしながら、野外での自然解説や展示施設での解説等を行う人材の育成及び利用プログラムの構築と実践に向けて取り組んでいく。また、自然解説等を行う際に、利用に伴う自然環境への悪影響が生じることのないように配慮するためのガイドラインを関係行政機関と地元市町村が関係団体等の協力を得て作成し、持続可能な利用と保全の両立を図っていく。

（３）巡視活動

関係行政機関は、遺産地域の管理の一環として、遺産地域における違法行為の防止と入山者のマナー向上を促進するため、地元市町村と共同で巡視活動を実施する。

また、これを補完するため、民間のボランティアに巡視を委嘱する。

司法警察員としての資格を有する森林管理署職員等については、違法行為の取締を迅速に行うため、効果的に巡視活動を行うとともに、違法行為発見時における捜査と関係機関との連絡体制の強化を図っていく。

関係行政機関は、ボランティア巡視員や地元市町村の参加・協力を得つつ、効果的・効率的な巡視活動が行われるよう、合同パトロール等の機会を通じて情報共有するなど、抑止効果等の検証に努める。

巡視活動の実施に当たっては、連絡会議において作成している「白神山地世界遺産地域巡視マニュアル」を活用し、関係団体や地域住民等の参加・協力を得て、効果的に行う。また、巡視活動を行った結果については、連絡会議において開催する巡視員会議等に情報提供を行う。

（４）生態系の保全に配慮した施設整備・管理

遺産地域の管理及び適正な利用のために必要な施設の整備については、世界遺産としての価値を将来にわたって維持していくために、必要最小限の規模とする。

標識等の管理施設の整備が必要な場合には、各種制度に基づき、景観に配慮したデザインとし、関係行政機関と地元市町村は種類、配置、デザイン等の統一化を進めるとともに、工事の過程や整備後の管理においても自然環境への影響を及ぼさないよう配慮する。

（５）環境教育、情報の発信と普及啓発

遺産地域の保全・管理や適正な利用を推進するためには、入山者や地域住民等の理解と協力を得ることが重要である。このため、遺産地域で評価された特異な生態系のほか、これらの基盤としての自然、歴史、文化等について、幅広く環境教育・普及啓発活動を行うとともに、情報の発信等を行う。

また、登山等の利用に伴う遺産地域の生態系への影響の軽減や安全で持続可能な利用を図るため、白神山地における利用のルールやマナーの普及啓発を行う。

具体的には、関係行政機関及び地元市町村は、以下の取組を積極的に行う。

- ①白神山地の自然等に関するセミナー、児童・学生等を対象とした森林教室や自然体験活動、ガイド事業者を対象とした研修会等の開催等を通じて環境教育を推進する。
- ②保護意識の普及啓発のため、各主要施設やイベント等の場において、展示物、案内板、ホームページ、パンフレット、映像等を効果的に活用し、国内外への情報の発信に努める。
- ③利用に関するルールやマナーについて、巡視活動や各主要施設での解説等の機会を通じて、登山者や一般観光客に対して普及啓発を行う。

なお、これらの取組を効果的に推進するため、関係行政機関及び地元市町村は連絡会議を通じて情報の共有化に努める。

（６）調査研究・モニタリング

遺産地域を科学的知見に基づき順応的に管理していくため、関係行政機関は、地元市町村、大学・研究機関、その他の学識経験者等と連携・協力して、効果的な調査研究・モニタリングによる科学的知見の集積に努める。また、科学委員会の助言を得つつ、遺産地域の管理に必要なモニタリングの目標、実施項目、管理指標を設定した「白神山地世界遺産地域モニタリング計画」に基づき、長期的なモニタリングを実施する。実施したモニタリングの成果は、環境省白神山地世界遺産センター西目屋館に集約し、公開可能なものについては広く一般にも情報提供しつつ、遺産地域の適正な管理に活用する。さらに、関係行政機関以外の機関が実施した調査についても、当該実施機関とのデータの共有などについて積極的に協力を依頼する。

（７）関係行政機関及び地元市町村の体制

関係行政機関及び地元市町村は、白神山地の適正な保全・管理の推進を図るために設置された連絡会議を通じて連絡調整を行い、科学委員会との連携、情報共有を図りつつ、上記（１）～（６）の事項について遺産地域の効率的・効果的な管理を進める。

ア．環境省（東北地方環境事務所）

西目屋自然保護官事務所及び藤里自然保護官事務所において、自然環境保全地域、国指定鳥獣保護区の管理等を行う。

イ．林野庁（東北森林管理局）

津軽森林管理署及び米代西部森林管理署において、森林生態系保護地域の国有林野の保全・管理を行う。

また、藤里森林生態系保全センター及び津軽白神森林生態系保全センターにおいては、関係団体と連携し、自然再生活動や森林環境教育を行う。

ウ．文化庁（青森県教育委員会・秋田県教育委員会）

青森県文化財保護課及び秋田県文化財保護室において、文化財保護法に基づき天然記念物の管理を

行う。

エ. 青森県

各担当課において、国定公園及び県立自然公園の保全・管理、野生生物の保護管理、保安林としての管理を行う。

オ. 秋田県

各担当課において、県立自然公園の保全・管理、野生生物の保護管理、保安林としての管理を行う。

カ. 鱒ヶ沢町・深浦町・西目屋村・能代市・藤里町・八峰町

各担当課において、遺産地域の保護と適正な利用に向け、各行政区における自然保護業務、野生生物の保護管理、エコツーリズムの推進、環境対策、文化財の管理等に努める。

（８）地域との連携・協働

関係行政機関及び地元市町村は、地域との連携・協働を推進するため、連絡会議において連絡調整を図るとともに様々な機会を通じて、関係団体や地域住民等の意見を幅広く聴きつつ、遺産地域の適正な管理を行う。また、その結果については積極的な情報の発信等により、情報の共有に努める。

さらに、遺産地域の関係団体や地域住民等の積極的な参加・協力を得ることにより、地域との連携・協働による遺産地域の保全や適正な利用を推進する。

6. 計画の実施その他の事項

(1) 計画の実施

遺産地域の適正な保全・管理が遂行されるよう、関係行政機関及び地元市町村は、管理計画記載の各事項を円滑に実施する。

また、管理計画では記載のない遺産地域の利用方針の細部にわたる取扱いや個別の課題、今後の管理のあり方については、本管理計画を基に、必要に応じ科学委員会の助言、地元関係者等の意見を聴きつつ、適宜連絡会議において確認していくものとする。

(2) 計画の見直し

管理計画は、自然環境のモニタリング結果や社会環境の変化等を踏まえ、必要に応じ見直しを行う。その際には、広く意見を聴き、科学委員会からの助言を得つつ、連絡会議において検討する。

(3) 地元市町村の周辺地域における取組

遺産地域の保全・管理を充実させていくためには、遺産地域の周辺地域も含めて、環境保全に配慮した生活スタイル・生産活動を普及・浸透させていくことが効果的である。地元市町村やその周辺市町村では、ゴミの減量化、省資源・リサイクル、美化清掃、低公害車の導入、地域の子供たちを対象とした環境学習や自然体験活動の推進等、身近な生活環境を保全し、自然と共生する地域を形成していくための様々な取組を行ってきている。今後は、地域の環境意識をより一層高めつつ、白神山地と地域の繋がりを意識した豊かな地域づくりを積極的に推進していく。

7. おわりに

白神山地は、東アジア最大の原生的なブナ属の森林が広がる地域であり、その独特の成立過程や日本海側独特の気象条件などから、世界的にも特異な生態系が成立している。

我々には、先人の意志を引き継ぎ、白神山地を人類共有の財産として後世に引き継いでいく責務があることも忘れるべきではない。

保全・管理を担う関係行政機関及び地元市町村の連携・協力はもちろんのこと、関係団体や地域住民等多くの人々の積極的な参加・協力を得て、世界遺産地域の自然が、より輝きを増していくように、様々な取組を進めるものとする。

白神山地世界遺産地域管理計画 巻末付表等

平成 25 年 10 月

表1 白神山地世界遺産の自然環境保全に係る各種制度等の概要

制度名	指定年月	概要	地域区分 及び面積	管理区分	主な規制内容等	備考
自然環境保全地域 (白神山地自然環境保全地域)	平成 4 年 7 月	優れた天然林など一定の要件を満たす区域のうち、自然的社会的諸条件から見てその区域における自然環境を保全することが特に必要な地域	特別地区 9,844ha	核心地域 (A 地域)	環境大臣の許可が必要な行為 (第 25 条):①工作物の新築・改築・増築、②土地の形質の変更、③土石の採取、④水面の埋立、⑤河川等の水位・水量の増減、⑥木竹の伐採	自然環境保全法
			野生動植物保護地区 9,844ha (上記と同一の区域)	核心地域 (A 地域)	地域毎の保全計画に定める動植物の採取、損傷が原則として禁止(第 26 条) (保護すべき野生動植物の種類については下記参照)	
			普通地区 4,199ha	緩衝地域 (B 地域)	環境大臣に届出が必要な行為 (第 28 条):①一定規模以上の工作物の新築・改築・増築、②土地の形質の変更、③土石の採取、④水面の埋立、⑤特別地域内の河川等の水位・水量の増減	
自然公園 (津軽国定公園)	昭和 50 年 3 月	優れた自然の風景地として保護と利用の増進を図るとともに、生物多様性の確保に寄与するため、自然環境を保護する必要がある地域。	特別地域 624ha	緩衝地域 (B 地域)	青森県知事の許可が必要な行為(第 20 条): ①工作物の新築・改築・増築、②木竹の伐採、③土石等の採取、④河川等の水位・水量の増減、⑤広告物の設置等、⑥土石等の集積・貯蔵、⑦水面の埋立等、⑧土地の形状変更、⑨指定植物の採取等、⑩壁面等の色彩の変更 (採取又は損傷を規制する植物の種については下記参照)	自然公園法
			特別保護地区 344ha	核心地域 (A 地域) 緩衝地域 (B 地域)	青森県知事の許可が必要な行為(第 21 条): 上記①～⑧、⑩に加え、⑪木竹の損傷、⑫木竹の植栽、⑬動物を放つこと⑭物の集積・貯蔵、⑮火入れ・たき火、⑯植物の採取・損傷・落葉落枝の採取、⑰植物の植栽・播種、⑱動物の捕獲、⑲車馬等の乗り入れ	
(赤石溪流暗門の滝県立自然公園)	昭和 56 年 7 月		特別地域 1,952ha	緩衝地域 (B 地域)	青森県知事の許可が必要な行為(第 21 条): 国定公園特別地域と同じ行為 (採取又は損傷を規制する植物の種については下記参照)	青森県自然公園条例
(秋田白神県立自然公園)	平成 16 年 8 月		特別地域 8ha	緩衝地域 (B 地域)	秋田県知事の許可が必要な行為(第 15 条): 国定公園特別地域と概ね同等の行為(採取又は損傷を規制する植物の種については下記参照)	秋田県自然公園条例
森林生態系保護地域 (白神山地森林生態系保護地域)	平成 2 年 3 月	原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業管理技術の発展、学術研究等に資する地域	保存地区 10,139ha	核心地域 (A 地域)	原則として、人手を加えずに自然の推移に委ねる。 (モニタリング、学術研究その他公益上の事由により必要と認められる行為、非常災害のための応急措置、その他法令等に基づく行為等はこの限りでない。)	保護林の再編・拡充について(平成元年 4 月林野庁長官通達)
			保全利用地区 6,832ha	緩衝地域 (B 地域)	木材生産を目的とする森林施業は行わない。(人工林がある場合は、複層林施業ができる。)森林の教育的利用、大規模な開発行	

					為を伴わない森林レクリエーションの場としての活用はできる。	
天然記念物 (種指定のみ)	カモシカ:昭和30年 クマゲラ:昭和40年 イヌワシ:昭和40年 ヤマネ:昭和50年	動物、植物及び地質鉱物で我が国にとって学術上の評価の高いもの	特別天然記念物 カモシカ、天然記念物 クマゲラ、イヌワシ、ヤマネ		現状を変更し又はその保存に影響を及ぼす行為は文化庁長官の許可が必要(第125条)。	文化財保護法
鳥獣保護区 (国指定白神山地鳥獣保護区)	平成16年3月～平成25年10月	国際的又は全国的な鳥獣の保護の見地から、その鳥獣の保護のために重要と認められる区域	16,971ha (遺産区域外を含めた総面積17,157ha)	核心地域(A地域) 緩衝地域(B地域)	学術研究、生態系・農林水産業被害防止等の目的で鳥獣の捕獲又は殺傷、鳥類の卵の採取又は損傷を行う場合は環境大臣の許可が必要(第9条)。また、狩猟については認められない(第11条)。	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 ※上記の法律に基づき、鳥獣の捕獲又は殺傷、鳥類の卵の採取又は損傷が原則禁止(第8条)。
国内希少野生動植物種	平成5年4月	本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種	イヌワシ、クマタカ、オオタカ		生きている個体については、捕獲等(捕獲、採取、殺傷、損傷)が原則として禁止(第9条)。学術研究、繁殖、教育、個体の生息状況又は生育状況の調査などの目的で捕獲等する場合は、環境大臣の許可が必要(第10条)。	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律
保安林 (水源かん養保安林)	昭和34年 (追加:昭和45年) (追加:昭和46年) (追加:平成16年)	水源のかん養、土砂の流出の防備、生活環境の保全・形成等特定の公共目的を達成	16,971ha	核心地域(A地域) 緩衝地域(B地域)	立木の伐採や、立木の損傷、家畜の放牧、下草、落葉若しくは落枝の採取又は土石若しくは樹根の採掘、開墾その他の土地の形質を変更する行為については、都道府県知事の許可が必要(第34条)。	森林法

白神山地自然環境保全地域野生動植物保護地区において保護すべき野生動植物の種類(植物) (平成4年7月10日環境庁告示第47号)	
ヒモカズラ、エゾフユノハナワラビ、リシリシノブ、ミヤマシシガシラ、ホテイシダ、ハイマツ、キャラボク、ミツモリミミナグサ、センジュガンピ、アオモリマンテマ、キクザキイチリンソウ、サンリンソウ、ミヤマハンシヨウヅル、ミツバオウレン、ミヤマキンポウゲ、シラネアオイ、サンカヨウ、キバナイカリソウ、トガクシシヨウマ、イワオトギリ、オシマオトギリ、エゾノイワハタザオ、ミヤマガラシ、ツガルミセバヤ、ミヤママンネングサ、ウメバチソウ、ヤシヤビシヤク、シコタンソウ、ウチワダイモンジソウ、フキユキノシタ、イワキンバイ、ミヤマキンバイ、ミネザクラ、マルバシモツケ、エゾノシロバナシモツケ、イワオウギ、ツガルフジ、チシマフウロ、オオバキスミレ、ミヤマスミレ、ミヤマツボスミレ、ゴゼンタチバナ、ハクサンサイコ、シラネニンジン、イワカガミ、イワウチワ、ギンリョウソウ、イワナシ、ウラジロコウラク、ウラジロヨウラク、ムラサキヤシオ、ハクサンシヤクナゲ、ミヤマホツツジ、イワツツジ、コケモモ、オオサクラソウ、ツマトリソウ、エゾリンドウ、エゾオヤマリンドウ、オオバノヨツバムグラ、エゾハナシノブ、タテヤマウツボグサ、イブキジャコウソウ、オオバミゾホオズキ、エゾシオガマ、ミヤマクワガタ、クガイソウ、マルバキンレイカ、アサギリソウ、オニアザミ、ミネアザミ、トガヒゴタイ、ミヤマアキノキリンソウ、シロウマアサツキ、ミヤマラッキョ、ツバメオモト、カタクリ、ニッコウキスゲ、クルマユリ、キンコウカ、チャボゼキショウ、タマガワホトトギス、エンレイソウ、コバイケイ、オガタチイチゴツナギ、ミズバショウ、ザゼンソウ、サギスゲ、コアニチドリ、サルメンエビネ、イチヨウラン、コイチヨウラン、アケボノシュスラン、ヒロハツリシュスラン、ノビネチドリ、フジチドリ、フガクスズムシ、ジガバチソウ、クモキリソウ、アリドオシラン、ハクサンチドリ、ウチヨウラン、コケイラン、ジンバイソウ、ヤマサギソウ、キノチドリ、オオヤマサギソウ、シヨウキラン	

計108種

白神山地自然環境保全地域野生動植物保護地区において、保護すべき野生動物は指定されていない。

津軽国定公園の特別地域において、採取又は損傷を規制する植物
(昭和56年3月23日 環境庁告示第34号)

科名	種 名 (ミズゴケ科の植物にあつては属名)
ミズゴケ	ミズゴケ
ヒカゲノカズラ	ミヤマヒカゲノカズラ、ヒメスギラン、スギラン、ヤチスギラン、マンネンスギ、タカネヒカゲノカズラ
イワヒバ	エゾヒメクラマゴケ、ヒモカズラ、イワヒバ
イノモトソウ	リシリシノブ
オシダ	オクヤマシダ、ニッコウシダ
チャセンシダ	クモノスシダ
ウラボシ	ホテイシダ
マツ	ハイマツ
ヒノキ	ミヤマビャクシン(ミヤマハイビャクシン)
ヤマモモ	ヤチャナギ
タデ	イブキトラノオ(エゾイブキトラノオを含む。)、ウラジロタデ
ナデシコ	アオモリミミナグサ、オオバナノミミナグサ、タカネナデシコ(クモイナデシコを含む。)、センジュガンピ、アオモリマンテマ、エゾフスマ(シラオイハコベ)
キンポウゲ	オクトリカブト、フクジュソウ、ヒメイチゲ、キクザキイチリンソウ、アズマイチゲ、ミヤマオダマキ、リュウキンカ(エンコウソウを含む。)、エゾリュウキンカ、ミヤマハンショウヅル(コミヤマハンショウヅルを含む。)、ミツバオウレン、シラネアオイ、オキナグサ、ミヤマキンポウゲ、ミヤマカラマツ、ヤマシャクヤク、ベニバナヤマシャクヤク
メギ	サンカヨウ、キバナイカリソウ、トガクシショウマ(トガクシソウ)
スイレン	エゾヒツジグサ(ヒツジグサを含む。)
ドクダミ	ハンゲショウ
ウマノズクサ	ミチノクサイシン、オクエゾサイシン、ウスバサイシン(サイシン)
オトギリソウ	エゾオトギリ、イワオトギリ(ハイオトギリ)、オシマオトギリ
モウセンゴケ	モウセンゴケ
ケシ	エゾエンゴサク、ミチノクエンゴサク、オサバグサ
アブラナ	イワハタザオ(イワテハタザオを含む。)、ミヤマガラシ(ヤマガラシ)
ベンケイソウ	コイワレンゲ(アオノイワレンゲ)、イワベンケイ、ミヤママンネングサ、ツガルミセバヤ
ユキノシタ	ウメバチソウ(コウメバチソウを含む。)、シコタンソウ、ダイモンジソウ(ウチワダイモンジソウを含む。)、フキユキノシタ
バラ	ノウゴウイチゴ、イワキンバイ、エゾツルキンバイ、ミヤマキンバイ、クロバナロウゲ、ミネザクラ(チシマザクラを含む。)、オオタカネバラ、ハマナス(ハマナシ)、ベニバナイチゴ、マルバシモツケ
マメ	イワオオギ、ツガルフジ
フウロソウ	チシマフウロ、ハマフウロ
トウダイグサ	ヤマアイ
スミレ	ウスバスミレ、オオバキスミレ、テリハタチツボスミレ、イソスミレ、オオバタチツボスミレ、ミヤマスミレ
アカバナ	ヤナギラン、ミヤマアカバナ、ムツアカバナ

ミズキ	ゴゼンタチバナ
セリ	ハクサンサイコ、カラフトニンジン、シラネニンジン
イワウメ	イワウメ、イワカガミ(コイワカガミ、オオイワカガミを含む。)、イワウチワ(オオイワウチワ、トクワカソウを含む。)
イチヤクソウ	ウメガサソウ、オオウメガサソウ、シャクジョウソウ、ギンリョウソウモドキ(アキノギンリョウソウ)、ギンリョウソウ、ベニバナイチヤクソウ(ベニイチヤクソウ)、ジンヨウイチヤクソウ
ツツジ	コメバツガザクラ、イワヒゲ、シラタマノキ、イソツツジ(エゾイソツツジ)、ウラジロヨウラク(ツリガネツツジを含む。)、ツルコケモモ、イワナシ、エゾノツガザクラ、ナガバツガザクラ、ムラサキヤシオ、キバナシャクナゲ、ハクサンシャクナゲ(シロバナシャクナゲ、ネモトシャクナゲを含む。)、ミヤマホツツジ、イワツツジ、コケモモ
ガンコウラン	ガンコウラン
サクラソウ	ヤナギトラノオ、ミチノクコザクラ、オオサクラソウ、ユキワリソウ、ツマトリソウ、コツマトリソウ
リンドウ	ミヤマリンドウ、エゾリンドウ、ホソバツルリンドウ、ミツガシワ
ハナシノブ	エゾノハナシノブ
ムラサキ	ムラサキ、ハマベンケイソウ
シソ	ムシャリンドウ、タテヤマウツボグサ、デワノタツナミソウ、エゾナミキソウ、イブキジャコウソウ(イワジャコウソウを含む。)
ゴマノハグサ	オオバミゾホオズキ、ヨツバシオガマ、エゾシオガマ、エチゴトラノオ、ヒロードトラノオ(エゾリトラノオ)、クガイソウ
ハマウツボ	ハマウツボ、キヨスミウツボ
タヌキモ	ミミカキグサ、コタヌキモ、ヤチコタヌキモ、ムラサキミミカキグサ
スイカズラ	ウコンウツギ
オミナエシ	マルバキンレイカ
マツムシソウ	マツムシソウ(エゾマツムシソウを含む。)
キキョウ	フクシマシャジン、サワギキョウ、キキョウ
キク	エゾノコギリソウ、アサギリソウ、コハマギク、チョウカイアザミ、ミネアザミ、エゾムカシヨモギ、アズマギク、ミヤマアズマギク、ウスユキソウ、トウゲブキ、トガヒゴタイ、ヒメヒゴタイ、コウリンカ、サワオグルマ、エゾオグルマ、ミヤマアキノキリンソウ(コガネギク)
ホロムイソウ	ホロムイソウ
ユリ	ネバリノギラン、シロウマアサツキ、ミヤマラッキョウ、ツバメオモト、スズラン、カタクリ、キバナノアマナ、ショウジョウバカマ、ニッコウキスゲ(ゼンテイカ)、タチギボウシ、コオニユリ、スカシユリ、エゾスカシユリ、クルマユリ、キンコウカ、ヒロハユキザサ、オオバタケシマラン、チャボゼキショウ、タマガワホトギス、オオバナノエンレイソウ、エンレイソウ
アヤメ	ノハナショウブ、カキツバタ、ヒオオギアヤメ
サトイモ	ミズバショウ、ヒメザゼンソウ、ザゼンソウ
カヤツリグサ	イトキンスゲ、イワキスゲ(キンチャクスゲ)、サギスゲ
ラン	コアニチドリ、エビネ、キンセイラン、ナツエビネ、サルメンエビネ、ヒメホテイラン、ギンラン、キンラン、ササバギンラン、ユウシュンラン、サイハイラン、トケンラン、シュンラン(ホクロ)、コアツモリ、クマガイソウ、イチヨウラン、サワラン(アサヒラン)、コイチヨウラン、アオスズラン(エゾスズラン)、カキラン、オニノヤガラ、アケボノシュスラン、ヒロハツリシュスラン、ミヤマウズラ、ノビネチドリ、ミヤマモジズリ、ミズトンボ、フガクスズムシ、セイタカスズムシ、ジガバチソウ、クモキリソウ、スズムシソウ、フタバラン(コフタバラン)、アオフタバ

	ン、ミヤマフタバラン、アリドオシラン、ハクサンチドリ(ウズラバハクサンチドリを含む。)、ウチョウラン、コケイラン、タカネトンボ、ジンバイソウ、ミズチドリ、ヤマサギソウ、コバノトンボソウ、キソチドリ、オオヤマサギソウ、トキソウ、ヤマトキソウ、ヒトツボクロ、トンボソウ、ハクウンラン、ショウキラン
--	--

計 256 種

赤石溪流暗門の滝県立自然公園の特別地域内において許可を受けなければ採取してはならない高山植物等
(昭和61年6月7日 青森県告示第427号)

科名	種名
ヒカゲノカズラ	マンネンスギ
イワヒバ	イワヒバ、ヒモカズラ、エゾヒメクラマゴケ
コケシノブ	コウヤコケシノブ
ウラボシ	リシリシノブ、クモノスシダ、ホテイシダ、ニッコウシダ、ヒメサジラン
ヒノキ	ミヤマビャクシン
ウマノスズクサ	ウスバサイシン、オクエゾサイシン、ミチノクサイシン
タデ	ウラジロタデ、イブキトラノオ
ナデシコ	センジュガンピ、アオモリマンテマ、カラフトミミナグサ
キンポウゲ	ヤマシャクヤク、シラネアオイ、シナノキンバイ、ミツバオウレン、ミヤマカラマツ、ヒメイチゲ、サンリンソウ、フクジュソウ、ミヤマハンショウズル
メギ	トガクシショウマ
アブラナ	イワハタザオ
ベンケイソウ	ミヤママンネングサ、ツガルミセバヤ、コイワレンゲ(アオノイワレンゲ)
ユキノシタ	ダイヤモンドソウ、フキユキノシタ、シコタンソウ、ウメバチソウ、エゾクロクモソウ
バラ	イワキンバイ、ミヤマキンバイ、オオタカネバラ
マメ	ツガルフジ
フウロソウ	チシマフウロ
オトギリソウ	エゾオトギリ
スミレ	オオバキスミレ、ウスバスミレ、ミヤマスミレ、テリハタチツボスミレ
アカバナ	ミヤマアカバナ
セリ	ハクサンサイコ、イワテトウキ、シラネニンジン
ミズキ	ゴゼンタチバナ
イワウメ	イワウチワ、イワカガミ、オオイワカガミ
イチヤクソウ	イチヤクソウ、ベニバナイチヤクソウ、ジンヨウイチヤクソウ、ウメガサソウ、シャクジョウソウ、マルバノイチヤクソウ、アキノギンリョウソウ
ツツジ	アカモノ、ウスノキ、ナツハゼ、クロウスゴ、コケモモ、ハクサンシャクナゲ、オオバスノキ
サクラソウ	オオサクラソウ
リンドウ	エゾリンドウ
ハナシノブ	ミヤマハナシノブ
シソ	ラショウモンカズラ、タテヤマウツボグサ、イブキジャコウソウ、デワノタツナミソウ
ゴマノハグサ	オオバミゾホオズキ、クガイソウ、エゾシオガマ、コシオガマ、ヤマルリトラノオ、エゾルリトラノオ
オミナエシ	マルバキンレイカ
キク	ミヤマアズマギク、アサギリソウ、キオン、トウゲブキ、オニアザミ、ミヤマアキノキリンソウ、トガヒゴタイ

ユリ	チシマゼキショウ、チャボゼキショウ、タマガワホトギス、オオバギボウシ、ニッコウキスゲ、タケシマラン、オオバタケシマラン、ツバメオモト、クルマバツクバネソウ、オオシユロソウ、シブツアサツキ
ラン	クマガイソウ、コアツモリソウ、ウチョウラン、コアニチドリ、ノビネチドリ、オオヤマサギソウ、キソチドリ、ジンバイソウ、トンボソウ、ササバギンラン、ショウキラン、ミヤマフタバラン、アケボノシュスラン、アリドウシラン、セイタカスズムシソウ、クモキリソウ、ジガバチソウ、ホテイラン、コイチヨウラン、コケイラン、エビネ、ナツエビネ、サルメンエビネ、イチヨウラン、シュンラン、ツチアケビ、ハクウンラン、キンセイラン、エゾスズラン

計 131 種

秋田白神県立自然公園の特別地域内において採取し、又は損傷することを制限する植物
(昭和38年7月15日 秋田県規則第26号)

科名	種名
ミズゴケ	全種(秋田県内確認種)
ヒカゲノカズラ	チシマヒカゲノカズラ、スギカズラ、ミズスギ、アスヒカズラ、ヒメスギラン、スギラン、ヤチスギラン、タカネヒカゲノカズラ、コスギラン、マンネンスギ
イワヒバ	エゾノヒメクラマゴケ、コケスギラン、ヒモカズラ、イワヒバ
ミズニラ	ヒメミズニラ、ミズニラ
トクサ	ミズドクサ、イヌドクサ
ハナヤスリ	オオハナワラビ、フユノハナワラビ、ハマハナヤスリ、ヒロハハナヤスリ
ゼンマイ	ヤシャゼンマイ
キジノオシダ	キジノオシダ
コケシノブ	ヒメハイホラゴケ、ハイホラゴケ、アオホラゴケ、ウチワゴケ、コウヤコケシノブ、ホソバコケシノブ、コケシノブ
コバノイシカグマ	コバノイシカグマ、イワヒメワラビ、フモトシダ
シノブ	シノブ
ホウライシダ	ハコネシダ、リシリシノブ、カラクサシダ
イノモトソウ	オオバノイノモトソウ、オオバノハチジョウシダ、イノモトソウ
チャセンシダ	ヒメイトラノオ、ヤマドリトラノオ、クモノスシダ、イチョウシダ、イトラノオ、チャセンシダ、イヌチャセンシダ
シシガシラ	ミヤマシシガシラ、オサシダ
オシダ	ナンゴクナライシダ、ハカタシダ、オニカナワラビ、キヨスミヒメワラビ、オニヤブソテツ、ヤブソテツ、オクヤマシダ、イワヘゴ、ヤマイタチシダ、サイゴクベニシダ、ミサキカグマ、オオクジャクシダ、ベニシダ、ニオイシダ、オオベニシダ、ギフベニシダ、キノクニベニシダ、ナンタイシダ、トウゴクシダ、オオイタチシダ、タニヘゴ、ツルデンダ、アイアスカイノデ、カラクサイノデ、ツヤナシノデ、イノデ、サイゴクイノデ、イノデモドキ
ヒメシダ	ゲジゲジシダ、ハシゴシダ、ニッコウシダ、メニッコウシダ、ヒメワラビ、ミドリヒメワラビ
イワデンダ	ウスヒメワラビ、オクヤマワラビ、ホソバイヌワラビ、イワイヌワラビ、サキモリイヌワラビ、ミヤマヘビノネゴザ、ヒロハイヌワラビ、ハコネシケチシダ、コウライイヌワラビ、セイタカシケシダ、フモトシケシダ、ミドリワラビ、イワヤシダ、ヌリワラビ、キタノミヤマシダ、ミヤマシダ、ウサギシダ、イワウサギシダ、コガネシダ、フクロシダ
ウラボシ	ミツデウラボシ、ホテイシダ、ヒメノキシノブ、ノキシノブ、ミヤマノキシノブ、ヒメサジラン、オシャグジデンダ、エゾデンダ、イワオモダカ、ヒロードシダ
ヒメウラボシ	オオクボシダ
デンジソウ	デンジソウ
サンショウモ	サンショウモ
アカウキクサ	オオアカウキクサ
マツ	ハイマツ

ヒノキ	ミヤマビャクシン、ハイネズ、ネズ、ミヤマネズ
イチイ	キャラボク、チャボガヤ
カバノキ	ミヤマハンノキ
イラクサ	オニヤブマオ、クサコアカソ、ヤマミズ、ホソバイラクサ
ヤドリギ	ホザキヤドリギ
ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ
タデ	オヤマソバ、オンタデ、イブキトラノオ、ムカゴトラノオ、エゾノミズタデ、サクラタデ、ミヤマタニソバ、ヤナギヌカボ、サデクサ、ボントクタデ、ヌカボタデ、アキノミチヤナギ
ツルナ	ツルナ
ナデシコ	チョウカイフスマ、オオバナノミミナグサ、オオミミナグサ、タカネナデシコ、ハマハコベ、センジュガンピ、フシグロセンノウ、ハマツメクサ、アオモリマンテマ、シラオイハコベ
アカザ	ホソバノハマアカザ、ハマアカザ、カワラアカザ、オカヒジキ
マツブサ	チョウセンゴミシ
キンポウゲ	オオレイジンソウ、ウゼントリカブト、アズマレイジンソウ、フクジュソウ、ヒメイチゲ、スハマソウ、ハクサンイチゲ、キクザキイチゲ、アズマイチゲ、サンリンソウ、オオヤマオダマキ、ミヤマオダマキ、エゾノリュウキンカ、リュウキンカ、オオバショウマ、ミヤマハンショウヅル、コミヤマハンショウヅル、カザグルマ、オウレン、ミツバオウレン、ミツバノバイカオウレン、アズマシロカネソウ、ヒメキンポウゲ、オキナグサ、ミヤマキンポウゲ、ケキツネノボタン、コキツネノボタン、バイカモ、ハイキンポウゲ、タガラシ、ミヤマカラマツ、ナツカラマツ、コカラマツ、イワカラマツ、モミジカラマツ、シナノキンバイ
シラネアオイ	シラネアオイ
メギ	ナンブソウ、サンカヨウ、トガクシショウマ
スイレン	ネムロコウホネ、オゼコウホネ、ヒツジグサ
マツモ	マツモ
ドクダミ	ハンゲショウ
ウマノスズクサ	ウマノスズクサ、オクエゾサイシン、ウスバサイシン、ミチノクサイシン、コシノカンアオイ
ボタン	ヤマシャクヤク、ケナシベニバナヤマシャクヤク
ツバキ	ユキツバキ、ヒサカキ
オトギリソウ	オクヤマオトギリ、イワオトギリ、タコアシオトギリ、イワテオトギリ、エゾオトギリ
モウセンゴケ	ナガバノモウセンゴケ、モウセンゴケ
ケシ	エゾエンゴサク、ミチノクエンゴサク、ナガミノツルキケマン、コマクサ、オサバグサ
アブラナ	ハタザオ、ヤマハタザオ、ミヤマハタザオ、エゾハタザオ、エゾノイワハタザオ、イワテハタザオ、ツルワサビ、ミヤマタネツケバナ、オクヤマガラシ、エゾワサビ、イヌナズナ、オクノユリワサビ、ハクセンナズナ、ミギワガラシ、キバナハタザオ
ベンケイソウ	チチッパベンケイソウ、ツガルミセバヤ、ミツバベンケイソウ、コモチレンゲ、アオノイワレンゲ、ホソバイワベンケイ、イワベンケイ、ホソバノキリンソウ、キリンソウ、コモチマンネングサ、メノマンネングサ、ミヤママンネングサ、タ

	イトゴメ
ユキノシタ	チダケサシ、アラシグサ、エゾノチャルメルソウ、エゾウメバチソウ、ヒメウメバチソウ、オオシラヒゲソウ、タコノアシ、バイカウツギ、ヤシャビシャク、コマガタケスグリ、シコタンソウ、ダイヤモンドソウ、ウチワダイヤモンドソウ、エゾクロクモソウ、クロクモソウ、フキユキノシタ
バラ	クサボケ、アカバナシモツケ、ミヤマダイコンソウ、カラフトダイコンソウ、チングルマ、カワラサイコ、イワキンバイ、エゾツルキンバイ、キンロバイ、ミヤマキンバイ、ヒロハノカワラサイコ、クロバナロウゲ、オヘビイチゴ、ミネザクラ、チシマザクラ、オオタカネイバラ、タカネイバラ、ホロムイイチゴ、シモキタイチゴ、ナンブサナギイチゴ、コガネイチゴ、ヒメゴヨウイチゴ、ベニバナイチゴ、ミヤマウラジロイチゴ、シロバナトウウチソウ、タカネトウウチソウ、ナガボノアカワレモコウ、ウラジロナナカマド、タカネナナカマド、マルバシモツケ、エゾノシロバナシモツケ、アイズシモツケ、コゴメウツギ、カナウツギ
マメ	モメンヅル、カワラケツメイ、フジカンゾウ、イワオウギ、エゾノレンリソウ、レンリソウ、ケハギ、イヌハギ、センダイハギ、ノハラクサフジ、ヒロハクサフジ、ナンテンハギ、ヤブツルアズキ
カタバミ	コミヤマカタバミ、ミヤマカタバミ
フウロソウ	チシマフウロ、タチフウロ、ミツバフウロ、ハクサンフウロ、ハマフウロ、オガフウロ
アマ	マツバニンジン
トウダイグサ	ノウルシ、タカトウダイ、シナノタイゲキ、ハクサンタイゲキ、ヤマアイ
カエデ	ナンゴクミネカエデ
アワブキ	ミヤマハハソ
ニシキギ	イワウメヅル、ムラサキマユミ、オオツリバナ、クロツリバナ
クロウメモドキ	クロカンバ、クロツバラ
グミ	マルバグミ
スマレ	ケナシエゾノタチツボスミレ、アリアケスミレ、キバナノコマノツメ、ウスバスミレ、オオバキスミレ、マルバケスミレ、タカネスミレ、ツルタチツボスミレ、サクラスミレ、コスミレ、ケマルバスミレ、マキノスミレ、ヒメスミレ、イブキスミレ、アカネスミレ、オカスミレ、アケボノスミレ、アイヌタチツボスミレ、セナミスミレ、ヒゴスミレ、ヒナスミレ、スミレサイシン、ゲンジスミレ、シハイスミレ、ヒカゲスミレ
ミソハギ	ヒメミソハギ、ミズキカシグサ、ミズマツバ
ヒシ	ヒメビシ
アカバナ	ケゴンアカバナ、ヤナギラン、イワアカバナ、アシボソアカバナ、ヒメアカバナ、ミヤマアカバナ、オオアカバナ、ミズユキノシタ
アリノトウグサ	ホザキノフサモ、タチモ、フサモ
スギナモ	スギナモ
ウコキ	ゴゼンタチバナ
セリ	ミヤマトウキ、ハクサンサイコ、ハマゼリ、カラフトニンジン、ハマボウフウ、ヤマゼリ、ハクサンボウフウ、オオカサモチ、ムカゴニンジン、シラネニンジン、サワゼリ
イワウメ	イワウメ、ヒメイワカガミ、イワカガミ、オオイワウチワ
イチヤクソウ	シャクジョウソウ、アキノギンリョウソウ、ギンリョウソウ、コイチヤクソウ、コ

	バノイチャクソウ、カラフトイチャクソウ、ベニバナイチャクソウ、ジンヨウイチャクソウ
ツツジ	ヒメシャクナゲ、コメバツガザクラ、イワヒゲ、ヤチツツジ、サラサドウダン、イワナシ、アカモノ、シラタマノキ、イソツツジ、ミネズオウ、ウラジロコヨウラク、ウラジロヨウラク、コヨウラクツツジ、アオノツガザクラ、エゾノツガザクラ、ツガザクラ、ナガバツガザクラ、オオバツツジ、ムラサキヤシオ、ハクサンシャクナゲ、レンゲツツジ、ユキグニミツバツツジ、バйкаツツジ、オオコメツツジ、コメツツジ、ミヤマホツツジ、エゾツツジ、クロウスゴ、ツルコケモモ、イワツツジ、マルバウスゴ、コケモモ、ヒメウスノキ、ヒメクロマメノキ
ガンコウラン	ガンコウラン
サクラソウ	ウミミドリ、ミヤマタゴボウ、ハマボッサ、ヤナギトラノオ、クサレダマ、ミチノクコザクラ、クリンソウ、オオサクラソウ、ユキワリコザクラ、ヒナザクラ、ハイハマボッサ、ツマトリソウ、コツマトリソウ
マチン	ヒメナエ、アイナエ
リンドウ	ミヤマリンドウ、リンドウ、コケリンドウ、タテヤマリンドウ、エゾリンドウ、エゾオヤマリンドウ、ハナイカリ、ホソバツルリンドウ、アケボノソウ、イヌセンブリ、ミヤマアケボノソウ、チシマセンブリ
ミツガシワ	イワイチョウ、ミツガシワ、ガガブタ、アサザ
キョウチクトウ	チョウジソウ、テイカカズラ
ガガイモ	フナバラソウ、コイケマ
アカネ	ヒメヨツバムグラ、キクムグラ、ヤマムグラ、ハナムグラ、フタバムグラ、オオキヌタソウ、アカネムグラ
ヒルガオ	ヒロハヒルガオ、マメダオシ
ムラサキ	ミヤマムラサキ、ムラサキ、ハマベンケイソウ、スナビキソウ、ルリソウ、コシジタビラコ
クマツヅラ	カリガネソウ
アワゴケ	アワゴケ、ミズハコベ
シソ	カイジンドウ、ミヤマクマバナ、ムシャリンドウ、メハジキ、キセワタ、ヤマジソ、ミソガワソウ、タテヤマウツボグサ、サンインヒキオコシ、タイリンヤマハッカ、ケナツノタムラソウ、ヤマジノタツナミソウ、デワノタツナミソウ、イヌニガクサ、イブキジャコウソウ
ナス	ハシリドコロ、オオマルバノホロシ、ハダカホオズキ
ゴマノハグサ	マルバノサワトウガラシ、サワトウガラシ、アブノメ、ホソバコゴメグサ、ミチノクコゴメグサ、キクモ、ミヤマママコナ、ママコナ、ミヤマシオガマ、ヨツバシオガマ、イワテシオガマ、オニシオガマ、トモエシオガマ、シオガマギク、エゾシオガマ、イワブクロ、エチゴトラノオ、ヤマルリトラノオ、ビロードトラノオ、ミチノククワガタ、ゴマノハグサ、エゾヒナノウスツボ、オオヒナノウスツボ、ヒヨクソウ、ヒメクワガタ、イヌノフグリ、クガイソウ
ゴマ	ヒシモドキ
イワタバコ	イワタバコ
ハマウツボ	ナンバンギセル、オオナンバンギセル、ヤマウツボ、ハマウツボ、オカウツボ、キヨスミウツボ
タヌキモ	ムシトリスミレ、タヌキモ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、コタヌキモ、ヒメタヌキモ、イヌタヌキモ、ムラサキミミカキグサ
オオバコ	エゾオオバコ、ハクサンオオバコ、トウオオバコ

スイカズラ	リンネソウ、エゾヒョウタンボク、クロミノウゲイスカズラ、マルバヨノミ、チシマヒョウタンボク、ソクズ、キバナウツギ、ウコンウツギ
レンブクソウ	レンブクソウ
オミナエシ	マルバキンレイカ、オミナエシ、カノコソウ、ツルカノコソウ
マツムシソウ	マツムシソウ
キキョウ	チシマギキョウ、イワギキョウ、ホタルブクロ、バアソブ、サワギキョウ、シデシャジン、キキョウ
キク	ノコギリソウ、ヤマノコギリソウ、エゾノコギリソウ、チョウジギク、ウサギギク、カワラニンジン、サマニヨモギ、ヒメヨモギ、アサギリソウ、シロヨモギ、ヒメシオン、サワシロギク、オケラ、ヤナギタウコギ、エゾノタウコギ、エゾノキツネアザミ、カニコウモリ、ミミコウモリ、コヤブタバコ、オオガंकビソウ、ハリオニアザミ、チョウカイアザミ、モリアザミ、ガンジュアザミ、ミネアザミ、ナンブタカネアザミ、ニッコウアザミ、タカアザミ、ウゴアザミ、イワインテン、ウゴシオギク、タカサブロウ、エゾムカシヨモギ、ムカシヨモギ、アズマギク、ミヤマアズマギク、アキノハハコグサ、ミヤマコウゾリナ、ミズギク、タカサゴソウ、クモマニガナ、ノニガナ、カワラニガナ、ミヤマウスユキソウ、ホソバヒナウスユキソウ、ウスユキソウ、マルバダケブキ、オタカラコウ、トウゲブキ、メタカラコウ、コシカギク、ミヤマヨメナ、クルマバハグマ、オヤリハグマ、イワテヒゴタイ、ミヤマキタアザミ、トガヒゴタイ、ヒメヒゴタイ、オクキタアザミ、ヤハズトウヒレン、キオン、サワギク、ハチジョウナ、ヤブレガサ、ウスギタンポポ
オモダカ	サジオモダカ、マルバオモダカ、アギナシ
トチカガミ	スブタ、コスブタ、ヤナギスブタ、クロモ、トチカガミ、ミズオオバコ、セキシウモ
ホロムイソウ	ホロムイソウ、シバナ、ホソバノシバナ
ヒルムシロ	ホソバヒルムシロ、エゾヤナギモ、エビモ、エゾノヒルムシロ、センニンモ、オヒルムシロ、ツツイトモ、リュウノヒゲモ、ヒロハノエビモ、イトモ、ヒメオヒルムシロ、カワツルモ、イトクズモ
アマモ	エビアマモ、コアマモ、アマモ
イバラモ	ホッスモ、イバラモ、オオトリゲモ
ユリ	ネバリノギラン、ソクシンラン、シロウマアサツキ、ミヤマラッキョウ、ヤマラッキョウ、ニラ、ギョウジャニンニク、キジカクシ、ツバメオモト、クロヒメシライトソウ、スズラン、オオチゴユリ、カタクリ、ヒメアマナ、キバナノアマナ、ショウジョウバカマ、ノカンゾウ、ゼンテイカ、タチギボウシ、トウギボウシ、コオニユリ、スカシユリ、ヤマスカシユリ、クルマユリ、チシマアマナ、ホソバノアマナ、キンコウカ、キヌガサソウ、クルマバツクバネソウ、ツルボ、マルバサンキライ、チシマゼキショウ、チャボゼキショウ、ヒメイワショウブ、ヤマジノホトギス、タマガワホトギス、オオバナノエンレイソウ、ヒダカエンレイソウ、バイケイソウ、コバイケイソウ
ミズアオイ	ミズアオイ
アヤメ	ヒオウギ、ノハナショウブ、ヒメシャガ、カキツバタ、ヒオウギアヤメ
イグサ	ハナビゼキショウ、ミヤマイ、ヒメコウガイゼキショウ、ミクリゼキショウ、ホソコウガイゼキショウ、エゾホソイ、ドロイ、ミヤマホソコウガイゼキショウ、ミヤマゼキショウ、ヤマスズメノヒエ、タカネスズメノヒエ、オカスズメノヒエ、ミヤマヌカボシソウ
ホシクサ	クロイヌノヒゲモドキ、クロイヌノヒゲ、ホシクサ、コイヌノヒゲ、ミカワイヌノヒゲ、ミヤマヒナホシクサ、ハライヌノヒゲ、コケヌマイヌノヒゲ、ガリメギイヌノヒ

	ゲ
イネ	ミヤマヌカボ、コミヤマヌカボ、タカネコウボウ、アズマガヤ、カニツリノガリヤス、イワノガリヤス、ヒゲノガリヤス、オオヒゲガリヤス、ヒナガリヤス、タカネノガリヤス、ミヤマノガリヤス、チシマガリヤス、ヒナザサ、ヒロハノコメスキ、コメスキ、ハナムギ、オオトボシガラ、ウシノケグサ、ヤマオオウシノケグサ、ミヤマドジョウツナギ、ヒロハノドジョウツナギ、カラフトドジョウツナギ、カモノハシ、ミノボロ、オオヒゲナガリヤスモドキ、カリヤスモドキ、キダチノネズミガヤ、ヒロハノハネガヤ、アイアシ、タマミゾイチゴツナギ、イトイチゴツナギ、オガイチゴツナギ、イブキノモソモ、イチゴツナギ、アオイチゴツナギ、ヒエガエリ、イヌアワ、ハマエノコロ、ヒゲシバ、メガルガヤ、ハイドジョウツナギ、チシマカニツリ、オニシバ
サトイモ	セキショウ、マイヅルテンナンショウ、アキタテンナンショウ、オオマムシグサ、ヒメカイウ、ミズバショウ、ザゼンソウ、ヒメザゼンソウ
ミクリ	ミクリ、タマミクリ、ホソバタマミクリ、ナガミクリ、エゾミクリ、ヒメミクリ
ガマ	コガマ
カヤツリグサ	ハタガヤ、イトハナビテンツキ、カヅノスゲ、ヤマタヌキラン、アニアイスゲ、タテヤマスゲ、ヒラギシスゲ、マツバスゲ、アワボスゲ、ヒメカワズスゲ、ジョウロウスゲ、ハクサンスゲ、アゼナルコ、シラスゲ、ミヤマクロスゲ、ニッコウハリスゲ、マスクサ、イトキンスゲ、コハリスゲ、ヤマアゼスゲ、テキリスゲ、ムジナスゲ、ハタベスゲ、イトナルコスゲ、ヤチスゲ、ヒエスゲ、ヤラメスゲ、ヤガミスゲ、キンチャクスゲ、ホロムイスゲ、タシロダケスゲ、モリヨシスゲ、ホソバカンスゲ、ヒカゲハリスゲ、ナガエスゲ、エゾツリスゲ、ダケスゲ、ヒカゲシラスゲ、ツルスゲ、キンスゲ、シラコスゲ、ヌマスゲ、クサスゲ、ゴンゲンスゲ、コイトスゲ、シオクグ、アシボソスゲ、オオタヌキラン、イワスゲ、クモマシバスゲ、スミカワスゲ、オノエスゲ、ヤワラスゲ、カンエンガヤツリ、アゼガヤツリ、シロガヤツリ、イガガヤツリ、ミズハナビ、セイタカハリイ、スジヌマハリイ、ヒメヌマハリイ、マルホハリイ、サギスゲ、ワタスゲ、コアゼテンツキ、テンツキ、クロテンツキ、メアゼテンツキ、アオテンツキ、ヒンジガヤツリ、ミカヅキグサ、イトイヌノハナヒゲ、コイヌノハナヒゲ、ミヤマイヌノハナヒゲ、ミネハリイ、コホタルイ、ヒメホタルイ、タカネクロスゲ、マツカサススキ、シズイ、エゾウキヤガラ、ツルアブラガヤ、クロアブラガヤ、コシンジュガヤ
ラン	ヒナラン、コアニチドリ、エビネ、キンセイラン、ナツエビネ、サルメンエビネ、ギンラン、ユウシュンラン、キンラン、ササバギンラン、アオチドリ、サイハイラン、トケンラン、シュンラン、コアツモリソウ、クマガイソウ、アツモリソウ、キバナノアツモリソウ、イチヨウラン、サワラン、コイチヨウラン、エゾスズラン、ハマカキラン、カキラン、ツチアケビ、オニノヤガラ、アケボノシュスラン、ベニシュスラン、ヒロハツリシュスラン、ヒメミヤマウズラ、ミヤマウズラ、ノビネチドリ、フジチドリ、サギソウ、ミズトンボ、ムカゴソウ、ギボウシラン、フガクスズムシソウ、セイタカスズムシソウ、ジガバチソウ、クモキリソウ、スズムシソウ、クモイジガバチ、フタバラン、ヒメフタバラン、アオフタバラン、ミヤマフタバラン、タカネフタバラン、ヤチラン、ホザキイチヨウラン、アリドオシラン、サカネラン、ハクサンチドリ、ヒナチドリ、オノエラン、ウチヨウラン、コケイラン、タカネトンボ、ジンバイソウ、ミズチドリ、ツレサギソウ、ハシナガヤマサギソウ、ヤマサギソウ、タカネサギソウ、マイサギソウ、オオキノチドリ、ミヤマチドリ、オオヤマサギソウ、ホソバノキノチドリ、コバノトンボソウ、トキシソウ、ヤマトキシソウ、ヒトツボクロ、イヌマムカゴ、ハクウンラン、ショウキラン

計 982 種

表2 白神山地世界遺産に係るその他の制度の概要

制度名	指定年月	概要	区域	管理区分	主な規制内容等	備考
禁止区域(新深浦町漁業協同組合内共第1号第5種共同漁業権行使規則及び遊漁規則に基づく)	平成 10 年 3 月	各河川の上流部を天然産卵の場として保護することで魚族資源の回復を図るとともに、下流部での魚釣りを永続的に楽しむための「もとおけ」としての機能を果たす「種川」とするため漁業者及び遊漁者の採捕を禁止	笹内川禁止区域 大池第1発電所笹内取水ダム上端から上流の本支流域	緩 衝 地 域 (B 地域)	アユ、ヤマメ、イワナの採捕を禁止	漁業法
禁止区域(追良瀬内水面漁業協同組合内共第3号第5種共同漁業権行使規則及び遊漁規則に基づく)	平成 9 年 9 月		追良瀬川禁止区域 (株)東北電力追良瀬ダム上端から上流の追良瀬川本支流域	核 心 地 域 (A 地域) 緩 衝 地 域 (B 地域)	アユ、ヤマメ、イワナ、ウグイの採捕を禁止	
禁止区域(赤石水産漁業協同組合内共第5号第5種共同漁業権行使規則及び遊漁規則に基づく)	平成 10 年 6 月		赤石川禁止区域 赤石堰堤上流端から上流の本支流域	核 心 地 域 (A 地域) 緩 衝 地 域 (B 地域)	アユ、ヤマメ、イワナ、カジカ、ウグイの採捕を禁止	
禁止区域(赤石地区漁業協同組合内共第5号第5種共同漁業権行使規則及び遊漁規則に基づく)						
禁止区域(岩木川漁業協同組合内共第14号第5種共同漁業権公式素行及び遊漁規則に基づく)	平成 9 年 6 月		岩木川禁止区域 中郡西目屋村大字川原平字鬼川辺国有林地内治山ダムの上流端から上流の岩木川本支流域。中郡西目屋村大字川原平字川原沢国有林地内砂防ダムの上流端から上流の岩木川支流域	核 心 地 域 (A 地域) 緩 衝 地 域 (B 地域)	アユ、ヤマメ、イワナ、コイ、フナ、ウグイ、カジカ、カワヤツメの採捕を禁止	
禁止区域(粕毛漁業協同組合第五種漁業権行使規則及び遊漁規則に基づく)	平成 16 年 1 月 (改正:平成 24 年 1 月)	水産資源生態系保護のため、漁業者及び遊漁者の採捕を禁止	粕毛川禁止区域 森林生態系保護地域(世界遺産地域核心理域及び緩衝地域)内の粕毛川本流及び支流	核 心 地 域 (A 地域) 緩 衝 地 域 (B 地域)	アユ、イワナ、ヤマメ、ウグイ等の遊漁禁止	

※禁止区域については、白神山地世界遺産地域に係る禁止区域のみを記載しています。

表3 白神山地の自然学習・情報発信に係る各主要施設一覧

施設名	所有者	所在地	白神山地の自然学習・情報発信に係る活動内容
白神山地世界遺産センター(西目屋館)	環境省	青森県西目屋村	世界遺産の保全・管理に係る調査・研究、普及啓発。
白神山地世界遺産センター(藤里館)	環境省	秋田県藤里町	世界遺産を紹介した展示を通じた普及啓発、案内・解説、自然観察会の開催。
津軽白神森林生態系保全センター	林野庁	青森県鰺ヶ沢町	世界遺産の周辺地域における自然再生活動及び森林環境教育の推進。
藤里森林生態系保全センター	林野庁	秋田県藤里町	世界遺産に関する森林環境教育及び保全・管理活動。
白神山地ビジターセンター	青森県	青森県西目屋村	世界遺産を紹介する展示、映像上映、自然観察会等の開催を通じた普及啓発、HP等による情報発信。
十二湖エコ・ミュージアムセンター「湖郷館」	青森県	青森県深浦町	十二湖及びその周辺地域の自然環境を紹介する展示、自然観察会等の開催を通じた普及啓発。
自然観察館「ハロー白神」	鰺ヶ沢町	青森県鰺ヶ沢町	世界遺産及び赤石マタギを紹介した展示を通じた普及啓発、解説。
ミニ白神「くろもり館」	鰺ヶ沢町	青森県鰺ヶ沢町	世界遺産を紹介した展示を通じた普及啓発、案内・解説、自然観察会の開催。
素波里ふるさと自然公園センター	秋田県	秋田県藤里町	世界遺産を紹介した展示を通じた普及啓発。
八森ぶなっこランド	秋田県	秋田県八峰町	森林・林業及び林産物について、各種教材を活用した学習及び野外体験の実施。(植菌体験・木工教室)
あきた白神体験センター	秋田県	秋田県八峰町	白神山地の自然体験や自然観察会の開催、宿泊研修等の実施。

管理体制の概要

1.白神山地世界遺産地域連絡会議会則(抜粋)

(目的)

第二条 会議は、世界遺産一覧表に登録された白神山地の適正な保全管理の推進を図るため、関係機関相互の連絡調整を行うことを目的とする。

(組織)

第三条 会議は次に掲げる機関を以て組織する。

東北地方環境事務所

東北森林管理局

青森県

青森県教育委員会

秋田県

秋田県教育委員会

2 次に掲げる機関が、管理計画改訂までの間、オブザーバーとして参加する。

鱒ヶ沢町

深浦町

西目屋村

藤里町

八峰町

能代市

3 その他、適宜必要に応じて白神山地世界遺産地域の保全管理に関係する者をオブザーバーとし、参加を要請することができる。

(会議事項)

第四条 会議は、第二条の目的を達成するため、次の事項を協議・調整する。

(一)関係機関の保全管理施策の実施に係る必要な協力の推進等所要の事項。

(二)管理計画に関する事項。

(三)その他、保全管理の円滑な実施の推進に係る内容で会議において必要と認められた事項。

(幹事)

第五条 会議に幹事をおく。

(一)幹事は、次の者をあてる。

東北地方環境事務所 首席自然保護官

東北森林管理局計画保全部 計画課長

東北森林管理局 自然遺産保全調整官

青森県環境生活部 自然保護課長

同 農林水産部 林政課長

青森県教育委員会 文化財保護課長

秋田県生活環境部 自然保護課長

同 農林水産部 森林整備課長

秋田県教育委員会 文化財保護室長

(二)幹事は、会議の運営を円滑に進めるため、必要に応じ幹事会を開催するほか、関係機関の連絡調整にあたる。

2.本庁担当部局

環境省自然環境局自然環境計画課
林野庁森林整備部森林利用課
林野庁国有林野部経営企画課
文化庁文化財部記念物課

世界遺産条約の概要

1 名称

世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約

2 目的

世界の文化遺産及び自然遺産を人類全体のための世界の遺産として損傷、破壊等の脅威から効果的に保護するための国際的な協力及び援助の体制を確立する。

3 概要

採択年月日:1972 年 11 月 16 日(於パリ、ユネスコ第 17 回総会)

発効年月日:1975 年 12 月 17 日

締約国数 :190 か国(2012 年 9 月現在)

世界遺産 :現在 981(自然 193、文化 759、複合 29)の遺産が世界遺産一覧表に記載されている(2013 年7月現在)。

事務局 :ユネスコ世界遺産センター

4 世界遺産の定義

文化遺産:歴史上、美術上、科学上顕著な普遍的価値を有する記念工作物、建造物、遺跡等

自然遺産:観賞上、学術上又は保存上顕著な普遍的価値を有する特徴ある自然の地域、脅威にさらされている動植物の種の生息地、自然の風景地等

複合遺産:文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えている遺産

白神山地世界遺産に係る経緯

1990 年 3 月	白神山地森林生態系保護地域の設定
1992 年 6 月	国会において世界遺産条約を承認。条約事務局へ受諾書を提出
1992 年 7 月	白神山地自然環境保全地域の指定
1992 年 9 月	同条約が我が国に関して発効
1992 年 10 月	自然遺産の候補地として「白神山地」と「屋久島」を世界遺産委員会に推薦
1993 年 5 月	IUCN(国際自然保護連合)の現地調査
1993 年 6 月	世界遺産委員会ビューロー会議(三項目の勧告)
1993 年 9 月	日本政府としてビューロー会議勧告への回答
1993 年 12 月	世界遺産委員会(コロンビア)において世界遺産一覧表への記載決定
1995 年 7 月	白神山地世界遺産地域連絡会議の設置
1995 年 11 月	白神山地世界遺産地域管理計画の策定
1997 年 6 月	白神山地世界遺産地域連絡会議で秋田県側は「原則入山禁止」、青森県側は「指定ルート 27 を設定し入山を許可制」とした核心地域への入山取扱いを確認
1997 年 10 月	IUCN が世界遺産保全状況について現地調査を行い、レポートを作成
2003 年 7 月	青森県側の指定ルートに係る入山手続きを許可制から届出制に変更
2004 年 3 月	国指定白神山地鳥獣保護区の指定
2010 年 6 月	白神山地世界遺産地域科学委員会の設置
2012 年 7 月	第 36 回世界遺産委員会(ロシア)での定期報告

図1 白神山地世界遺産地域位置図

Location Diagram

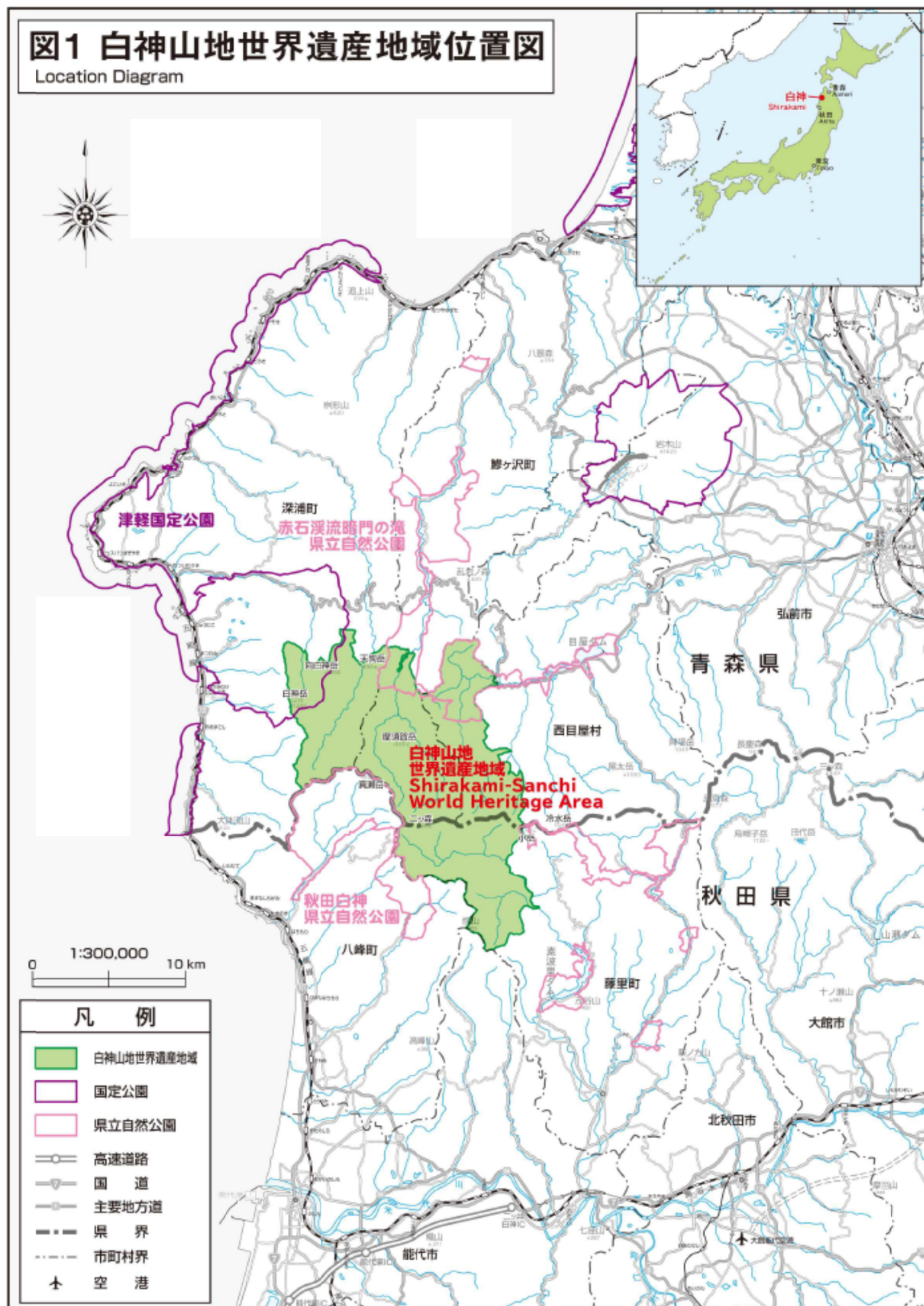


図2 白神山地世界遺産地域管理区分図

Management Classification Map

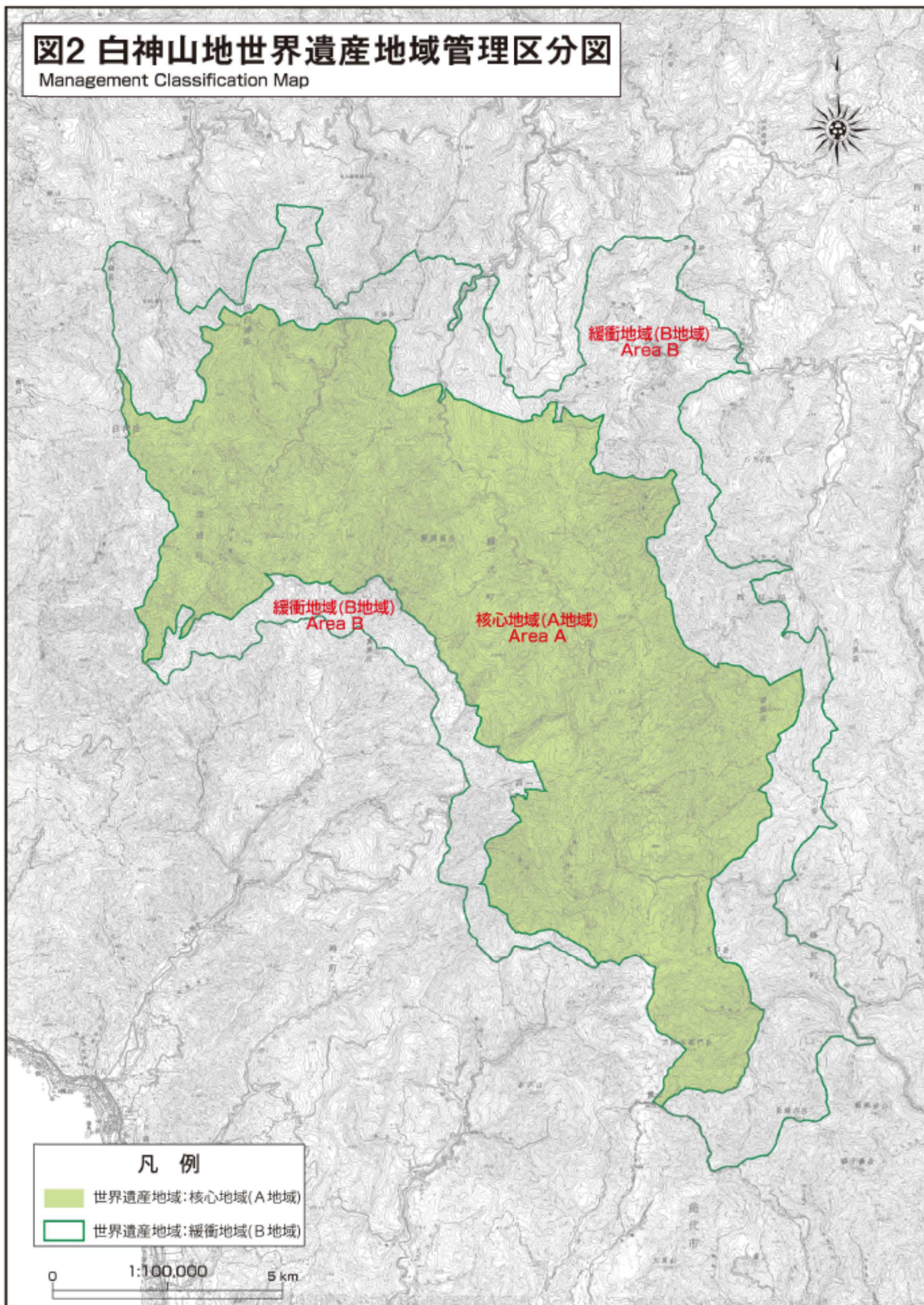
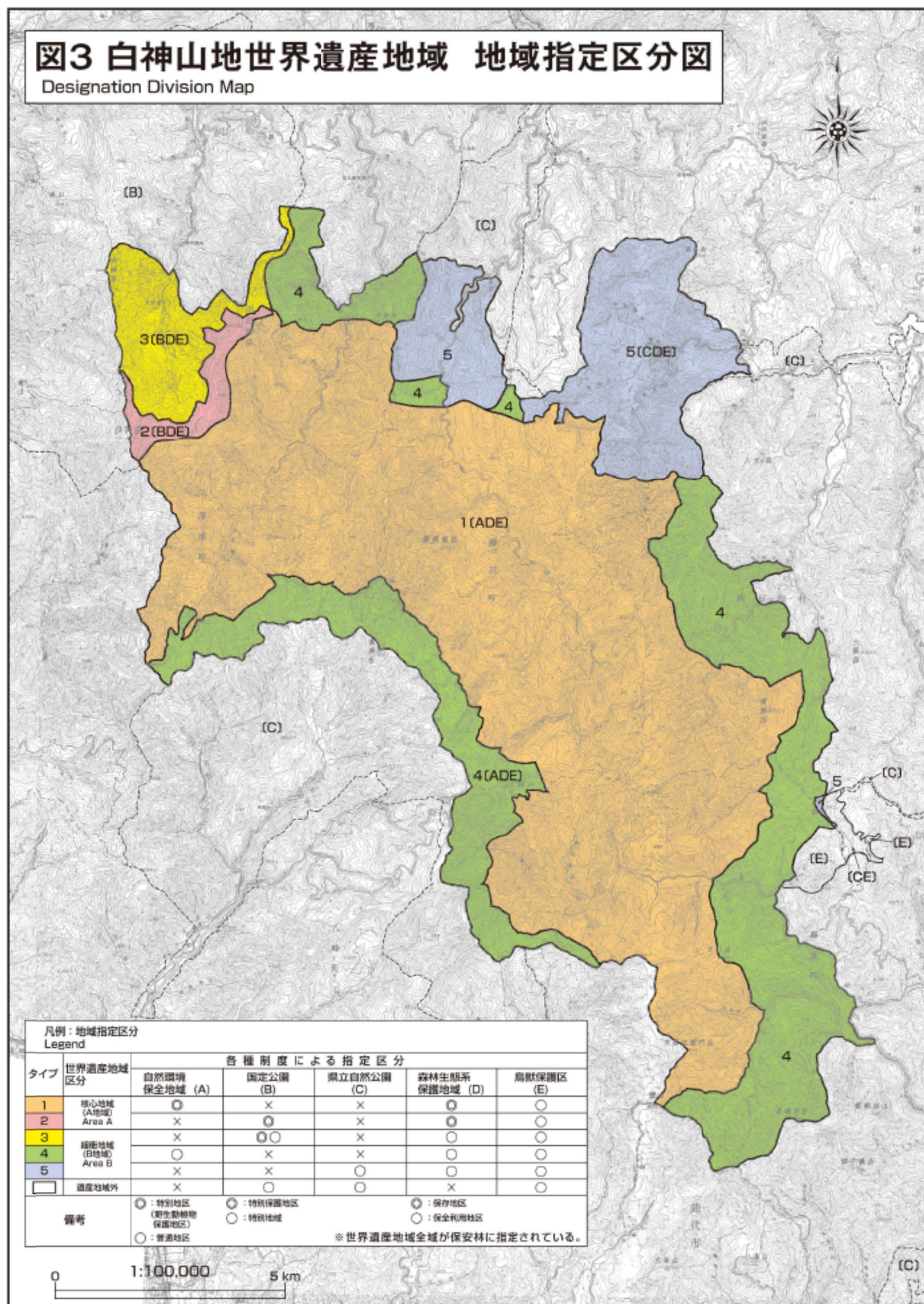


図3 白神山地世界遺産地域 地域指定区分図

Designation Division Map



凡例：地域指定区分
Legend

タイプ	世界遺産地域 区分	各種制度による指定区分				
		自然環境 保全地域 (A)	国定公園 (B)	県立自然公園 (C)	森林生態系 保護地域 (D)	鳥獣保護区 (E)
1	核心地域 (A地域)	○	×	×	○	○
2	Area A	×	○	×	○	○
3	緩衝地域 (B地域)	×	○	×	○	○
4	Area B	○	×	×	○	○
5	Area B	×	×	○	○	○
	遺産地域外	×	○	○	×	○

備考
○：特別地区 (野生動物植物保護地区)
○：普通地区
○：特別保護地区
○：特別地域
○：保存地区
○：保全利用地区

※世界遺産地域全域が保安林に指定されている。

0 1:100,000 5 km

1. Introduction

The Japanese beech (*Fagus crenata*) forest in the Shirakami-sanchi World Heritage Area (hereinafter “property”) is unique among the world’s forests because of the dominance of the beech, preservation of old-growth trees, and diversity of plants and animals, and is typical of new beech forests that appeared in East Asia after the Ice Age.

It is also a salient example of an ongoing ecological process with various community types and stages of regeneration. Recognized as having a natural environment of outstanding universal value that meets World Heritage criteria, Shirakami-sanchi was registered as a World Natural Heritage at the 17th Session of the World Heritage Committee in December 1993.

In this way the natural environment of the property with its globally extraordinary value is positioned as an asset to be shared by all humankind, and will be passed on in better condition to future generations.

2. Objectives

The Shirakami-sanchi World Heritage Area Management Plan (hereinafter “Management Plan”) was drawn up in November 1995 for the purpose of properly conserving and managing the natural environment of the property with its extremely diverse values so that the property is passed on to future generations in a better condition. Seventeen years have passed since the Management Plan was drawn up, and it is now revised to ensure management of the property is in line with present-day realities. This Management Plan specifies the basic policy for the application of various systems and implementation of various programs for promoting adaptive management of the ecosystem by the Ministry of the Environment, Forestry Agency, Agency for Cultural Affairs, Aomori Prefecture and Akita Prefecture (hereinafter “relevant government agencies”), which are responsible for the various systems relating to the conservation of the property, in consultation with the Scientific Council for the Shirakami-sanchi World Heritage Area (hereinafter “Scientific Council”), and for implementing the appropriate and efficient management of the Heritage Area with the cooperation of local municipalities (Ajigasawa-machi, Fukaura-machi and Nishimeya-mura in Aomori Prefecture, and Noshiro City, Fujisato-machi and Happo-cho in Akita Prefecture; hereinafter the same).

3. Overview of the Property

(1) Overview

Shirakami-sanchi is the general name for the mountainous area rising from 200 meters to 1,250 meters above sea level on the Japan Sea side in the northern region of Honshu, and boasts the largest expanses of old-growth beech (genus *Fagus*) forests in East Asia. Within this area are remnants of cool-temperate beech forests that covered the hills and mountain regions of northern Japan from about 8,000-12,000 years ago.

The existing beech forests of Europe, East Asia and North America are believed to have originated from pre-Ice Age vegetation in the Arctic (region surrounding the North Pole). As the distribution of this vegetation shifted from the Arctic during the Ice Age, it was halted in its southward expansion by mountain ranges extending east-west, so much of the vegetation in the present-day beech forests in North America and Europe has been simplified. In contrast, Japan's beech forests, including those in Shirakami-sanchi, are climax forests in which beech and other vegetation originating around the Arctic region that continued its southward expansion in Japan without hindrance during the Ice Age again expanded its distribution after the late glacial period, so these forests contain many elements of Arcto-Tertiary flora (flora existing in the Arctic about 50 million years ago).

Reflecting the climate of heavy snowfall that is characteristic of the inland areas along the Japan Sea but rare elsewhere in the world, Shirakami-sanchi consists of forests in which the Japanese beech (*Fagus crenata*) stands as the single dominant tree species, and unique plant communities with great diversity including forest floor plants typified by the evergreen *Sasa kurilensis*.

Shirakami-sanchi is home to *Dryocopus martius* and other rare birds that require a highly diverse forest habitat including mature forest areas, and *Capricornis crispus*, *Ursus thibetanus*, *Macaca fuscata*, and other large mammals. These and the vast number of other species in the area interact to form the forest ecosystems.

Located in the central region of Shirakami-sanchi with its steep mountainous terrain and beech forests that reflect the region's heavy-snow climate, the property has experienced minimal impact from human activity, and is covered with large expanses of old-growth native beech forests.

The entire property is national forests under the jurisdiction of the Forestry Agency. Conservation of the area's natural environment is secured through the designation of various conservation areas and systems administered by the Ministry of the Environment, Forestry Agency, Agency for Cultural Affairs, Aomori Prefecture and Akita Prefecture (Shirakami-sanchi Nature Conservation Area, Shirakami-sanchi Forest Ecosystem Reserve, Natural Monuments, Tsugaru Quasi-National Park and other natural parks, Shirakami-sanchi National Wildlife Protection Area, National Endangered Species of Wild Fauna and Flora and Protection Forests).

(2) Location

The property is located in a mountainous area straddling the border between southwest Aomori and northwest Akita Prefectures. It covers an area of 16,971 ha from 40 degrees 21 minutes to 40 degrees 33 minutes North and from 140 degrees 0 minutes to 140 degrees 13 minutes East, and rises from 200 meters up to 1,250 meters above sea level at the summit of Mt. Mukai-Shirakami-dake.

The towns and villages in this area are Ajigasawa-machi and Fukaura-machi in Nishi-Tsugaru-gun, and Nishimeya-mura in Naka-Tsugaru-gun, Aomori Prefecture, and Fujisato-machi in Yamamoto-gun, Akita Prefecture.

(3) Natural Environment

a. Topographical and Geological Features

The rugged terrain and deep ravines of Shirakami-sanchi were carved out by the flow of the area's rivers including the Okawa River (Nishimeya-mura), a tributary of the Iwaki River, Akaishi River (Ajigasawa-machi), Oirase River (Fukaura-machi) and Sazanai River (Fukaura-machi) in Aomori Prefecture, and Kasuge River (Fujisato-machi), a tributary of the Yoneshiro River in Akita Prefecture. All rivers flow from their source in the property out to the Japan Sea.

Shirakami-sanchi is an uplifted area where the forces of erosion have created steep escarpments, and mountain collapses and landslides are quite common, which are in contrast with the relatively gentle slopes in areas near ridges that have not been worn away by erosion. Within this border area are numerous mountains rising above 1,000 meters, including Mt. Ko-dake and Mt. Futatsu-Mori on the Akita Prefecture side (Fujisato-machi), and Mt. Shirakami-dake and Mt. Mukai-Shirakami-dake on the Aomori Prefecture side (Fukaura-machi).

The geological makeup of Shirakami-sanchi consists of a primarily granite bedrock formed 90 million years ago (Mesozoic era in the Cretaceous period), and sedimentary rock (tuff, mudstone and sandstone) formed between 20 million and several million years ago (Tertiary Period of the Cenozoic Era) interspersed with intrusive rocks (rock that formed from cooled magma rising up from the Earth's core, rhyolite, andesite etc.)

b. Climate

Shirakami-sanchi falls under the climate of the Japan Sea side, and has particularly clearly defined changes between seasons.

New growth in vegetation with the melting snow in April and May marks the beginning of spring, and heralds a surge in plant and animal activity. Summer begins in June with a sharp rise in temperature, and the heat persists even in the mountain areas until September. In autumn, temperatures suddenly drop, and a rich tapestry of autumn leaves on the many different varieties of trees covers the entire Shirakami-sanchi area. In November the winter snow begins to fall, and accompanying the plunging temperatures are strong seasonal northwesterly winds unique to the Japan Sea side. Snow forms a deep white blanket over all parts of the region

Meteorological data collected at the ridge area (elevation of 615 meters) of Mt. Kushiishi (Ajigasawa-machi) in the property since 1999 show that the annual mean temperature is 7.2°C, the mean temperature in the coldest month (January) is -4.7°C, and the mean temperature in the hottest month (August) is 20.5°C. The area is covered by snow nearly six months of the year, and the average maximum snow depth is roughly four meters.

c. Flora

The beech forest, the climatic climax community in Japan's cool-temperate zone, symbolizes Shirakami-sanchi. While home to a vast range of tree species including *Acer pictum* ssp. *mono*, *Lindera umbellata* var. *membranacea*, and *Magnolia salicifolia*, the beech forests of Shirakami-sanchi are best known for its beech / *Sasa kurilensis* communities, which are typical vegetation types in the beech forests on the Japan Sea side of Japan. Growing in the upstream river banks and talus formed by landslides are *Pterocarya rhoifolia*, and at the foot of the mountains can be found *Quercus crispula* communities. Around the major ridges above 1,000 meters are windswept plant communities consisting mainly of shrub *Betula ermanii*, *Quercus crispula* var. *horikawae*, and *Ilex sugerokii* var. *brevipedunculata*, while near the peaks in the areas of exposed rock localized communities of *Pinus pumila* are seen. Along the sharp rocky ridges facing the upstream valleys grow *Pinus parviflora* and *Thuja standishii* communities. Communities of tall herbaceous plants including *Hemerocallis dumortieri* var. *esculenta*, *Ligularia hodgsonii*, and *Geranium*

erianthum are seen mainly on the ridges near the summit of Mt. Shirakami-dake, while *Weigela hortensis* / *Alnus pendula* communities, and *Polygonum sachalinense*, *Artemisia montana*, *Carex podogyna* and other tall herbaceous plant communities can be found on the avalanche-prone slopes. Communities of *Silene aomorensis*, *Saxifraga bronchialis* var. *rebunshirensis* and other grasses grow in rocky outcrops, while *Artemisia monophylla*, *Artemisia montana*, *Micranthes japonica*, *Hypericum vulcanicum*, *Isodon trichocarpus* and other grasses grow in the valley slopes and rocky areas.

Many of the plants distributed throughout the property have adapted to the heavy-snow climate of the Japan Sea side, and more than 540 species of plants have been identified in the forests, wind-swept summit areas, talus, rocky outcrops and various other diverse locations. These include *Pseudolysmachion schmidtianum* ssp. *senanense* var. *shiragamiense*, which is a variant endemic to Shirakami-sanchi, and *Silene aomorensis*, *Hylotelephium ussuriense* var. *tsugaruense*, and *Poa ogamontana*, which are quasi-endemic species that grow only in a few locations mainly in Shirakami-sanchi. There are also important plants including *Thuja standishii*, *Orchis graminifolia*, *Ranzania japonica*, *Pedicularis nipponica* and other species that are approaching their distribution limits, and various alpine plants such as *Saxifraga bronchialis* ssp. *funstonii* var. *rebunshirensis*, *Allium schoenoprasum* var. *orientale*, *Cryptogramma crista*, *Geranium erianthum*, *Trollius japonicus*, and *Clematis alpina* ssp. *ochotensis* var. *fauriei*.

d. Fauna

To date 35 species of mammal have been identified in Shirakami-sanchi, and among these are many of the order *Chiroptera*, including *Myotis pruinus*, *Pipistrellus endoi*, and *Nyctalus furvus*. There are many forest species of mammals including *Macaca fuscata*, *Ursus thibetanus*, and *Capricornis crispus*, while *Chimarrogale platycephala* inhabits the mountain stream areas, and *Vulpes vulpes japonica* and *Nyctereutes procyonoides viverrinus* live in an open slightly disturbed environment. Of the mammal species inhabiting this area, *Capricornis crispus* has been designated a Special Natural Monument, and *Glirulus japonicus* has been designated a Natural Monument.

There have also been 94 bird species identified, and many live in tree hollows. Numerous forest bird species inhabit the beech and other forests in Shirakami-sanchi, including *Otus scops*, *Eurystomus orientalis* and *Dryocopus martius*, which breed in tree hollows, and *Ficedula narcissina*, *Sitta europaea* and *Emberiza variabilis*. The forest is also home to large birds of prey at the top of the food chain, such as *Aquila chrysaetos* and *Spizaetus nipalensis*. In the mountain stream areas are found *Histrionicus histrionicus*, *Cinclus pallasii* and *Halcyon coromanda*. Of the bird species, *Aquila chrysaetos* and *Dryocopus martius* have been designated Natural Monuments, and *Aquila chrysaetos*, *Spizaetus nipalensis* and *Accipiter gentilis* have been designated National Endangered Species of Wild Fauna and Flora.

Nine species of reptiles including *Plestiodon japonicus*, *Achalinus spinalis* and *Dinodon orientale* are confirmed to inhabit the highly hospitable forest environment with its abundance of prey.

The deciduous broad-leaf beech forests that cover this area provide an abundance of moist areas and insect prey, and are rich in egg-laying sites for the thirteen confirmed species of amphibians inhabiting these forests, including *Onychodactylus japonicus*, *Hynobius nigrescens*, *Buergeria buergeri* and *Rhacophorus arboreus*.

Fish species that inhabit rivers throughout the area are *Salvelinus leucomaenis leucomaenis* and *Cottus pollux*, while *Lethenteron reissneri* and *Tribolodon sachalinensis* are found in some of the rivers.

More than 2,200 species of insects have been identified in the property. Beech-dependent insects inhabiting the beech forests include *Sibatanozephyrus fujisanus* and *Dolichopurosopus yokoyamai*. Insects endemic to Shirakami-sanchi include *Oroblemus yamauchii* and *Trechiana albidivalis*.

(4) Social Environment

a. History

Human activity in and around Shirakami-sanchi dates back to the Jomon Period (from the late Paleolithic period to the Neolithic period). Jomon ruins are distributed primarily in areas along the coastal terrace including Ajigasawa-machi and Fukaura-machi (formerly Iwasaki-mura), and in the Sunakose district along the Iwaki River in Nishimeya-mura.

During the Kamakura Period (1185-1333) control by the shogunate reached Tsugaru, then around 1360 during the Nanboku-cho (Northern and Southern Courts) period, the Nejo-Nanbu clan gained control over Shirakami-sanchi and the nearby Meyago (present-day Nishimeya-mura).

In the latter part of the 17th Century, a forestry policy was established in the Hirosaki domain embracing forest conservation and afforestation, and with this, logging began in Shirakami-sanchi for wood production.

The 18th Century saw lead and copper mining flourish, especially the Oppu Mine in the Nishimeya area to the east of Shirakami-sanchi, and logging produced the timber needed for the maintenance of mine pits and for smelting. Toward the end of the 18th Century planned logging was introduced when the Meyanosawa area (present-day Nishimeya-mura) in the Hirosaki domain became the production center for logs to be floated down river with regulations specifying a ten-year logging cycle. Life and conditions in Shirakami-sanchi in the 19th Century was captured by the Japanese artist Hirao Rosen in his series *Landscape around the Anmon Waterfalls (Anmon Sansuikan)* (the existing images are copies produced by his pupil Yamagata Gakusen). This series of paintings displayed loggers of the Meya area felling these floating logs in the Anmon River area (present-day Nishimeya-mura).

In the 20th Century management plans were drawn up under the Guidelines for the Preparation of National Forest Management Plans for forests administered by the then Forest Bureau of the Ministry of Agriculture and Commerce, marking the start of systematic forest management structures for national forests.

During the period of high economic growth extensive logging of native forests proceeded throughout Japan to meet the growing demand for timber, and a plan was drawn up to construct a road—the Seishu Forest Road—running through the central part of Shirakami-sanchi. The plan was, however, put on hold in the face of growing demands by local residents for the protection of native forests. In the latter half of the 1980s the public groundswell for protection of the natural environment including the preservation of old-growth forest ecosystems continued to rise, and in March 1990 the Forestry Agency designated a Forest Ecosystem Reserve covering about 17,000 ha for the conservation and scientific study of the central area of Shirakami-sanchi. In July 1992 the Environment Agency (present-day Ministry of the Environment) designated the area excluding the Natural Park a Nature Conservation Area.

In October 1992 the Government submitted a nomination for Shirakami-sanchi to the World Heritage Committee, and in December 1993 Shirakami-sanchi and Yakushima were inscribed on the World Heritage List as Japan's first World Heritage .

b. Utilization

Since the Edo Period, Shirakami-sanchi has been extensively used for timber resources to make wooden utensils and for fuel, and for food including edible wild plants and mushrooms. The area's mineral resources have also been exploited with the Oppu Mine and other important lead and copper mines along the Yunosawa River in Aomori Prefecture, and the Daira lead mine in Akita Prefecture. In contrast, with its steep and harsh terrain, the central part of Shirakami-sanchi including the property has received minimal human impact, and the beech forests remain pristine.

The Hirosaki Clan Journal recorded clashes between local residents and wolves, bears and other wildlife within Shirakami-sanchi in the clan's domain from the 17th Century, resulting in damage to crops and

physical injury and death. Some of the farmers who also served as clan foot soldiers had the role of dealing with any wildlife that posed a threat. Hunters called *Matagi* carrying on traditional hunting practices travelled deep into the beech forests to hunt *Ursus thibetanus* and other wild animals from autumn to spring, and while the main livelihood of the *Matagi* were farmers and woodcutters, hunting has been important supplementary work that has provided additional resources for their own lives or resources that could be exchanged for cash. *Matagi* hunters believe in the gods of the mountains and that all game is a gift from these gods, and this unique view has nurtured a lifestyle of coexistence with nature. This distinctive knowledge base fostered by the accumulation of such experiences throughout history has continued through to the present day. The gathering of edible mushrooms and wild plants including medicinal herbs in the area has also been recorded in historical documents (16th Century), confirming that local residents extensively utilized such mountain resources in a sustainable way.

While Shirakami-sanchi is still being used for traditional lifestyles built around the area's natural blessings, these days the area is mainly used for sightseeing, nature appreciation, mountain climbing and other similar activities.

As the area became better known following its inscription on the World Heritage List, there was growing concern that the increasing number of visitors to the property would have a negative impact on the natural environment, and following consultation among local residents and users, experts, and administrative agencies, entry into the property other than certain areas is now restricted.

These days, about 50,000 people a year visit the property and its surrounding area.

4. Basic Management Policy

(1) Management Goal

The management goal is to conserve Shirakami-sanchi's beech forests, the largest in East Asia and recognized at the time of World Heritage listing as having an outstanding universal value (Criterion: Ecosystems), and their ecosystems for future generations.

To this end, management of the property will be based on the principle of allowing the natural transition of the area with no human intervention, reinforced by strict protection through various systems, while implementing proactive management where necessary, including measures to deal with invasive species. Management will also be adaptive based on scientific knowledge and the results of scientific monitoring.

Criterion ix (Ecosystems)

The Heritage Area is an outstanding example representing significant on-going ecological and biological processes in the evolution and development of terrestrial, freshwater, coastal and marine ecosystems and communities of plants and animals.

(2) Management Structure

Shirakami-sanchi World Heritage Area Liaison Committee (hereinafter "Liaison Committee") has been established to serve as a forum for liaison and coordination between the relevant government agencies and local municipalities in managing the property. Through close liaison and cooperation, the relevant government agencies, with the assistance of local municipalities, work in unison to facilitate the proper and effective management of the property. For this, the understanding and cooperation of local communities is also essential, so the relevant government agencies and local municipalities are also coordinating closely with other organizations concerned and local residents.

The Liaison Committee established the Scientific Council comprising experts to provide the advice based on scientific data necessary for the adaptive management of the property.

(3) Management by Area Classification

The property is divided into two area classifications, and is managed in accordance with these classifications: 1) the core area (Core Area (Area A)), which has particularly outstanding vegetation and has been subjected to minimal human impact; and 2) the area around the Core Area that functions as a buffer zone (Buffer Area (Area B)).

Area

Core Area (Area A):	10,139 ha
Buffer Area (Area B):	6,832 ha
Total:	16,971 ha

a. Core Area (Area A)

In general, the Core Area is left to natural transition without human intervention. Unless for special academic purposes, the construction of facilities, quarrying of soil or rocks, or other actions that may have an adverse impact on the natural environment are strictly regulated under existing conservation systems. The entire Core Area is protected as a preservation zone of the Forest Ecosystem Reserve, a large part of the area is protected as a Special Zone and a Wildlife Protection Zone of the Nature Conservation Area, and parts are protected as a Special Protection Zone of the Quasi-national Park.

With the exception of mountain climbing and other purposes using established trails, entry into the Core Area will continue to be restricted to ensure the natural environment is properly protected. The scope of

these restrictions will take into account the number of visitors, advice from the Scientific Council, and the views of local communities and municipalities.

b. Buffer Area (Area B)

In general, the Buffer Area will be conserved in its current state, and certain kinds of activities will be regulated as necessary. Any activities that adversely affect the natural environment of the Core Area will be strictly controlled. The entire Buffer Area is a conservation and utilization zone of the Forest Ecosystem Reserve, a large part of the area is an Ordinary Zone of the Nature Conservation Area, and a part is a Special Protection Zone and a Special Zone of the Quasi-national Park and the Prefectural Natural Park.

5. Management Measures

(1) Conservation of Ecosystems

a. Basic Concept

The conservation of the pristine nature, biodiversity and outstanding natural landscape found in the property for the future demands that the structure and functions of the ecosystems forming the foundation of these are maintained.

In principle the property is left to natural transition without human intervention, however if the possibility arises that specific living organisms or human activity may adversely affect ecosystems to a significant level, effective measures will be adopted to alleviate the effects of such specific living organisms or human activity and maintain biodiversity.

The property's ecosystems comprise a great variety of species, so there is a need for the adaptive management of such complex ecosystems whose future outlook is difficult to predict. To this end, the relevant government agencies, in collaboration with local municipalities, universities and research institutions, and other experts, will continue monitoring the property to ensure appropriate management is being carried out.

b. Protection System in the Heritage Area

(a) Nature Conservation Area

Nature Conservation Areas are areas that meet certain criteria such as having outstanding natural forests where conservation of the natural environment is particularly necessary, and are designated and managed by the Minister of the Environment under the Nature Conservation Law.

In July 1992 the central part of Shirakami-sanchi was designated the Shirakami-sanchi Nature Conservation Area pursuant to this Act. This area includes an area designated a Special Zone where special conservation measures are required, and activities such as the construction of facilities, alteration of the form or nature of land, quarrying of soil or rocks, and the cutting of trees or bamboo require the approval of the Minister of the Environment. This Special Zone is also designated a Wildlife Protection Zone, and collecting or damaging any of the 108 protected plant species is prohibited. These zones are located entirely within the Core Area (Area A).

Areas outside the Special Zone are in the Ordinary Zone, and the Minister of the Environment must be notified in writing before activities such as the construction of facilities above a certain scale, or alteration of the form or nature of land are carried out. The Ordinary Zone is located entirely within the Buffer Area (Area B).

(b) Natural Park (Quasi-National Park and Prefectural Natural Park)

Natural Parks are parks designated under the Natural Parks Act for the purpose of protecting areas of outstanding scenic beauty, promoting their utilization, and contributing to public health, recreation and education while ensuring biodiversity. Sections of the property that are not within the Nature Conservation Area are designated either Quasi-National Park or Prefectural Natural Park.

The property includes the Tsugaru Quasi-National Park, which was designated by the Minister of the Environment under the Natural Parks Act and is managed by the Aomori Prefectural Governor (designated in March 1975), Akaishi-Keiryu Anmon-No-Taki Prefectural Natural Park, which was designated and is managed by the Aomori Prefectural Governor under prefectural ordinance (designated in July 1981), and Akita Shirakami Prefectural Natural Park (formerly the Kimimachizaka-Fujisato-kyo Prefectural Natural Park), which was designated and is managed by the Akita Prefectural Governor under prefectural ordinance (designated in August 2004). The Tsugaru Quasi-National Park contains two distinct areas with their own

respective regulations and restrictions. One is the Special Zone, which is an important area for the protection and utilization of the park, and where the approval of the prefectural governor is required for such activities as constructing facilities, cutting trees or bamboo, and collecting plants designated by the Minister of the Environment, and the other is the Special Protection Zone, which is an area for the strict protection of the core area of the park and where the approval of the prefectural governor is required not just for constructing facilities, cutting trees or bamboo, and collecting plants, but also for capturing animals, collecting fallen leaves and branches, and lighting open fires. Special Zones where the same regulations are enforced have also been established in both Prefectural Natural Parks.

(c) Forest Ecosystem Reserve

Forest Ecosystem Reserves are designated and administered by the Forestry Agency based on the Law on the Administration and Management of National Forests. Its purpose is to maintain the natural environment of the forest ecosystem, protect plants and animals, preserve genetic resources, develop forest operation and management technique, and promote scientific research etc. by preserving areas of primary natural forests in reasonable scales which represent the forest zones in Japan. The reserves are set out and managed according to the National Forest Operation Plan based on the National Forests Administration and Management Bylaw, which defines details on plan creation for the actual administration activities of each region.

Based on the regime as described above, the central part of the Shirakami-sanchi was designated as the Shirakami-sanchi Forest Ecosystem Reserve in March 1990. The Preservation Zone contains forest unit in the most primary condition and measures are being implemented to ensure that this forest ecosystem is strictly preserved. Excluding special circumstances such as academic research activities and natural disaster relief, in principle, the area is left to follow its natural course without human intervention. The Conservation and Utilization Zone works as a buffer in order to prevent the environmental changes of the surrounding area to impacting on the forests in the Preservation Zone. In this zone, forestry management operations for wood production are not to be done. In accordance with the natural conditions, the area is utilized as an educational or a recreational site without involving any large-scale development.

The entire Heritage Area overlaps the Forest Ecosystem Reserve. The Preservation Area corresponds to the Core Area (Area A), and the Conservation and Utilization Zone corresponds to the Buffer Area (Area B).

(d) Natural Monuments

Natural Monuments are designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology based on the Law for the Protection of Cultural Properties. Its purpose is to protect animals or plants (including their habitats, breeding sites, stopover points for migratory birds and native habitats) and geological minerals (including areas of unique natural phenomenon) which have significant scientific value for the country. Natural Monuments of particular importance may be designated as Special Natural Monuments.

Of the animals that inhabit the Heritage Area, *Capricornis crispus* has been designated a Special Natural Monument, and three — *Dryocopus martius*, *Aquila chrysaetos japonica* and *Glirulus japonicus* — have been designated Natural Monuments.

An activity that would alter the state of the Natural Monuments or affect their preservation requires permission of the Commissioner of the Agency for Cultural Affairs.

(e) Wildlife Protection Area

Under the Wildlife Protection and Proper Hunting Act, the Minister of the Environment may designate areas considered to be important for the international or national protection of wildlife as national Wildlife Protection Areas.

In March 2004 the area overlapping the Heritage Area was designated the Shirakami-sanchi National Wildlife Protection Area under the Act, and hunting in this area is prohibited.

(f) Nationally Endangered Species of Wild Fauna and Flora

Nationally Endangered Species of Wild Fauna and Flora are species that live or grow in Japan and face the threat of extinction, and have been designated under the Act on Conservation of Endangered Species of Wild Fauna and Flora.

Of the animals that inhabit the property, *Accipiter gentilis*, *Aquila chrysaetos* and *Spizaetus nipalensis* have been designated Nationally Endangered Species of Wild Fauna and Flora, and capturing, killing or injuring, and transferring these species is prohibited.

(g) Protection Forest

Protection Forests are designated by the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries or prefectural governors based on the Forest Law. It aims to fulfill specific public purposes including headwaters conservation, protection against sediment discharge, and preservation and formation of the living environment.

The entire property has been designated a Protection Forest for headwater conservation by the Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries.

In Protection Forests, cutting down standing trees and activities that could change the quality of the land require the permission of the prefectural governor.

(h) Prohibited Area (Harvesting of Aquatic Plants and Animals)

Under the Fishery Act, the inland waters fishery cooperative connected with the property may designate an area a prohibited area in accordance with the Class 5 Common Fishery Rights Recreational Fishing Rules and Class 5 Common Fishery Rights Exercise Rules to protect the reproduction of aquatic plants and animals.

c. Conservation and Management of Ecosystems

The property comprises not just beech forests, which symbolize Shirakami-sanchi, but also a diverse range of plant communities and various animal species that rely on them.

Embracing such great ecosystem diversity, the entire property is national forests and has been designated a Forest Ecosystem Reserve, while a large part of the Heritage Area has been designated a Nature Conservation Area, and parts have been designated Natural Parks. The relevant government agencies work together with experts and others under these conservation systems to preserve and manage these diverse ecosystems.

Areas in the property have been designated as the Forest Ecosystem Reserve, Natural Parks, and Protection Forests, so various development activities, logging, and picking *Silene aomoriensis*, *Cerastium arvense* var. *ovatum* and other endangered plant species are restricted throughout the entire property.

Animals in the property are managed under a broad range of conservation systems including the Law for the Protection of Cultural Properties, the Wildlife Protection and Proper Hunting Act, and the Act on Conservation of Endangered Species of Wild Fauna and Flora on the principle of essentially maintaining the structure and functions of the ecosystems to preserve the habitat of the *Ursus thibetanus*, *Capricornis crispus*, *Aquila chrysaetos*, *Spizaetus nipalensis*, *Dryocopus martius* and other mammals and birds with a wide home range, small mammals and birds, amphibians, reptiles, fish, and insects that require specific habitat conditions, and a diverse range of other wildlife. Moreover, the entire property is designated a Wildlife

Protection Area, and hunting is prohibited, while all rivers in the property are designated fishing prohibited areas by the fishery cooperatives that hold fishing rights.

Forest management operations for the purpose of wood production are not to be done in the property, while in the plantation forests in the Buffer Area and in national forests adjacent to the property, the relevant government agencies in collaboration with organizations concerned are carrying out nature restoration work including converting *Cryptomeria japonica* plantations to broadleaf forests. In addition, wildlife and plant seeds and pollen move freely within and outside the property, so if there is a risk of any external impact on the plants and animals in the property, the relevant government agencies will work together with local municipalities to ascertain the true nature of the risk, and examine measure to prevent such an impact. Special consideration is given to preventing the entry of invasive species and *Cervus nippon* that have a serious impact on the ecosystem, and also to preventing genetic disturbance such as the planting of trees or stocking of rivers with populations from other areas around the Heritage Area.

As there is population flow within and outside the property by endangered species confirmed to inhabit the property including *Aquila chrysaetos*, *Spizaetus nipalensis* and *Dryocopus martius*, relevant government agencies are working together with local municipalities to preserve much broader habitats in surrounding areas.

Animals such as *Ursus thibetanus*, *Macaca fuscata* and *Capricornis crispus* roam within and outside the property, and there may be occasions when they clash with human activity, so the relevant government agencies together with the surrounding districts as required are adopting the appropriate management measures based on wildlife protection plans drawn up by Aomori Prefecture and Akita Prefecture.

d. Climate Change etc.

While there are currently no major problems evident that can detract from the value of the property, the relevant government agencies, with the cooperation of local municipalities and other interested parties are gathering and studying information about global warming and other aspects of climate change, intrusion of invasive species and insect pests, intrusion by animals that are not indigenous to the area, such as *Sus scrofa* and *Cervus nippon*, and acid deposition in an effort to ensure the early detection of any risk or potential phenomenon that can spoil the natural value of the area. With advice from the Scientific Council, the data and ecological knowledge obtained from monitoring is applied in the examination of concrete measures based on scientific review.

There is a risk that global warming in particular will have a major impact on the overall beech forest ecosystem in Shirakami-sanchi, and considering that the areas suited to the growth of beech forests are projected to diminish, changes in the dynamics of the beech forests over time are being closely monitored. There is also a need for similar monitoring of the other diverse plant and animal communities within the region.

(2) Appropriate Utilization of the Property

a. Basic Concept

Utilization of the property is appropriate in accordance with the two area classifications of the Core Area (Area A) and the Buffer Area (Area B). Entry into the Core Area is restricted except for mountain climbing and other purposes using established trails to ensure that the area is used appropriately and this does not adversely affect vegetation. The Buffer Area can be used for cultural, educational and simple recreational purposes and for enjoying the area's natural beauty to the extent that such activities do not breach the purpose of the various systems. Hunting and fishing in the property is, in principle, prohibited under the relevant laws and regulations.

b. Appropriate Utilization

The relevant government agencies and local municipalities, together with organizations concerned are endeavoring to educate and raise awareness among visitors to Shirakami-sanchi about appropriate behavior, and where necessary, ensuring utilization is appropriate so that sightseeing, nature appreciation, mountain climbing and other similar activities within the property do not detract from the area's value.

The passage of general vehicles along forest roads around the Heritage Area will be restricted where entry into the Core Area is likely to have an adverse impact.

The relevant government agencies are also conducting patrols to determine entry or illegal activity in the Core Area, and at the same time, monitoring to ascertain trends in visitor numbers and the impact that these trends are having on the area's ecosystems. If the results of such patrolling and monitoring activities show actual or potential impact on the ecosystems through excessive use, methods of adjusting visitor numbers will be examined so that utilization is more appropriate.

c. Promotion of Ecotourism

To ensure the property continues to maintain its environmental value, practical activity programs will be promoted in the Buffer Area (Area B) and the area around the property as a means of further deepening visitors' understanding about the Shirakami-sanchi's natural environment and the importance of its protection.

In establishing programs to promote ecotourism, the relevant government agencies will make use of the knowledge and skills of local residents, and develop and sponsor training for outdoor nature guides and guides in the display facilities. Moreover, the relevant government agencies and local municipalities, with the cooperation of local organizations concerned, will draw up guidelines when providing explanations about the nature of the area so that its use does not adversely affect the natural environment, thereby promoting both the sustainable use and conservation of the area.

(3) Patrolling

As a part of the property management, the relevant government agencies together with local municipalities conduct joint patrolling to prevent illegal activities and ensure proper visitor behavior in the property.

To supplement this, patrolling will also be delegated to non-government volunteers.

District officers of Forestry Agency authorized as judicial police officers conduct effective patrols to quickly clamp down on illegal activities in the property, and investigate and liaise with the authorities concerned when illegal activities are discovered.

The relevant government agencies with the participation and cooperation of volunteer patrol officers and local municipalities are sharing information through the joint patrols to verify the deterrent effect, and through this, improve the effectiveness and efficiency of the patrolling operations.

The relevant government agencies, with the participation and cooperation of organizations concerned and local residents, will use the "Patrolling Manual for the Shirakami-sanchi World Heritage Area" drawn up by the Liaison Committee to ensure patrolling is effective.

Information on the results of patrols is provided to patrol officers' meetings held by the Liaison Committee.

(4) Low-Impact Facilities Development and Management

Facilities necessary for the management and appropriate utilization of the property will be kept to the minimum required to maintain the environmental value of the property.

Any signs or other management or control facilities will be designed with consideration to the natural landscape in accordance with the various systems, and the relevant government agencies and local municipalities will promote uniformity in the type, placement and design of such facilities. Every effort will be made to ensure there is no impact on the natural environment during construction or in management after the facilities have been established.

(5) Environmental Education, Information Sharing and Awareness Programs

The understanding and cooperation of visitors and local residents are essential for the conservation, management and appropriate utilization of the property. To this end, the relevant government agencies will conduct wide-ranging environmental education and awareness programs and provide extensive information about the unique ecosystems in the property, and the region's nature, history and culture that form the foundation of these ecosystems.

The relevant government agencies will educate and inform visitors about the rules and expected behavior in Shirakami-sanchi to minimize the impact that mountain climbing and other uses have on the property's ecosystems, and to promote the safe and sustainable use of the area.

Specifically, the relevant government agencies and local municipalities will actively tackle the following.

- (i) Promote environmental education through seminars on the nature of Shirakami-sanchi, forest classes and nature activity programs for children, students and others, and training workshops for guides and tour operators.
- (ii) Actively disseminate information both in Japan and overseas at major facilities and events using such media as displays, information panels, internet website, pamphlets, images and video to educate and expand awareness about conservation.
- (iii) Educate and expand awareness among climbers and general tourists about rules and correct behavior regarding the use of the area through patrols and explanations at major facilities.

The relevant government agencies and local municipalities share information through the Liaison Committee to increase the effectiveness of such measures.

(6) Surveys, Research and Monitoring

Working together with local municipalities, universities, research institutions and other experts, the relevant government agencies implement effective surveys, research and monitoring to gather scientific data so that management of the property is carried out adaptively based on scientific knowledge. Long-term monitoring is also carried out under the Shirakami-sanchi World Heritage Area Monitoring Plan, which has set the monitoring objectives necessary for management of the Heritage Area, details of implementation, and management indicators with advice from the Scientific Council. Monitoring results are consolidated in the Ministry of the Environment Shirakami-sanchi World Heritage Conservation Center Nishimeya-kan, and information that can be released is broadly disseminated for use in ensuring the appropriate management of the property. The relevant government agencies are also requesting other organizations that conduct research to share the data relating to such research.

(7) Organization of the Relevant Government Agencies and Local Municipalities

The relevant government agencies and local municipalities liaise and coordinate through the Liaison Committee, which was established to facilitate the appropriate conservation and management of Shirakami-sanchi, and also collaborate and share information with the Scientific Council to ensure the items listed at (1)–(6) above contribute to the efficient and effective management of the property.

a. Ministry of the Environment (Tohoku Regional Environment Office)

The Nishimeya Park Rangers Office and Fujisato Park Rangers Office are responsible for the management of the Nature Conservation Area and the National Wildlife Protection Area.

b. Forestry Agency (Tohoku Regional Forest Office)

The Tsugaru District Forest Office and Yoneshiro Seibu District Forest Office are responsible for the conservation and management of the Forest Ecosystem Reserve.

The Fujisato Forest Ecosystem Conservation Center and Tsugaru Shirakami Forest Ecosystem Conservation Center carry out nature restoration projects and forest environment educational activities in cooperation with other relevant organizations.

c. Agency for Cultural Affairs (Aomori Prefecture Board of Education and Akita Prefecture Board of Education)

The Aomori Prefecture Cultural Properties Protection Section and Akita Prefecture Cultural Properties Protection Office are responsible for management of natural monuments under the Law for the Protection of Cultural Properties.

d. Aomori Prefecture

The relevant sections are responsible for the conservation and management of the Quasi-National Park and Prefectural Natural Park, wildlife protection and management, and management of Protection Forests.

e. Akita Prefecture

The relevant sections are responsible for the conservation and management of the Prefectural Natural Park, wildlife protection and management, and management of Protection Forests.

f. Ajigasawa-machi, Fukaura-machi, Nishimeya-mura, Noshiro City, Fujisato-machi and Happoncho

The relevant sections are responsible for nature protection programs, wildlife protection and management, promotion of ecotourism, environment measures, and management of cultural properties in their respective administrative districts to facilitate the protection and appropriate use of the Heritage Area.

(8) Local Cooperation and Collaboration

To promote the appropriate management of the property in cooperation and collaboration with the local region, the relevant government agencies and local municipalities liaise and coordinate their activities at the Liaison Committee, and also widely consult with organizations concerned and local residents through various forums. Moreover, the results of this consultation process are widely disseminated.

The conservation of the property and its appropriate utilization will also be promoted through local cooperation and collaboration with constructive participation by relevant organizations and local residents.

6. Implementation of the Plan and Other Issues

(1) Implementation of the Plan

The relevant government agencies and local municipalities are effectively implementing the various matters contained in the Management Plan to ensure that the appropriate conservation and management of the property is carried out.

When examining the handling of any details or individual issues concerning the usage of the property that are not covered by the Management Plan or the future direction of management, the relevant government agencies will seek consensus through the Liaison Committee as required while consulting with the Scientific Council and local interested parties as necessary in accordance with the Management Plan.

(2) Review of the Plan

The Management Plan will be reviewed as necessary considering the results of monitoring of the natural environment, or changes in the social environment. At that time, the review will be examined by the Liaison Committee based on wide consultation and with the advice of the Scientific Council.

(3) Measures by Local Municipalities for the Surrounding Area

Promoting and encouraging environmentally friendly lifestyles and production in areas surrounding the property is an effective means of enhancing the preservation and management of the property. Local municipalities and their neighboring municipalities have adopted a range of measures to preserve the local living environment and create a region that is in harmony with nature, including waste reduction, more efficient use of resources and recycling, area beautification and cleaning, introduction of low-emission vehicles, and promoting environmental education and practical nature activities for local children. These municipalities are actively promoting vibrant regional development that further raises environmental awareness and an understanding of the intrinsic ties between Shirakami-sanchi and the surrounding region.

7. Conclusion

Shirakami-sanchi is home to the largest expanses of old-growth beech forests in East Asia, and comprises unique ecosystems that have evolved as a result of the distinct formation process and the rare climatic conditions along the Japan Sea side.

We must never forget that we have a responsibility to carry on the will of past generations, and pass Shirakami-sanchi on to future generations as an asset to be shared by all humankind.

The relevant government agencies and local municipalities responsible for the preservation and management of the property are working closely together to adopt a broad range of measures with the active participation and cooperation of relevant organizations concerned, local residents, and many other people that will further enhance the natural beauty and splendor of the property.

Shirakami-sanchi World Heritage Area Management Plan Appendix

October 2013

Table 1 Outline of the Systems Relating to the Conservation of the Shirakami-sanchi World Heritage Area

Name of systems	Month/year of designation	Outline	Zonings and each area	Management classification	Major restrictions	Notes
Nature Conservation Area (Shirakami-sanchi Nature Conservation Area)	July 1992	An area that fulfills a specific criteria such as an extraordinary natural forest, which is specially required to conserve its natural environment in light of natural and social conditions	Special Zone, 9,844 ha	Core Area (Area A)	Activities which need the approval of the Minister of the Environment (Article 25) (1) constructing, reconstructing or extending buildings; (2) altering the landscape; (3) quarrying soil or rocks; (4) reclamation; (5) altering the water level or water volume in rivers, etc.; (6) cutting trees or bamboo	Nature Conservation Law
			Wildlife Protection Zone, 9,844 ha (same area as Special Zone)	Core Area (Area A)	In principle, collecting, capturing or harming any plants or animals specified in the conservation plan for each area is prohibited (Article 26). (Refer to the attached list for protected species)	
			Ordinary Zone, 4,199 ha	Buffer Area (Area B)	Acts requiring notification to the Minister of the Environment (Article 28) (1) construction, reconstruction or extensions of buildings; (2) altering the landscape; (3) quarrying soil or rocks; (4) reclamation; (5) alteration of the water level or water volume in rivers, etc.	
Quasi-National Park (Tsugaru Quasi-National Park)	March 1975	Areas where there is a need to protect the natural environment for its greater use as an area of outstanding scenic beauty, and to contribute to protection of biodiversity.	Special Zone, 624 ha	Buffer Area (Area B)	The following activities require the approval of Aomori Prefectural Governor (Article 20): (1) constructing, reconstructing or extending buildings; (2) cutting trees or bamboo; (3) quarrying soil or rocks; (4) altering the water level or water volume in rivers, etc.; (5) advertising; (6) piling or storing soil or rocks; (7) reclamation; (8) altering the landscape; (9) collecting designated plants; and (10) changing the color of walls etc. (Refer to the attached list for plants that are subject to restrictions on collecting or damaging).	Natural Park Act
			Special Protection Zone, 344 ha	Core Area (Area A), Buffer Area (Area B)	The following activities require the approval of Aomori Prefectural Governor (Article 21): In addition to (1)-(8) and (10) listed above, (11) damaging trees or bamboo; (12) planting trees or bamboo; (13) grazing livestock; (14) piling or storing objects; (15) burning or open fires; (16) collecting or damaging plants and collecting leaf litter; (17) planting or sowing plants; (18) capturing animals; and (19) entering with vehicles or horses.	
Akashi-Keiryu Anmon-no-Taki Prefectural Natural Park	July 1981		Special Zone, 1,952 ha	Buffer Area (Area B)	The following activities require the approval of Aomori Prefectural Governor (Article 21): Same activities as those listed for the Special Zone in the Quasi-National Park (Refer to the attached list for plants that are subject to restrictions on collecting or damaging).	Aomori Prefecture Natural Park Ordinance

Name of systems	Month/year of designation	Outline	Zonings and each area	Management classification	Major restrictions	Notes
Akita Shirakami Prefectural Natural Park	August, 2004		Special Zone, 8 ha	Buffer Area (Area B)	The following activities require the approval of Akita Prefectural Governor (Article 15): Generally similar activities to those listed for the Special Zone in the Quasi-National Park (Refer to the attached list for plants that are subject to restrictions on collecting or damaging).	Akita Prefecture Natural Park Ordinance
Forest Ecosystem Reserve (Shirakami-sanchi Forest Ecosystem Reserve)	March 1990	Areas to maintain the natural environment of the forest ecosystem, protect plants and animals, preserve genetic resources, develop forest operation and management technique, and promote scientific research etc.	Preservation Zone, 10,139 ha	Core Area (Area A)	Principally, this area is left to follow its natural course without human intervention. (Monitoring, academic research and other activities that contribute to the larger public welfare, emergency measures caused by natural disasters and other legally grounded measures are excluded by this restriction.)	Restructure and Expansion of Protected Forest (Notification of Director-General of Forestry Agency, April 1989)
			Conservation and Utilization Zone, 6,832ha	Buffer Area (Area B)	Forest management operations for the purpose of wood production are not to be done conducted in this area (where an artificial forest is growing, multiple forest management may be conducted.) Educational and recreational use that does not accompany large-scale development is permissible.	
Natural Monuments (designated species)	<i>Capricornis crisupus</i> : 1955, <i>Dryocopus mortius</i> : 1965, <i>Aquila chrysaetos japonica</i> : 1965, <i>Glirulus japonicus</i> : 1975	Animals, plants and geological minerals which have significant scientific value for the country.	Special Natural Monuments: <i>Capricornis crisupus</i>) Natural Monuments: <i>Dryocopus mortius</i> , <i>Aquila chrysaetos japonica</i> , <i>Glirulus japonicus</i>		Activities that may change the present situation or have an effect on the preservation of the current situation need the approval of the Commissioner for Cultural Affairs (Article 125)	Law for the Protection of Cultural Properties
Wildlife Protection Area (Shirakami-sanchi National Wildlife Protection Area)	March 2004–October 2013	Areas recognized as being important for the international or national protection of wildlife.	16,971 ha (total of 17,157 ha including areas outside the Heritage Area)	Core Area (Area A), Buffer Area (Area B)	Capturing or killing wildlife and collecting or damaging bird eggs for academic research, for preventing damage to ecosystems or the agriculture, forestry and fishery industries, and other purposes require the approval of the Minister of the Environment (Article 9). Hunting is not permitted (Article 11).	Wildlife Protection and Appropriate Hunting Law *Under the abovementioned Act, in principle, capturing or killing wildlife and collecting or damaging bird eggs are prohibited (Article 8).
Nationally Endangered Species of Wild Fauna and Flora	April 1993	Species of wild fauna and flora that live or grow in Japan and face the threat of extinction.	<i>Aquila chrysaetos</i> , <i>Spizaetus nipalensis</i> , <i>Accipiter gentilis</i>		Capturing etc. (capturing, collecting, killing or harming) live individuals is, in principle, prohibited (Article 9). Capturing etc. live individuals for the purpose of academic research, breeding or propagation, education, or research into habitat conditions requires the approval of the Minister of the Environment (Article 10).	Law for the Conservation of Endangered Species of Wild Fauna and Flora

Name of systems	Month/year of designation	Outline	Zonings and each area	Management classification	Major restrictions	Notes
Protection Forest (Protection forest for headwaters)	1959 (Addition: 1970, 1971, 2004)	To achieve specific public purposes including headwaters conservation, protection against sediment discharge, and preservation and formation of the living environment.	16,971 ha	Core Area (Area A), Buffer Area (Area B)	Cutting down or damaging standing trees, grazing livestock, collecting undergrowth or leaf litter, digging soil, rocks or roots, land clearing or other activities that could change the quality of the land require the permission of the prefectural governor (Article 34).	Forest Law

Protected Species of Wild Flora and Fauna in the Shirakami-sanchi Nature Conservation Area Wildlife Protection Zone (Flora)
(Environment Agency Notice No. 47 of July 10, 1992)

Selaginella shakotanensis, *Botrychium multifidum* var. *robustum*, *Cryptogramma crispa* ssp. *acrostichoides*, *Blechnum castaneum*, *Lepidopis annuifrons*, *Pinus pumila*, *Taxus cuspidata* var. *nana*, *Silene gracillima*, *Silene aomorenensis*, *Anemone pseudaltaica*, *Anemone stolonifera*, *Clematis alpina* ssp. *ochotensis* var. *fusijamana*, *Coptis trifolia*, *Ranunculus acris* ssp. *nipponicus*, *Glaucidium palmatum*, *Diphylleia grayi*, *Epimedium koreanum*, *Ranzania japonica*, *Hypericum senanensis* ssp. *mutiloides*, *Hypericum vulcanicum*, *Arabis serrata* var. *glauca*, *Barbarea otioceras*, *Hylotelephium ussuriense* var. *tsugaruense*, *Sedum japonicum* ssp. *japonicum* var. *senanense*, *Parnassia palustris* var. *palustris*, *Ribes ambiguum*, *Scixifraga cherlerioides* ssp. *funstonii* var. *rebunshirensis*, *Saxifraga fortunei* var. *obtusocuneata*, *Micranthes japonica*, *Potentilla ancistrifolia* var. *dickinsii*, *Potentilla matsumurae*, *Cerasus nipponica* var. *nipponica*, *Spiraea betulifolia* var. *betulifolia*, *Spiraea miyabei*, *Hedysarum vicioides* ssp. *japonicum* var. *japonicum*, *Vicia fauriei*, *Geranium erianthum*, *Viola brevistipulata*, *Viola selkirkii*, *Viola verecunda* var. *fibrillosa*, *Cornus canadensis*, *Bupleurum nipponicum*, *Tilingia ajanensis*, *Schizocodm soldanelloides* var. *soldanelloides*, *Shortia uniflora*, *Monotropastrum humile*, *Epigaea asiatica*, *Rhododendron x kamatae*, *Rhododendron multiflorum*, *Rhododendron albrechtii*, *Rhododendron brachycarpum*, *Elliottia bracteata*, *Vaccinium praestans*, *Vaccinium vitis-idaea*, *Primula jesoana* var. *jesoana*, *Trientalis europaea*, *Gentiana triflora* var. *japonica*, *Gentiana triflora* var. *japonica* f. *montana*, *Galium kamtschaticum* var. *acutifolium*, *Polemonium coeruleum* ssp. *yezoense* var. *yezoense*, *Prunella prunelliformis*, *Thymus quinquecostatus*, *Mimulus sessilifolius*, *Pedicularis yezoensis*, *Veronica schmidtianum* ssp. *senanensis*, *Veronicastrum japonicum* var. *japonicum*, *Patrinia gibbosa*, *Artemisia schmidtiana*, *Cirsium borealinipponense*, *Cirsium alpicola*, *Saussurea muramatsui*, *Solidago virgaurea* ssp. *leiocarpa*, *Allium schoenoprasum* var. *orientale*, *Allium splendens*, *Clintonia udensis*, *Erythronium japonicum*, *Hemerocallis dumortieri* var. *esculenta*, *Lilium medeoloides*, *Narthecium asiaticum*, *Tofieldia coccinea* var. *kondoi*, *Tricyrtis latifolia*, *Trillium apetalon*, *Veratrum stamineum*, *Poa ogamontana*, *Lysichiton camtschaticense*, *Symplocarpus renifolius*, *Eriophorum gracile*, *Amitostigma kinoshitae*, *Calanthe tricarinata*, *Dactyloctenium ringens*, *Ephippianthus schmidtii*, *Goodyera foliosa* var. *laevis*, *Goodyera pendula* f. *brachyphylla*, *Neolindleya camtschatica*, *Amitostigma fujisanense*, *Liparis fujisanensis*, *Liparis krameri*, *Liparis kumokiri*, *Myrmechis japonica*, *Dactylorhiza aristata*, *Ponerorchis graminifolia*, *Oreorchis patens*, *Platanthera florentii*, *Platanthera mandarinorum* ssp. *mandarinorum* var. *oreades*, *Platanthera ophrydioides*, *Platanthera sachalinensis*, *Yuania japonica*, *Cerastium arvense* ssp. *strictum* var. *mitsumorense*

Total of 108 species

Protected wild fauna in the Shirakami-sanchi Nature Conservation Area Wildlife Protection Zone has not been designated.

Plants that are subject to restrictions on collecting or damaging in the Special Area of the Tsugaru Quasi-National Park
(Environment Agency Notice No. 34 of March 23, 1981)

Family	Species (Genus for plants belonging to the Family <i>Sphagnaceae</i>)
<i>Sphagnaceae</i>	<i>Sphagnum</i>
<i>Lycopodiaceae</i>	<i>Lycopodium alpinum</i> , <i>Lycopodium chinense</i> , <i>Huperzia cryptomerina</i> , <i>Lycopodium inundatum</i> , <i>Lycopodium dendroideum</i> , <i>Lycopodium sitchense</i>
<i>Selaginellaceae</i>	<i>Selaginella helvetica</i> , <i>Selaginella shakotanensis</i> , <i>Selaginella tamariscina</i>
<i>Pteridaceae</i>	<i>Cryptogramma crispa</i>
<i>Dryopteridaceae</i>	<i>Dryopteris amurensis</i> , <i>Thelypteris nipponica</i>
<i>Aspleniaceae</i>	<i>Asplenium ruprechtii</i>
<i>Polypodiaceae</i>	<i>Lepisorus annuifrons</i>
<i>Pinaceae</i>	<i>Pinus pumila</i>
<i>Cupressaceae</i>	<i>Juniperus chinensis</i>
<i>Myricaceae</i>	<i>Gale belgica</i> var. <i>tomentosa</i>
<i>Polygonaceae</i>	<i>Bistorta officinalis</i> (including <i>Polygonum bistorta</i>), <i>Aconogonon weyrichii</i>
<i>Caryophyllaceae</i>	<i>Cerastium arvense</i> , <i>Cerastium fischerianum</i> , <i>Dianthus superbus</i> var. <i>speciosus</i> (including <i>Dianthus superbus</i> var. <i>amoenus</i>), <i>Lychnis gracillima</i> , <i>Silene aomorenensis</i> , <i>Stellaria fenzlii</i>
<i>Ranunculaceae</i>	<i>Aconitum japonicum</i> , <i>Adonis ramosa</i> , <i>Anemone debilis</i> , <i>Anemone pseudoaltaica</i> , <i>Anemone raddeana</i> , <i>Aquilegia flabellata</i> , <i>Caltha palustri</i> , <i>Caltha fistulosa</i> , <i>Clematis ochotensis</i> , <i>Coptis trifolia</i> , <i>Glaucidium palmatum</i> , <i>Pulsatilla cernua</i> , <i>Ranunculus acris</i> , <i>Thalictrum tuberiferum</i> , <i>Paeonia japonica</i> , <i>Paeonia obovata</i>
<i>Berberidaceae</i>	<i>Diphylleia grayi</i> , <i>Epimedium koreanum</i> , <i>Ranzania japonica</i>
<i>Nymphaeaceae</i>	<i>Nymphaea tetragona</i> var. <i>tetragona</i> (including <i>Nymphaea tetragona</i>)
<i>Saururaceae</i>	<i>Saururus chinensis</i>
<i>Aristolochiaceae</i>	<i>Asarum fauriei</i> , <i>Asarum heterotropoides</i> , <i>Asarum sieboldii</i>
<i>Clusiaceae</i>	<i>Hypericum yezoense</i> , <i>Hypericum senanense</i> , <i>Hypericum vulcanicum</i>
<i>Droseraceae</i>	<i>Drosera rotundifolia</i>
<i>Papaveraceae</i>	<i>Corydalis ambigua</i> , <i>Corydalis capillipes</i> , <i>Pteridophyllum racemosum</i>
<i>Brassicaceae</i>	<i>Arabis serrata</i> var. <i>japonica</i> , <i>Barbarea orthoceras</i>
<i>Crassulaceae</i>	<i>Sedum iwarenge</i> (<i>Orostachys malacophylla</i>), <i>Rhodiola rosea</i> , <i>Sedum japonicum</i> , <i>Hylotelephium ussuriense</i> var. <i>tsugaruense</i>
<i>Saxifragaceae</i>	<i>Parnassia palustris</i> (including <i>Parnassia palustris</i> var. <i>tenuis</i>), <i>Saxifraga bronchialis</i> , <i>Saxifraga fortunei</i> (including <i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>obtusocuneata</i>), <i>Micranthes japonica</i>
<i>Rosaceae</i>	<i>Fragaria iinumae</i> , <i>Potentilla ancistrifolia</i> , <i>Potentilla anserina</i> , <i>Potentilla matsumurae</i> , <i>Comarum palustre</i> , <i>Prunus nipponica</i> (including <i>Prunus kurilensis</i>), <i>Rosa acicularis</i> , <i>Rosa rugosa</i> , <i>Rubus vernus</i> , <i>Spiraea betulifolia</i> var. <i>betulifolia</i>
<i>Fabaceae</i>	<i>Hedysarum vicioides</i> , <i>Vicia fauriei</i>
<i>Geraniaceae</i>	<i>Geranium erianthum</i> , <i>Geranium yezoense</i>
<i>Euphorbiaceae</i>	<i>Mercurialis leiocarpa</i>
<i>Violaceae</i>	<i>Viola blandiformis</i> , <i>Viola brevistipulata</i> , <i>Viola faurieana</i> , <i>Viola grayi</i> , <i>Viola langsdorfii</i> , <i>Viola selkirkii</i>
<i>Onagraceae</i>	<i>Chamerion angustifolium</i> , <i>Epilobium hornemannii</i> , <i>Epilobium pyrricholophum</i>
<i>Cornaceae</i>	<i>Cornus canadensis</i>
<i>Apiaceae</i>	<i>Bupleurum longiradiatum</i> , <i>Conioselinum kamtschaticum</i> , <i>Tilingia ajanensis</i>
<i>Diapensiaceae</i>	<i>Diapensia lapponica</i> , <i>Schizocodon soldanelloides</i> (including <i>Schizocodon soldanelloides</i> f. <i>alpinus</i> , <i>Schizocodon soldanelloides</i>), <i>Shortia uniflora</i> (including <i>Shortia uniflora</i> , <i>Shortia uniflora</i>)
<i>Pyrolaceae</i>	<i>Chimaphila japonica</i> , <i>Chimaphila umbellata</i> , <i>Monotropa hypopithys</i> , <i>Monotropa uniflora</i> , <i>Monotropastrum humile</i> , <i>Pyrola asarifolia</i> , <i>Pyrola renifolia</i>
<i>Ericaceae</i>	<i>Arctica nana</i> , <i>Cassiope lycopodioides</i> , <i>Gaultheria pyrolaoides</i> , <i>Ledum palustre</i> ,

	<i>Rhododendron multiflorum</i> (including <i>Rhododendron benhallii</i>), <i>Vaccinium oxycoccos</i> , <i>Epigaea asiatica</i> , <i>Phyllodoce caerulea</i> , <i>Phyllodoce nipponica</i> , <i>Rhododendron albrechtii</i> , <i>Rhododendron aureum</i> , <i>Rhododendron brachycarpum</i> (including <i>Rhododendron brachycarpum</i> var. <i>roseum</i> , <i>Rhododendron brachycarpum</i> var. <i>nemotoanum</i>), <i>Elliottia bracteata</i> , <i>Vaccinium praestans</i> , <i>Vaccinium vitis-idaea</i>
<i>Empetraceae</i>	<i>Empetrum nigrum</i>
<i>Primulaceae</i>	<i>Lysimachia thyrsiflora</i> , <i>Primula cuneifolia</i> , <i>Primula jesoana</i> , <i>Primula farinosa</i> , <i>Trientalis europaea</i> , <i>Trientalis europaea</i>
<i>Gentianaceae</i>	<i>Gentiana nipponica</i> , <i>Gentiana triflora</i> , <i>Pterygocalyx volubilis</i> , <i>Menyanthes trifoliata</i>
<i>Polemoniaceae</i>	<i>Polemonium caeruleum</i>
<i>Boraginaceae</i>	<i>Lithospermum erythrorhizon</i> , <i>Mertensia maritima</i>
<i>Lamiaceae</i>	<i>Dracocephalum argunense</i> , <i>Prunella prunelliformis</i> , <i>Scutellaria muramatsui</i> , <i>Scutellaria strigillosa</i> , <i>Thymus quinquecostatus</i>
<i>Scrophulariaceae</i>	<i>Mimulus sessilifolius</i> , <i>Pedicularis japonica</i> , <i>Pedicularis yezoensis</i> , <i>Pseudolysimachion kiusiana</i> , <i>Pseudolysimachion ovatum</i> ssp. <i>miyabei</i> var. <i>villosum</i> (including <i>Pseudolysimachion kiusianum</i> ssp. <i>miyabei</i> var. <i>miyabei</i>), <i>Veronicastrum japonicum</i>
<i>Orobanchaceae</i>	<i>Orobanche coerulescens</i> , <i>Phacellanthus tubiflorus</i>
<i>Lentibulariaceae</i>	<i>Utricularia bifida</i> , <i>Utricularia intermedia</i> , <i>Utricularia ochroleuca</i> , <i>Utricularia uliginosa</i>
<i>Caprifoliaceae</i>	<i>Macrodiervilla middendorffiana</i>
<i>Valerianaceae</i>	<i>Patrinia gibbosa</i>
<i>Dipsacaceae</i>	<i>Scabiosa japonica</i> (including <i>Scabiosa japonica</i> var. <i>acutiloba</i>)
<i>Campanulaceae</i>	<i>Adenophora divaricata</i> , <i>Lobelia sessilifolia</i> , <i>Platycodon grandiflorus</i>
<i>Asteraceae</i>	<i>Achillea ptarmica</i> , <i>Artemisia schmidtiana</i> , <i>Chrysanthemum yezoense</i> , <i>Cirsium chokaiense</i> , <i>Cirsium alpicola</i> , <i>Erigeron acris</i> , <i>Erigeron thunbergii</i> , <i>Erigeron thunbergii</i> ssp. <i>glabratus</i> , <i>Leontopodium japonicum</i> , <i>Ligularia hodgsonii</i> , <i>Saussurea muramatsui</i> , <i>Saussurea pulchella</i> , <i>Tephroses flammea</i> ssp. <i>glabrifolia</i> , <i>Tephroses pierotii</i> , <i>Senecio pseudoarnica</i> , <i>Solidago virgaurea</i> ssp. <i>leiocarpa</i>
<i>Scheuchzeriaceae</i>	<i>Scheuchzeria palustris</i>
<i>Liliaceae</i>	<i>Alettris foliata</i> , <i>Allium schoenoprasum</i> var. <i>orientale</i> , <i>Allium splendens</i> , <i>Clintonia udensis</i> , <i>Convallaria majalis</i> , <i>Erythronium japonicum</i> , <i>Gagea lutea</i> , <i>Helonias orientalis</i> , <i>Hemerocallis dumortieri</i> var. <i>esculenta</i> , <i>Hosta sieboldii</i> var. <i>rectifolia</i> , <i>Lilium leichtlinii</i> var. <i>tigrinum</i> , <i>Lilium maculatum</i> , <i>Lilium pensylvanicum</i> , <i>Lilium medeoloides</i> , <i>Narthecium asiaticum</i> , <i>Maianthemum yesoense</i> , <i>Streptopus amplexifolius</i> , <i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>kondoi</i> , <i>Tricyrtis latifolia</i> , <i>Trillium camtschaticense</i> , <i>Trillium apetalon</i>
<i>Iridaceae</i>	<i>Iris ensata</i> var. <i>spontanea</i> , <i>Iris laevigata</i> , <i>Iris setosa</i>
<i>Araceae</i>	<i>Lysichiton camtschaticense</i> , <i>Symplocarpus nipponicus</i> , <i>Symplocarpus renifolius</i>
<i>Cyperaceae</i>	<i>Carex hakkodensis</i> , <i>Carex mertensii</i> var. <i>urostachys</i> , <i>Eriophorum gracile</i>
<i>Orchidaceae</i>	<i>Amitostigma kinoshitae</i> , <i>Calanthe discolor</i> , <i>Calanthe nipponica</i> , <i>Calanthe puberula</i> , <i>Calanthe tricarinata</i> , <i>Calypso bulbosa</i> , <i>Cephalanthera erecta</i> , <i>Cephalanthera falcata</i> , <i>Cephalanthera longibracteata</i> , <i>Cephalanthera erecta</i> var. <i>subaphylla</i> , <i>Cremastra appendiculata</i> var. <i>variabilis</i> , <i>Cremastra unguiculata</i> , <i>Cymbidium goeringii</i> , <i>Cypripedium</i> , <i>Cypripedium japonicum</i> , <i>Dactylostalix ringens</i> , <i>Eleorchis japonica</i> (<i>Eleorchis japonicavar. conformis</i> , <i>Ephippianthus schmidtii</i> , <i>Epipactis papillosa</i> , <i>Epipactis thunbergii</i> , <i>Gastrodia elata</i> , <i>Goodyera foliosa</i> var. <i>laevis</i> , <i>Goodyera pendula</i> var. <i>brachyphylla</i> , <i>Goodyera schlechtendalana</i> , <i>Neolindleya camtschatica</i> , <i>Neottianthe cucullata</i> , <i>Habenaria sagittifera</i> , <i>Liparis fujisanensis</i> , <i>Liparis japonica</i> , <i>Liparis krameri</i> , <i>Liparis kumokiri</i> , <i>Liparis makinoana</i> , <i>Neottia cordata</i> , <i>Neottia makinoana</i> , <i>Neottia nipponica</i> , <i>Myrmechis japonica</i> , <i>Dactylorhiza aristata</i> , <i>Ponerorchis graminifolia</i> , <i>Oreorchis patens</i> , <i>Limnorchis chorisiana</i> , <i>Platanthera florentii</i> , <i>Platanthera hologlottis</i> , <i>Platanthera mandarinorum</i> var. <i>brachycentron</i> , <i>Platanthera tipuloides</i> ssp. <i>nipponica</i> , <i>Platanthera ophrydioides</i> , <i>Platanthera sachalinensis</i> , <i>Pogonia japonica</i> , <i>Pogonia minor</i> , <i>Tipularia japonica</i> , <i>Platanthera ussuriensis</i> , <i>Kuhlhasseltia nakaiana</i> , <i>Yuania japonica</i>

Total of 256 species

Alpine plants that may not be collected without approval in the Special Area of the Akaishi-Keiryu-Anmon-No-Taki Prefectural Natural Park
(Aomori Prefecture Notice 427 of June 7, 1986)

Family	Species
<i>Lycopodiaceae</i>	<i>Lycopodium dendroideum</i>
<i>Selaginellaceae</i>	<i>Selaginella tamariscina</i> , <i>Selaginella Helvetica</i> , <i>Selaginella shakotanensis</i>
<i>Hymenophyllaceae</i>	<i>Hymenophyllum barbatum</i>
<i>Polypodiaceae</i>	<i>Cryptogramma crispa</i> , <i>Asplenium ruprechtii</i> , <i>Lepisorus annuifrons</i> , <i>Thelypteris nipponica</i> , <i>Loxogramme grammitoides</i>
<i>Cupressaceae</i>	<i>Juniperus chinensis</i>
<i>Aristolochiaceae</i>	<i>Asarum sieboldii</i> , <i>Asarum fauriei</i> , <i>Asarum heterotropoides</i>
<i>Polygonaceae</i>	<i>Aconogonon weyrichii</i> , <i>Bistorta officinalis</i> (including <i>Polygonum bistorta</i>)
<i>Caryophyllaceae</i>	<i>Silene gracillima</i> , <i>Silene aomomensis</i> , <i>Cerastium arvense</i>
<i>Ranunculaceae</i>	<i>Paeonia japonica</i> , <i>Glaucidium palmatum</i> , <i>Trollius japonicus</i> , <i>Coptis trifolia</i> , <i>Thalictrum tuberiferum</i> , <i>Anemone debilis</i> , <i>Anemone stolonifera</i> , <i>Adonis ramosa</i> , <i>Clematis ochotensis</i>
<i>Berberidaceae</i>	<i>Ranzania japonica</i>
<i>Brassicaceae</i>	<i>Arabis serrata</i> var. <i>japonica</i>
<i>Crassulaceae</i>	<i>Sedum japonicum</i> var. <i>senanense</i> , <i>Hylotelephium ussuriense</i> var. <i>tsugaruense</i> , <i>Orostachys malacophylla</i> var. <i>aggregeata</i>
<i>Saxifragaceae</i>	<i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>alpina</i> , <i>Micranthes japonica</i> , <i>Saxifraga bronchialis</i> , <i>Parnassia palustris</i> , <i>Saxifraga fusca</i> ssp. <i>fusca</i>
<i>Rosaceae</i>	<i>Potentilla ancistrifolia</i> , <i>Potentilla matsumurae</i> , <i>Rosa acicularis</i>
<i>Fabaceae</i>	<i>Vicia fauriei</i>
<i>Geraniaceae</i>	<i>Geranium erianthum</i>
<i>Clusiaceae</i>	<i>Hypericum yezoense</i>
<i>Violaceae</i>	<i>Viola brevistipulata</i> , <i>Viola blandiformis</i> , <i>Viola selkirkii</i> , <i>Viola faurieana</i>
<i>Onagraceae</i>	<i>Epilobium hornemannii</i>
<i>Apiaceae</i>	<i>Bupleurum longiradiatum</i> , <i>Angelica iwatensis</i> , <i>Tilingia ajanensis</i>
<i>Cornaceae</i>	<i>Cornus canadensis</i>
<i>Diapensiaceae</i>	<i>Shortia uniflora</i> , <i>Schizocodon soldanelloides</i> , <i>Schizocodon soldanelloides</i> var. <i>magnus</i>
<i>Pyrolaceae</i>	<i>Pyrola japonica</i> , <i>Pyrola asarifolia</i> ssp. <i>incarnata</i> , <i>Pyrola renifolia</i> , <i>Chimaphila japonica</i> , <i>Monotropa hypopithys</i> , <i>Pyrola nephrophylla</i> , <i>Monotropa uniflora</i>
<i>Ericaceae</i>	<i>Gaultheria adenothrix</i> , <i>Vaccinium hirtum</i> , <i>Vaccinium oldhamii</i> , <i>Vaccinium ovalifolium</i> , <i>Vaccinium vitis-idaea</i> , <i>Rhododendron brachycarpum</i> , <i>Vaccinium smallii</i>
<i>Primulaceae</i>	<i>Primula jesoana</i> var. <i>jesoana</i>
<i>Gentianaceae</i>	<i>Gentiana triflora</i> var. <i>japonica</i>
<i>Polemoniaceae</i>	<i>Polemonium caeruleum</i>
<i>Lamiaceae</i>	<i>Meehania urticifolia</i> , <i>Prunella prunelliformis</i> , <i>Thymus quinquecostatus</i> , <i>Scutellaria muramatsui</i>
<i>Scrophulariaceae</i>	<i>Mimulus sessilifolius</i> , <i>Veronicastrum japonicum</i> , <i>Pedicularis yezoensis</i> , <i>Phtheirospermum japonicum</i> , <i>Pseudolysimachion subsessile</i> , <i>Veronica kiusiana</i> var. <i>villosa</i>
<i>Valerianaceae</i>	<i>Patrinia gibbosa</i>
<i>Asteraceae</i>	<i>Erigeron thunbergii</i> ssp. <i>glabratus</i> , <i>Artemisia schmidtiana</i> , <i>Senecio nemorensis</i> , <i>Ligularia hodgsonii</i> , <i>Cirsium borealinipponense</i> , <i>Solidago virgaurea</i> ssp. <i>leiocarpa</i> , <i>Saussurea muramatsui</i>
<i>Liliaceae</i>	<i>Tofieldia coccinea</i> , <i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>kondo</i> , <i>Tricyrtis latifolia</i> , <i>Hosta montana</i> , <i>Hemerocallis dumortieri</i> var. <i>esculenta</i> , <i>Streptopus streptopoides</i> ssp. <i>japonicus</i> , <i>Streptopus amplexifolius</i> , <i>Clintonia udensis</i> , <i>Paris verticillata</i> , <i>Veratrum maackii</i> Regel var. <i>japonicum</i> , <i>Allium schoenoprasum</i> var. <i>shibutuense</i>
<i>Orchidaceae</i>	<i>Cypripedium japonicum</i> , <i>Cypripedium debile</i> , <i>Ponerorchis graminifolia</i> , <i>Amitostigma kinoshitae</i> , <i>Neolindleya camtschatica</i> , <i>Platanthera sachalinensis</i> , <i>Platanthera ophrydioides</i> , <i>Platanthera florentii</i> , <i>Platanthera ussuriensis</i> , <i>Cephalanthera longibracteata</i> , <i>Yoania</i>

	<i>japonica</i> , <i>Neottia nipponica</i> , <i>Goodyera foliosa</i> var. <i>laevis</i> , <i>Myrmechis japonica</i> , <i>Liparis japonica</i> , <i>Liparis kumokiri</i> , <i>Liparis krameri</i> , <i>Calypso bulbosa</i> var. <i>speciosa</i> , <i>Ephippianthus schmidtii</i> , <i>Oreorchis patens</i> , <i>Calanthe discolor</i> , <i>Calanthe puberula</i> var. <i>reflexa</i> , <i>Calanthe tricarinata</i> , <i>Dactylostaix ringens</i> , <i>Cymbidium goeringii</i> , <i>Cyrtosia septentrionalis</i> , <i>Kuhlthasseltia nakaiana</i> , <i>Calanthe nipponica</i> , <i>Epipactis papillosa</i>
--	--

Total of 131 species

**Plants that are subject to restrictions on collecting or damaging in the Special Area of the Akita
Shirakami Prefectural Natural Park**
(Akita Prefecture Regulations No. 26 of July 15, 1963)

Family	Species
<i>Sphagnaceae</i>	All species (confirmed species in Akita Prefecture)
<i>Lycopodiaceae</i>	<i>Lycopodium alpinum</i> , <i>Lycopodium annotinum</i> , <i>Lycopodiella cernua</i> , <i>Lycopodium complanatum</i> , <i>Lycopodium chinense</i> , <i>Huperzia cryptomerina</i> , <i>Lycopodium inundatum</i> , <i>Lycopodium sitchense</i> , <i>Huperzia selago</i> , <i>Lycopodium dendroideum</i>
<i>Selaginellaceae</i>	<i>Selaginella helvetica</i> , <i>Selaginella selaginoides</i> , <i>Selaginella shakotanensis</i> , <i>Selaginella tamariscina</i>
<i>Isoetaceae</i>	<i>Isoetes asiatica</i> , <i>Isoetes japonica</i>
<i>Equisetaceae</i>	<i>Equisetum fluviatile</i> , <i>Equisetum ramosissimum</i>
<i>Ophioglossaceae</i>	<i>Botrychium japonicum</i> , <i>Botrychium ternatum</i> , <i>Ophioglossum thermale</i> , <i>Ophioglossum petiolatum</i>
<i>Osmundaceae</i>	<i>Osmunda lancea</i>
<i>Plagiogyriaceae</i>	<i>Plagiogyria japonica</i>
<i>Hymenophyllaceae</i>	<i>Vandenboschia nipponica</i> , <i>Vandenboschia kalamocarpa</i> , <i>Crepidomanes latealatum</i> , <i>Crepidomanes minutum</i> , <i>Hymenophyllum barbatum</i> , <i>Hymenophyllum polyanthos</i> , <i>Hymenophyllum wrightii</i>
<i>Dennstaedtiaceae</i>	<i>Dennstaedtia scabra</i> , <i>Hypolepis punctata</i> , <i>Microlepia marginata</i>
<i>Davalliaceae</i>	<i>Davallia mariesii</i>
<i>Adiantaceae</i>	<i>Adiantum monochlamys</i> , <i>Cryptogramma crispa</i> , <i>Pleurosoriopsis makinoi</i>
<i>Pteridaceae</i>	<i>Pteris cretica</i> , <i>Pteris terminalis</i> , <i>Pteris multifida</i>
<i>Aspleniaceae</i>	<i>Asplenium capillipes</i> , <i>Asplenium x castaneoviride</i> , <i>Asplenium ruprechtii</i> , <i>Asplenium ruta-muraria</i> , <i>Asplenium tenuicaule</i> , <i>Asplenium trichomanes</i> , <i>Asplenium tripteropus</i>
<i>Blechnaceae</i>	<i>Blechnum castaneum</i> , <i>Blechnum amabile</i>
<i>Dryopteridaceae</i>	<i>Leptorumohra fargesii</i> , <i>Arachniodes simplicior</i> , <i>Arachniodes chinensis</i> , <i>Dryopsis maximowicziana</i> , <i>Cyrtomium falcatum</i> , <i>Cyrtomium fortunei</i> , <i>Dryopteris amurensis</i> , <i>Dryopteris cycadina</i> , <i>Dryopteris bissetiana</i> , <i>Dryopteris championii</i> , <i>Dryopteris chinensis</i> , <i>Dryopteris dickinsii</i> , <i>Dryopteris erythrosora</i> , <i>Dryopteris fragrans</i> , <i>Dryopteris hondoensis</i> , <i>Dryopteris kinkiensis</i> , <i>Dryopteris kinokuniensis</i> , <i>Dryopteris maximowiczii</i> , <i>Dryopteris nipponensis</i> , <i>Dryopteris pacifica</i> , <i>Dryopteris tokyoensis</i> , <i>Polystichum craspedosorum</i> , <i>Polystichum longifrons</i> , <i>Polystichum microchlamys</i> , <i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>ovatopaleaceum</i> , <i>Polystichum polyblepharon</i> , <i>Polystichum pseudomakinoi</i> , <i>Polystichum tagawanum</i>
<i>Thelypteridaceae</i>	<i>Thelypteris decursivepinnata</i> , <i>Thelypteris glanduligera</i> , <i>Thelypteris nipponica</i> , <i>Thelypteris nipponica</i> var. <i>borealis</i> , <i>Thelypteris torresiana</i> var. <i>calvata</i> , <i>Thelypteris viridifrons</i>
<i>Woodsiaceae</i>	<i>Acystopteris japonica</i> , <i>Athyrium alpestre</i> , <i>Athyrium iseanum</i> , <i>Athyrium nikkoense</i> , <i>Athyrium oblitescens</i> , <i>Athyrium rupestre</i> , <i>Athyrium wardii</i> , <i>Cornopteris christenseniana</i> , <i>Deparia coreana</i> , <i>Deparia dimorphophylla</i> , <i>Deparia pseudoconilii</i> , <i>Deparia viridifrons</i> , <i>Diplaziopsis cavaleriana</i> , <i>Rhachidosorus mesosorus</i> , <i>Diplazium sibiricum</i> , <i>Diplazium sibiricum</i> var. <i>glabrum</i> , <i>Gymnocarpium dryopteris</i> , <i>Gymnocarpium jessoense</i> , <i>Woodsia macrochlaena</i> , <i>Woodsia manchuriensis</i>
<i>Polypodiaceae</i>	<i>Selliguea hastata</i> , <i>Lepisorus annuifrons</i> , <i>Lepisorus onoei</i> , <i>Lepisorus thunbergianus</i> , <i>Lepisorus ussuriensis</i> var. <i>distans</i> , <i>Loxogramme grammitoides</i> , <i>Polypodium fauriei</i> , <i>Polypodium sibiricum</i> , <i>Pyrrosia hastata</i> , <i>Pyrrosia linearifolia</i>
<i>Grammitidaceae</i>	<i>Micropolypodium okuboi</i>
<i>Marsileaceae</i>	<i>Marsilea quadrifolia</i>
<i>Salviniaceae</i>	<i>Salvinia natans</i>
<i>Azollaceae</i>	<i>Azolla japonica</i>
<i>Pinaceae</i>	<i>Pinus pumila</i>
<i>Cupressaceae</i>	<i>Juniperus chinensis</i> var. <i>sargentii</i> , <i>Juniperus conferta</i> , <i>Juniperus rigida</i> , <i>Juniperus communis</i> var. <i>nipponica</i>
<i>Taxaceae</i>	<i>Taxus cuspidata</i> var. <i>nana</i> , <i>Torreya nucifera</i> var. <i>radicans</i>

<i>Betulaceae</i>	<i>Alnus viridis</i> ssp. <i>maximowiczii</i>
<i>Urticaceae</i>	<i>Boehmeria holosericea</i> , <i>Boehmeria gracilis</i> , <i>Pilea japonica</i> , <i>Urtica angustifolia</i>
<i>Viscaceae</i>	<i>Loranthus tanakae</i>
<i>Balanophoraceae</i>	<i>Balanophora nipponica</i>
<i>Polygonaceae</i>	<i>Aconogonon nakaii</i> , <i>Aconogonon weyrichii</i> var. <i>alpinum</i> , <i>Bistorta officinalis</i> ssp. <i>japonica</i> , <i>Bistorta vivipara</i> , <i>Persicaria amphibia</i> , <i>Polygonum conspicuum</i> , <i>Persicaria debilis</i> , <i>Persicaria foliosa</i> var. <i>paludicola</i> , <i>Persicaria maackiana</i> , <i>Persicaria pubescens</i> , <i>Persicaria taquetii</i> , <i>Polygonum polyneuron</i>
<i>Aizoaceae</i>	<i>Tetragonia tetragonoides</i>
<i>Caryophyllaceae</i>	<i>Arenaria merckii</i> var. <i>chokaiensis</i> , <i>Cerastium fischerianum</i> , <i>Cerastium arvense</i> , <i>Dianthus superbus</i> , <i>Honkenya peploides</i> var. <i>major</i> , <i>Lychnis gracillima</i> , <i>Silene miqueliana</i> , <i>Sagina maxima</i> , <i>Silene aomomensis</i> , <i>Stellaria fenzlii</i>
<i>Chenopodiaceae</i>	<i>Atriplex patens</i> , <i>Atriplex subcordata</i> , <i>Chenopodium virgatum</i> , <i>Salsola komarovii</i>
<i>Schisandraceae</i>	<i>Schisandra chinensis</i>
<i>Ranunculaceae</i>	<i>Aconitum umbrosum</i> , <i>Aconitum okuyamae</i> , <i>Aconitum pterocaulis</i> , <i>Adonis ramosa</i> , <i>Anemone debilis</i> , <i>Hepatica nobilis</i> var. <i>japonica</i> forma <i>variegata</i> , <i>Anemone narcissiflora</i> , <i>Anemone pseudoaltaica</i> , <i>Anemone raddeana</i> , <i>Anemone stolonifera</i> , <i>Aquilegia buergeriana</i> var. <i>oxysepala</i> , <i>Aquilegia flabellata</i> var. <i>pumila</i> , <i>Caltha palustris</i> var. <i>barthei</i> , <i>Caltha palustris</i> var. <i>nipponica</i> , <i>Cimicifuga japonica</i> , <i>Clematis alpina</i> ssp. <i>ochotensis</i> , <i>Clematis alpina</i> ssp. <i>ochotensis</i> , <i>Clematis patens</i> , <i>Coptis trifolia</i> , <i>Coptis trifolia</i> , <i>Coptis trifoliolata</i> , <i>Dichocarpum nipponicum</i> , <i>Halerpestes kawakamii</i> , <i>Pulsatilla cernua</i> , <i>Ranunculus acris</i> var. <i>nipponicus</i> , <i>Ranunculus cantoniensis</i> , <i>Ranunculus chinensis</i> , <i>Ranunculus nipponicus</i> var. <i>submersus</i> , <i>Ranunculus repens</i> , <i>Ranunculus sceleratus</i> , <i>Thalictrum tuberiferum</i> , <i>Thalictrum ingratum</i> , <i>Thalictrum minus</i> var. <i>stipellatum</i> , <i>Thalictrum sekimotoanum</i> , <i>Trautvetteria caroliniensis</i> var. <i>japonica</i> , <i>Trollius japonicus</i>
<i>Ranunculaceae</i>	<i>Glaucidium palmatum</i>
<i>Berberidaceae</i>	<i>Achlys japonica</i> , <i>Diphylleia grayi</i> , <i>Ranzania japonica</i>
<i>Nymphaeaceae</i>	<i>Nuphar pumilum</i> , <i>Nuphar pumila</i> , <i>Nymphaea tetragona</i>
<i>Ceratophyllaceae</i>	<i>Ceratophyllum demersum</i>
<i>Saururaceae</i>	<i>Saururus chinensis</i>
<i>Aristolochiaceae</i>	<i>Aristolochia debilis</i> , <i>Asarum heterotropoides</i> , <i>Asarum sieboldii</i> , <i>Asarum fauriei</i> , <i>Asarum megacalyx</i>
<i>Paeoniaceae</i>	<i>Paeonia japonica</i> , <i>Paeonia obovata</i>
<i>Theaceae</i>	<i>Camellia rusticana</i> , <i>Eurya japonica</i>
<i>Clusiaceae</i>	<i>Hypericum gracillimum</i> , <i>Hypericum kamtschaticum</i> var. <i>hondoense</i> , <i>Hypericum penthorodes</i> , <i>Hypericum kamtschaticum</i> var. <i>hondoense</i> , <i>Hypericum yezoense</i>
<i>Droseraceae</i>	<i>Drosera anglica</i> , <i>Drosera rotundifolia</i>
<i>Papaveraceae</i>	<i>Corydalis ambigua</i> , <i>Corydalis capillipes</i> , <i>Corydalis raddeana</i> , <i>Dicentra peregrina</i> , <i>Pteridophyllum racemosum</i>
<i>Brassicaceae</i>	<i>Turritis glabra</i> , <i>Arabis hirsuta</i> , <i>Arabidopsis kamchatica</i> ssp. <i>kamchatica</i> , <i>Catolobus pendula</i> , <i>Arabis serrata</i> var. <i>glauca</i> , <i>Arabis serrata</i> var. <i>japonica</i> , <i>Cardamine akitsensis</i> , <i>Cardamine nipponica</i> , <i>Cardamine torrentis</i> , <i>Cardamine yezoensis</i> , <i>Draba nemorosa</i> , <i>Eutrema tenuis</i> var. <i>okinoshimensis</i> , <i>Macropodium pterospermum</i> , <i>Rorippa nikkoensis</i> , <i>Sisymbrium luteum</i>
<i>Crassulaceae</i>	<i>Hylotelephium sordidum</i> , <i>Hylotelephium ussuriense</i> var. <i>tsugaruense</i> , <i>Hylotelephium verticillatum</i> , <i>Orostachys malacophylla</i> var. <i>boehmeri</i> , <i>Orostachys malacophylla</i> var. <i>aggregata</i> , <i>Rhodiola ishidae</i> , <i>Rhodiola rosea</i> , <i>Phedimus aizoon</i> var. <i>aizoon</i> , <i>Phedimus aizoon</i> , <i>Sedum bulbiferum</i> , <i>Sedum japonicum</i> ssp. <i>japonicum</i> var. <i>japonicum</i> , <i>Sedum japonicum</i> ssp. <i>japonicum</i> var. <i>senanense</i> , <i>Sedum japonicum</i> ssp. <i>oryzifolium</i>
<i>Saxifragaceae</i>	<i>Astilbe microphylla</i> , <i>Boykinia lycoctonifolia</i> , <i>Mitella integripetala</i> , <i>Parnassia palustris</i> var. <i>palustris</i> , <i>Parnassia alpicola</i> , <i>Parnassia foliosa</i> var. <i>japonica</i> , <i>Penthorum chinense</i> , <i>Philadelphus satsumi</i> , <i>Ribes ambiguum</i> , <i>Ribes japonicum</i> , <i>Saxifraga bronchialis</i> ssp. <i>funstonii</i> var. <i>rebunshirensis</i> , <i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>alpina</i> , <i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>obtusocuneata</i> , <i>Saxifraga fusca</i> ssp. <i>fusca</i> , <i>Micranthes fusca</i> var. <i>kikubuki</i> , <i>Micranthes japonica</i>
<i>Rosaceae</i>	<i>Chaenomeles japonica</i> , <i>Filipendula multijuga</i> var. <i>ciliata</i> , <i>Geum calthifolium</i> var. <i>nipponicum</i> ,

	<i>Geum macrophyllum</i> var. <i>sachalinense</i> , <i>Sieversia pentapetala</i> , <i>Potentilla chinensis</i> , <i>Potentilla ancistrifolia</i> var. <i>dickinsii</i> , <i>Potentilla anserina</i> , <i>Dasiphora fruticosa</i> , <i>Potentilla matsumurae</i> , <i>Potentilla niponica</i> , <i>Comarum palustre</i> , <i>Potentilla anemonifolia</i> , <i>Prunus nipponica</i> , <i>Prunus nipponica</i> var. <i>kurilensis</i> , <i>Rosa acicularis</i> , <i>Rosa nipponensis</i> , <i>Rubus chamaemorus</i> , <i>Rubus mesogaeus</i> var. <i>adenothrix</i> , <i>Rubus oldhamii</i> var. <i>borealis</i> , <i>Rubus pedatus</i> , <i>Rubus pseudojaponicus</i> , <i>Rubus vernus</i> , <i>Rubus yabei</i> , <i>Sanguisorba albiflora</i> , <i>Sanguisorba stipulata</i> , <i>Sanguisorba tenuifolia</i> var. <i>purpurea</i> , <i>Sorbus matsumurana</i> , <i>Sorbus sambucifolia</i> , <i>Spiraea betulifolia</i> var. <i>betulifolia</i> , <i>Spiraea miyabei</i> , <i>Spiraea chamaedryfolia</i> var. <i>pilosa</i> , <i>Stephanandra incisa</i> , <i>Stephanandra tanakae</i>
<i>Fabaceae</i>	<i>Astragalus reflexistipulus</i> , <i>Chamaecrista nomame</i> , <i>Hylodesmum oldhamii</i> , <i>Hedysarum vicioides</i> ssp. <i>japonicum</i> var. <i>japonicum</i> , <i>Lathyrus palustris</i> ssp. <i>pilosus</i> , <i>Lathyrus quinquenervius</i> , <i>Lespedeza thunbergii</i> ssp. <i>patens</i> , <i>Lespedeza tomentosa</i> , <i>Thermopsis lupinoides</i> , <i>Vicia amurensis</i> , <i>Vicia japonica</i> , <i>Vicia unijuga</i> , <i>Vigna angularis</i> var. <i>nipponensis</i>
<i>Oxalidaceae</i>	<i>Oxalis acetosella</i> , <i>Oxalis griffithii</i>
<i>Geraniaceae</i>	<i>Geranium erianthum</i> , <i>Geranium krameri</i> , <i>Geranium wilfordii</i> , <i>Geranium yesoemse</i> var. <i>nipponicum</i> , <i>Geranium yesoense</i> var. <i>pseudopalustre</i> , <i>Geranium yesoense</i> var. <i>pseudopalustre</i>
<i>Linaceae</i>	<i>Linum stelleroides</i>
<i>Euphorbiaceae</i>	<i>Euphorbia adenochlora</i> , <i>Euphorbia lasiocaula</i> , <i>Euphorbia sinanensis</i> , <i>Euphorbia togakusensis</i> , <i>Mercurialis leiocarpa</i>
<i>Aceraceae</i>	<i>Acer australe</i>
<i>Sabiaceae</i>	<i>Meliosma tenuis</i>
<i>Celastraceae</i>	<i>Celastrus flagellaris</i> , <i>Euonymus lanceolatus</i> , <i>Euonymus planipes</i> , <i>Euonymus tricarpos</i>
<i>Rhamnaceae</i>	<i>Rhamnus costata</i> , <i>Rhamnus davurica</i> var. <i>nipponica</i>
<i>Elaeagnaceae</i>	<i>Elaeagnus macrophylla</i>
<i>Violaceae</i>	<i>Viola acuminata</i> , <i>Viola betonicifolia</i> var. <i>albescens</i> , <i>Viola biflora</i> , <i>Viola blandiformis</i> , <i>Viola brevistipulata</i> , <i>Viola keiskei</i> , <i>Viola crassa</i> , <i>Viola grypoceras</i> var. <i>rhizomata</i> , <i>Viola hirtipes</i> , <i>Viola japonica</i> , <i>Viola keiskei</i> , <i>Viola violacea</i> var. <i>makinoi</i> , <i>Viola inconspicua</i> ssp. <i>nagasakiensis</i> , <i>Viola mirabilis</i> var. <i>subglabra</i> , <i>Viola phalacrocarpa</i> , <i>Viola phalacrocarpa</i> , <i>Viola rossii</i> , <i>Viola sacchalinensis</i> , <i>Viola grayi</i> , <i>Viola chaerophylloides</i> var. <i>sieboldiana</i> , <i>Viola tokubuchiana</i> var. <i>takedana</i> , <i>Viola vaginata</i> , <i>Viola variegata</i> var. <i>nipponica</i> , <i>Viola violacea</i> var. <i>violacea</i> , <i>Viola yezoensis</i>
<i>Lythraceae</i>	<i>Ammannia multiflora</i> , <i>Rotala rosea</i> , <i>Rotala mexicana</i>
<i>Trapaceae</i>	<i>Trapa incisa</i>
<i>Onagraceae</i>	<i>Epilobium amurense</i> , <i>Chamerion angustifolium</i> , <i>Epilobium amurense</i> ssp. <i>cephalostigma</i> , <i>Epilobium anagallidifolium</i> , <i>Epilobium fauriei</i> , <i>Epilobium hornemannii</i> , <i>Epilobium hirsutum</i> , <i>Ludwigia ovalis</i>
<i>Haloragaceae</i>	<i>Myriophyllum spicatum</i> , <i>Myriophyllum propinquum</i> , <i>Myriophyllum verticillatum</i>
<i>Hippuridaceae</i>	<i>Hippuris vulgaris</i>
<i>Araliaceae</i>	<i>Cornus canadensis</i>
<i>Apiaceae</i>	<i>Angelica acutiloba</i> ssp. <i>iwatensis</i> , <i>Bupleurum nipponicum</i> , <i>Cnidium japonicum</i> , <i>Conioselinum kamtschaticum</i> Rupr., <i>Glehnia littoralis</i> , <i>Ostericum sieboldii</i> , <i>Peucedanum multivittatum</i> , <i>Pleurospermum uralense</i> , <i>Sium ninsi</i> , <i>Tilingia ajanensis</i> , <i>Sium suave</i> var. <i>nipponicum</i>
<i>Diapensiaceae</i>	<i>Diapensia lapponica</i> var. <i>obovata</i> , <i>Schizocodon ilicifolius</i> , <i>Schizocodon soldanelloides</i> var. <i>soldanelloides</i> , <i>Shortia uniflora</i> var. <i>uniflora</i>
<i>Pyrolaceae</i>	<i>Monotropa hypopithys</i> , <i>Monotropa uniflora</i> , <i>Monotropastrum humile</i> , <i>Orthilia secunda</i> , <i>Pyrola alpina</i> , <i>Pyrola faurieana</i> , <i>Pyrola asarifolia</i> ssp. <i>incarnata</i> , <i>Pyrola renifolia</i>
<i>Ericaceae</i>	<i>Andromeda polifolia</i> , <i>Arctica nana</i> , <i>Cassiope lycopodioides</i> , <i>Chamaedaphne calyculata</i> , <i>Enkianthus campanulatus</i> , <i>Epigaea asiatica</i> , <i>Gaultheria adenothea</i> , <i>Gaultheria pyrola</i> , <i>Ledum palustre</i> ssp. <i>diversipilosum</i> var. <i>nipponicum</i> , <i>Loiseleuria procumbens</i> , <i>Rhododendron x kamatae</i> , <i>Rhododendron multiflorum</i> , <i>Rhododendron pentandrum</i> , <i>Phyllodoce aleutica</i> , <i>Phyllodoce caerulea</i> , <i>Phyllodoce nipponica</i> , <i>Phyllodoce nipponica</i> ssp. <i>tsugifolia</i> , <i>Rhododendron nipponicum</i> , <i>Rhododendron albrechtii</i> , <i>Rhododendron brachycarpum</i> , <i>Rhododendron molle</i> ssp. <i>japonicum</i> , <i>Rhododendron lagopus</i> var. <i>niphophilum</i> , <i>Rhododendron semibarbatum</i> , <i>Rhododendron tschonoskii</i> ssp. <i>trinerve</i> , <i>Rhododendron tschonoskii</i> , <i>Elliottia bracteata</i> , <i>Therorhodon kamtschaticum</i> , <i>Vaccinium ovalifolium</i> , <i>Vaccinium oxycoccus</i> ,

	<i>Vaccinium praestans</i> , <i>Vaccinium shikokianum</i> , <i>Vaccinium vitis-idaea</i> , <i>Vaccinium yatabei</i> , <i>Vaccinium uliginosum</i> var. <i>alpinum</i>
<i>Empetraceae</i>	<i>Empetrum nigrum</i> var. <i>japonicum</i>
<i>Primulaceae</i>	<i>Lysimachia maritima</i> var. <i>obtusifolia</i> , <i>Lysimachia acroadenia</i> , <i>Lysimachia mauritiana</i> , <i>Lysimachia thyrsoflora</i> , <i>Lysimachia vulgaris</i> var. <i>davurica</i> , <i>Primula cuneifolia</i> var. <i>heterodonta</i> , <i>Primula japonica</i> , <i>Primula japonica</i> , <i>Primula modesta</i> var. <i>fauriei</i> , <i>Primula nipponica</i> , <i>Samolus parviflorus</i> , <i>Trientalis europaea</i> , <i>Trientalis europaea</i> var. <i>arctica</i>
<i>Loganiaceae</i>	<i>Mitrasacme indica</i> , <i>Mitrasacme pygmaea</i>
<i>Gentianaceae</i>	<i>Gentiana nipponica</i> , <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> , <i>Gentiana squarrosa</i> , <i>Gentiana thunbergii</i> var. <i>minor</i> , <i>Gentiana triflora</i> var. <i>japonica</i> , <i>Gentiana triflora</i> var. <i>japonica</i> , <i>Halenia corniculata</i> , <i>Pterygocalyx volubilis</i> , <i>Swertia bimaculata</i> , <i>Swertia tosaensis</i> , <i>Swertia perennis</i> ssp. <i>cuspidata</i> , <i>Swertia tetrapetala</i>
<i>Menyanthaceae</i>	<i>Nephrophyllidium crista-galli</i> ssp. <i>japonicum</i> , <i>Menyanthes trifoliata</i> , <i>Nymphoides indica</i> , <i>Nymphoides peltata</i>
<i>Apocynaceae</i>	<i>Amsonia elliptica</i> , <i>Trachelospermum asiaticum</i>
<i>Asclepiadaceae</i>	<i>Vincetoxicum atratum</i> , <i>Cynanchum wilfordii</i>
<i>Rubiaceae</i>	<i>Galium gracilens</i> , <i>Galium kikumugura</i> , <i>Galium pogonanthum</i> , <i>Galium tokyoense</i> , <i>Oldenlandia brachypoda</i> , <i>Rubia chinensis</i> , <i>Rubia jesoensis</i>
<i>Convolvulaceae</i>	<i>Calystegia sepium</i> , <i>Cuscuta australis</i>
<i>Boraginaceae</i>	<i>Eritrichium nipponicum</i> , <i>Lithospermum erythrorhizon</i> , <i>Mertensia maritima</i> ssp. <i>asiatica</i> , <i>Heliotropium japonicum</i> , <i>Omphalodes krameri</i> , <i>Trigonotis brevipes</i> var. <i>coronata</i>
<i>Verbenaceae</i>	<i>Tripura divaricata</i>
<i>Callitrichaceae</i>	<i>Callitriche japonica</i> , <i>Callitriche palustris</i>
<i>Lamiaceae</i>	<i>Ajuga ciliata</i> var. <i>villosior</i> , <i>Clinopodium macranthum</i> , <i>Dracocephalum argunense</i> , <i>Leonurus japonicus</i> , <i>Leonurus macranthus</i> , <i>Mosla japonica</i> , <i>Nepeta subsessilis</i> , <i>Prunella prunelliformis</i> , <i>Isodon shikokianus</i> var. <i>occidentalis</i> , <i>Isodon umbrosus</i> var. <i>excisiflexus</i> , <i>Salvia lutescens</i> var. <i>crenata</i> , <i>Scutellaria amabilis</i> , <i>Scutellaria muramatsui</i> , <i>Teucrium veronicoides</i> var. <i>brachytrichum</i> , <i>Thymus quinquecostatus</i>
<i>Solanaceae</i>	<i>Scopolia japonica</i> , <i>Solanum megacarpum</i> , <i>Tubocapsicum anomalum</i>
<i>Scrophulariaceae</i>	<i>Deinostema adenocaulum</i> , <i>Deinostema violaceum</i> , <i>Dopatrium junceum</i> , <i>Euphrasia insignis</i> var. <i>japonica</i> , <i>Euphrasia maximowiczii</i> var. <i>arcuata</i> , <i>Limnophila sessiliflora</i> , <i>Melampyrum roseum</i> var. <i>japonicum</i> , <i>Melampyrum roseum</i> var. <i>japonicum</i> , <i>Pedicularis apodochila</i> , <i>Pedicularis japonica</i> , <i>Pedicularis iwatensis</i> , <i>Pedicularis nipponica</i> , <i>Pedicularis resupinata</i> var. <i>caespitosa</i> , <i>Pedicularis resupinata</i> ssp. <i>oppositifolia</i> , <i>Pedicularis yezoensis</i> , <i>Pennellianthus frutescens</i> , <i>Pseudolysimachion kiusiana</i> var. <i>maritimum</i> , <i>Pseudolysimachion kiusianum</i> ssp. <i>miyabei</i> var. <i>japonicum</i> , <i>Veronica ovata</i> Nakai ssp. <i>miyabeivar. villosa</i> , <i>Veronica schmidtiana</i> ssp. <i>senanensis</i> , <i>Scrophularia buergeriana</i> , <i>Scrophularia alata</i> , <i>Scrophularia kakudensis</i> , <i>Veronica laxa</i> , <i>Veronica nipponica</i> , <i>Veronica polita</i> var. <i>lilacina</i> , <i>Veronicastrum japonicum</i>
<i>Pedaliaceae</i>	<i>Trapella sinensis</i>
<i>Gesneriaceae</i>	<i>Conandron ramondiioides</i>
<i>Orobanchaceae</i>	<i>Aeginetia indica</i> , <i>Aeginetia sinensis</i> , <i>Lathraea japonica</i> , <i>Orobanche coerulescens</i> , <i>Orobanche coerulescens</i> f. <i>nipponica</i> , <i>Phacellanthus tubiflorus</i>
<i>Lentibulariaceae</i>	<i>Pinguicula vulgaris</i> var. <i>macroceras</i> , <i>Utricularia japonica</i> , <i>Utricularia bifida</i> , <i>Utricularia caerulea</i> , <i>Utricularia intermedia</i> , <i>Utricularia minor</i> , <i>Utricularia australis</i> , <i>Utricularia uliginosa</i>
<i>Plantaginaceae</i>	<i>Plantago camtschatica</i> , <i>Plantago hakusanensis</i> , <i>Plantago japonica</i>
<i>Caprifoliaceae</i>	<i>Linnaea borealis</i> , <i>Lonicera alpigena</i> ssp. <i>glehnii</i> , <i>Lonicera caerulea</i> var. <i>emphyllocalyx</i> , <i>Lonicera caerulea</i> ssp. <i>edulis</i> var. <i>venulosa</i> , <i>Lonicera chamissoi</i> , <i>Sambucus chinensis</i> , <i>Weigela maximowiczii</i> , <i>Macrodiervilla middendorffiana</i>
<i>Adoxaceae</i>	<i>Adoxa moschatellina</i>
<i>Valerianaceae</i>	<i>Patrinia gibbosa</i> , <i>Patrinia scabiosifolia</i> , <i>Valeriana fauriei</i> , <i>Valeriana flaccidissima</i>
<i>Dipsacaceae</i>	<i>Scabiosa japonica</i>
<i>Campanulaceae</i>	<i>Campanula chamissonis</i> , <i>Campanula lasiocarpa</i> , <i>Campanula punctata</i> var. <i>punctata</i> , <i>Codonopsis ussuriensis</i> , <i>Lobelia sessilifolia</i> , <i>Asyneuma japonicum</i> , <i>Platycodon grandiflorus</i>

<i>Asteraceae</i>	<i>Achillea alpina</i> var. <i>longiligulata</i> , <i>Achillea alpina</i> var. <i>discoidea</i> , <i>Achillea ptarmica</i> ssp. <i>macrocephala</i> , <i>Arnica mallotopus</i> , <i>Arnica unalaschcensis</i> var. <i>tschonoskyi</i> , <i>Artemisia carvifolia</i> , <i>Artemisia arctica</i> ssp. <i>sachalinensis</i> , <i>Artemisia lancea</i> , <i>Artemisia schmidtiana</i> , <i>Artemisia stelleriana</i> , <i>Turczaninovia fastigiata</i> , <i>Aster rugulosus</i> , <i>Atractylodes ovata</i> , <i>Bidens cernua</i> , <i>Bidens maximowicziana</i> , <i>Cirsium setosum</i> , <i>Parasenecio adenostyloides</i> , <i>Parasenecio kamtschaticus</i> , <i>Carpesium cernuum</i> , <i>Carpesium macrocephalum</i> , <i>Cirsium borealinipponense</i> var. <i>spinulosum</i> , <i>Cirsium chokaiense</i> , <i>Cirsium dipsacolepis</i> , <i>Cirsium ganjuense</i> , <i>Cirsium alpicola</i> , <i>Cirsium nambuense</i> , <i>Cirsium tanakae</i> var. <i>nikkoense</i> , <i>Cirsium pendulum</i> , <i>Cirsium ugoense</i> Nakai, <i>Chrysanthemum rupestre</i> , <i>Chrysanthemum</i> × <i>marginatum</i> , <i>Eclipta thermalis</i> , <i>Erigeron acris</i> var. <i>acris</i> , <i>Erigeron acris</i> var. <i>kamtschaticus</i> , <i>Erigeron thunbergii</i> ssp. <i>thunbergii</i> , <i>Erigeron thunbergii</i> ssp. <i>glabratus</i> , <i>Pseudognaphalium hypoleucum</i> , <i>Hieracium japonicum</i> , <i>Inula ciliaris</i> , <i>Ixeris chinensis</i> ssp. <i>strigosa</i> , <i>Ixeridium dentatum</i> ssp. <i>kimuranum</i> , <i>Ixeris polycephala</i> , <i>Ixeris tamagawaensis</i> , <i>Leontopodium fauriei</i> , <i>Leontopodium fauriei</i> var. <i>angustifolium</i> , <i>Leontopodium japonicum</i> , <i>Ligularia dentata</i> , <i>Ligularia fischeri</i> , <i>Ligularia hodgsonii</i> , <i>Ligularia stenocephala</i> , <i>Matricaria matricarioides</i> , <i>Aster savatieri</i> , <i>Pertya rigidula</i> , <i>Pertya triloba</i> , <i>Saussurea brachycephala</i> , <i>Saussurea franchetii</i> , <i>Saussurea muramatsui</i> , <i>Saussurea pulchella</i> , <i>Saussurea riederi</i> ssp. <i>yezoensis</i> var. <i>japonica</i> , <i>Saussurea sagitta</i> , <i>Senecio nemorensis</i> , <i>Nemosenecio nikoensis</i> , <i>Sonchus brachyotus</i> , <i>Syneilesis palmata</i> , <i>Taraxacum denudatum</i>
<i>Alismataceae</i>	<i>Alisma plantago-aquatica</i> var. <i>orientale</i> , <i>Caldesia parnassiifolia</i> , <i>Sagittaria aginashi</i>
<i>Hydrocharitaceae</i>	<i>Blyxa echinosperma</i> , <i>Blyxa bicaudata</i> , <i>Blyxa japonica</i> , <i>Hydrilla verticillata</i> , <i>Hydrilla verticillata</i> , <i>Ottelia alismoides</i> , <i>Vallisneria spiralis</i>
<i>Scheuchzeriaceae</i>	<i>Scheuchzeria palustris</i> , <i>Triglochin asiatica</i> , <i>Triglochin palustris</i>
<i>Potamogetonaceae</i>	<i>Potamogeton alpinus</i> , <i>Potamogeton compressus</i> , <i>Potamogeton crispus</i> , <i>Potamogeton gramineus</i> , <i>Potamogeton maackianus</i> , <i>Potamogeton natans</i> , <i>Potamogeton pusillus</i> , <i>Potamogeton pectinatus</i> , <i>Potamogeton perfoliatus</i> , <i>Potamogeton berchtoldii</i> , <i>Potamogeton x yamagataensis</i> , <i>Ruppia maritima</i> , <i>Zannichellia palustris</i>
<i>Zosteraceae</i>	<i>Phyllospadix japonicus</i> , <i>Zostera japonica</i> , <i>Zostera marina</i>
<i>Najadaceae</i>	<i>Najas graminea</i> , <i>Najas marina</i> , <i>Najas oguraensis</i>
<i>Liliaceae</i>	<i>Aletris foliata</i> , <i>Aletris spicata</i> , <i>Allium schoenoprasum</i> var. <i>orientale</i> , <i>Allium splendens</i> , <i>Allium thunbergii</i> , <i>Allium tuberosum</i> , <i>Allium victorialis</i> ssp. <i>platyphyllum</i> , <i>Asparagus schoberioides</i> , <i>Clintonia udensis</i> , <i>Chionographis hisauchiana</i> ssp. <i>kurohimensis</i> , <i>Convallaria majalis</i> var. <i>manshurica</i> , <i>Disporum viridescens</i> , <i>Erythronium japonicum</i> , <i>Gagea japonica</i> , <i>Gagea lutea</i> , <i>Helonias orientalis</i> , <i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>disticha</i> , <i>Hemerocallis dumortieri</i> var. <i>esculenta</i> , <i>Hosta sieboldii</i> var. <i>rectifolia</i> , <i>Hosta sieboldiana</i> , <i>Lilium leichtlinii</i> , <i>Lilium maculatum</i> , <i>Lilium maculatum</i> var. <i>monticola</i> , <i>Lilium medeoloides</i> , <i>Lloydia serotina</i> , <i>Lloydia triflora</i> , <i>Narthecium asiaticum</i> , <i>Kinugasa japonica</i> , <i>Paris verticillata</i> , <i>Barnardia japonica</i> , <i>Smilax stans</i> , <i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>coccinea</i> , <i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>kondoi</i> , <i>Tofieldia okuboii</i> , <i>Tricyrtis affinis</i> , <i>Tricyrtis latifolia</i> , <i>Trillium camschatcense</i> , <i>Trillium x miyabeianum</i> , <i>Veratrum album</i> ssp. <i>oxysepalum</i> , <i>Veratrum stamineum</i>
<i>Pontederiaceae</i>	<i>Monochoria korsakowii</i>
<i>Iridaceae</i>	<i>Iris domestica</i> , <i>Iris ensata</i> var. <i>spontanea</i> , <i>Iris gracilipes</i> , <i>Iris laevigata</i> , <i>Iris setosa</i>
<i>Juncaceae</i>	<i>Juncus alatus</i> , <i>Juncus beringensis</i> , <i>Juncus bufonius</i> , <i>Juncus ensifolius</i> , <i>Juncus fauriensis</i> , <i>Juncus filiformis</i> , <i>Juncus gracillimus</i> , <i>Juncus kamschatcensis</i> , <i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>gracilis</i> , <i>Luzula multiflora</i> , <i>Luzula oligantha</i> , <i>Luzula pallidula</i> , <i>Luzula jimboi</i> ssp. <i>atrotepala</i>
<i>Eriocaulaceae</i>	<i>Eriocaulon atroides</i> , <i>Eriocaulon atrum</i> , <i>Eriocaulon cinereum</i> , <i>Eriocaulon decemflorum</i> , <i>Eriocaulon mikawanum</i> , <i>Eriocaulon nanellum</i> , <i>Eriocaulon ozense</i> , <i>Eriocaulon satakeanum</i> , <i>Eriocaulon tutidae</i>
<i>Poaceae</i>	<i>Agrostis flaccida</i> , <i>Agrostis mertensii</i> , <i>Anthoxanthum horsfieldii</i> var. <i>japonicum</i> , <i>Asperella longe-aristata</i> , <i>Calamagrostis fauriei</i> , <i>Calamagrostis canadensis</i> ssp. <i>langsдорffii</i> , <i>Calamagrostis longiseta</i> , <i>Calamagrostis grandiseta</i> , <i>Calamagrostis nana</i> ssp. <i>nana</i> , <i>Calamagrostis sachalinensis</i> , <i>Calamagrostis sesquiflora</i> ssp. <i>urelytra</i> , <i>Calamagrostis stricta</i> ssp. <i>inexpansa</i> , <i>Coelachne japonica</i> , <i>Deschampsia cespitosa</i> var. <i>festucifolia</i> , <i>Avenella flexuosa</i> , <i>Clinelymus dahuricus</i> , <i>Festuca extremiorientalis</i> , <i>Festuca ovina</i> , <i>Festuca hondoensis</i> , <i>Glyceria alnasteretum</i> , <i>Glyceria leptolepis</i> , <i>Glyceria lithuanica</i> , <i>Ischaemum aristatum</i> var. <i>crassipes</i> , <i>Koeleria macrantha</i> , <i>Miscanthus intermedius</i> , <i>Miscanthus oligostachyus</i> ,

	<i>Muhlenbergia ramosa</i> , <i>Achnatherum coreanum</i> var. <i>kengii</i> , <i>Phacelurus latifolius</i> , <i>Poa acroleuca</i> , <i>Poa matsumurae</i> , <i>Poa ogamontana</i> , <i>Poa radula</i> , <i>Poa sphondylodes</i> , <i>Poa alta</i> , <i>Polypogon fugax</i> , <i>Setaria chondrachne</i> , <i>Setaria viridis</i> var. <i>pachystachys</i> , <i>Sporobolus japonicus</i> , <i>Themeda triandra</i> var. <i>japonica</i> , <i>Torreyochloa viridis</i> , <i>Trisetum sibiricum</i> , <i>Zoysia macrostachya</i>
<i>Araceae</i>	<i>Acorus gramineus</i> , <i>Arisaema heterophyllum</i> , <i>Arisaema monophyllum</i> , <i>Arisaema takedae</i> , <i>Calla palustris</i> , <i>Lysichiton camtschatcense</i> , <i>Symplocarpus renifolius</i> , <i>Symplocarpus nipponicus</i>
<i>Sparganiaceae</i>	<i>Sparganium erectum</i> , <i>Sparganium glomeratum</i> , <i>Sparganium glomeratum</i> var. <i>angustifolium</i> , <i>Sparganium japonicum</i> , <i>Sparganium emersum</i> , <i>Sparganium subglobosum</i>
<i>Typhaceae</i>	<i>Typha orientalis</i>
<i>Cyperaceae</i>	<i>Bulbostylis barbata</i> , <i>Bulbostylis densa</i> , <i>Carex x akitaensis</i> , <i>Carex angustisquama</i> , <i>Carex x aniaiensis</i> , <i>Carex aphyllopus</i> , <i>Carex augustiniowiczii</i> , <i>Carex biwensis</i> , <i>Carex brownii</i> , <i>Carex brunnescens</i> ssp. <i>pacifica</i> , <i>Carex capricornis</i> , <i>Carex canescens</i> , <i>Carex dimorpholepis</i> , <i>Carex alopecuroides</i> var. <i>chlorostachya</i> , <i>Carex flavocuspis</i> , <i>Carex fulta</i> , <i>Carex gibba</i> , <i>Carex hakkodensis</i> , <i>Carex hakonensis</i> , <i>Carex hakonensis</i> , <i>Carex kiotensis</i> , <i>Carex lasiocarpa</i> ssp. <i>occultans</i> , <i>Carex latisquamea</i> , <i>Carex laxa</i> , <i>Carex limosa</i> , <i>Carex longirostrata</i> , <i>Carex lyngbyei</i> , <i>Carex maackii</i> , <i>Carex mertensii</i> var. <i>urostachys</i> , <i>Carex middendorffii</i> , <i>Carex middendorffii</i> var. <i>tashirodakensis</i> , <i>Carex x moriyoshiensis</i> , <i>Carex morrowii</i> var. <i>temnolepis</i> , <i>Carex onoei</i> , <i>Carex otayae</i> , <i>Carex papulosa</i> , <i>Carex magellanica</i> ssp. <i>irrigua</i> , <i>Carex planiculmis</i> , <i>Carex pseudocuraica</i> , <i>Carex pyrenaica</i> var. <i>altior</i> , <i>Carex rhizopoda</i> , <i>Carex rostrata</i> var. <i>borealis</i> , <i>Carex rugata</i> , <i>Carex sachalinensis</i> var. <i>iwakiana</i> , <i>Carex sachalinensis</i> var. <i>iwakiana</i> , <i>Carex scabrifolia</i> , <i>Carex scita</i> var. <i>tenuiseta</i> , <i>Carex x caudatifrons</i> , <i>Carex stenantha</i> var. <i>stenantha</i> , <i>Carex subumbellata</i> var. <i>verecunda</i> , <i>Carex x sumikawaensis</i> , <i>Carex tenuiformis</i> , <i>Carex transversa</i> , <i>Cyperus exaltatus</i> var. <i>iwasakii</i> , <i>Cyperus flavidus</i> , <i>Cyperus pacificus</i> , <i>Cyperus polystachyos</i> , <i>Cyperus tenuispica</i> , <i>Eleocharis attenuata</i> , <i>Eleocharis equisetiformis</i> , <i>Eleocharis kamtschatica</i> , <i>Eleocharis ovata</i> , <i>Eriophorum gracile</i> , <i>Eriophorum vaginatum</i> ssp. <i>fauriei</i> , <i>Fimbristylis aestivalis</i> , <i>Fimbristylis dichotoma</i> , <i>Fimbristylis diphyloides</i> , <i>Fimbristylis velata</i> , <i>Fimbristylis dipsacea</i> var. <i>verrucifera</i> , <i>Lipocarpa microcephala</i> , <i>Rhynchospora alba</i> , <i>Rhynchospora faberi</i> , <i>Rhynchospora fujiana</i> , <i>Rhynchospora yasudana</i> , <i>Trichophorum cespitosum</i> , <i>Schoenoplectiella komarovii</i> , <i>Schoenoplectiella lineolata</i> , <i>Scirpus maximowiczii</i> , <i>Scirpus mitsukurianus</i> , <i>Schoenoplectus nipponicus</i> , <i>Bolboschoenus maritimus</i> , <i>Scirpus radicans</i> , <i>Scirpus sylvaticus</i> var. <i>maximowiczii</i> , <i>Scleria parvula</i>
<i>Orchidaceae</i>	<i>Amitostigma gracile</i> , <i>Amitostigma kinoshitae</i> , <i>Calanthe discolor</i> , <i>Calanthe nipponica</i> , <i>Calanthe puberula</i> var. <i>reflexa</i> , <i>Calanthe tricarinata</i> , <i>Cephalanthera erecta</i> var. <i>erecta</i> , <i>Cephalanthera erecta</i> var. <i>subaphylla</i> , <i>Cephalanthera falcata</i> , <i>Cephalanthera longibracteata</i> , <i>Dactylorhiza viridis</i> , <i>Cremastra appendiculata</i> var. <i>variabilis</i> , <i>Cremastra unguiculata</i> , <i>Cymbidium goeringii</i> , <i>Cypripedium debile</i> , <i>Cypripedium japonicum</i> , <i>Cypripedium macranthos</i> var. <i>speciosum</i> , <i>Cypripedium yatabeanum</i> , <i>Dactylostalix ringens</i> , <i>Eleorchis japonica</i> , <i>Ephippianthus schmidtii</i> , <i>Epipactis papillosa</i> , <i>Epipactis papillosa</i> var. <i>sayekiana</i> , <i>Epipactis thunbergii</i> , <i>Cyrtosia septentrionalis</i> , <i>Gastrodia elata</i> , <i>Goodyera foliosa</i> var. <i>laevis</i> , <i>Goodyera biflora</i> , <i>Goodyera pendula</i> , <i>Goodyera repens</i> , <i>Goodyera schlechtendalana</i> , <i>Neolindleya camtschatica</i> , <i>Amitostigma fujisanense</i> , <i>Pecteilis radiata</i> , <i>Habenaria sagittifera</i> , <i>Herminium lanceum</i> , <i>Liparis auriculata</i> Blume, <i>Liparis fujisanensis</i> , <i>Liparis japonica</i> , <i>Liparis krameri</i> , <i>Liparis kumokiri</i> , <i>Liparis makinoana</i> , <i>Liparis truncata</i> , <i>Lesser Twayblade</i> , <i>Neottia japonica</i> , <i>Neottia makinoana</i> , <i>Neottia nipponica</i> , <i>Neottia puberula</i> , <i>Malaxis paludosa</i> , <i>Malaxis monophyllos</i> , <i>Myrmechis japonica</i> , <i>Neottia nidus-avis</i> var. <i>mandshurica</i> , <i>Dactylorhiza aristata</i> , <i>Chusua chidori</i> , <i>Chondradenia fauriei</i> , <i>Ponerorchis graminifolia</i> , <i>Oreorchis patens</i> , <i>Limnorchis chorisiana</i> , <i>Platanthera florentii</i> , <i>Platanthera hologlottis</i> , <i>Platanthera japonica</i> , <i>Platanthera mandarinorum</i> ssp. <i>mandarinorum</i> var. <i>mandarinorum</i> , <i>Platanthera mandarinorum</i> ssp. <i>mandarinorum</i> var. <i>oreades</i> , <i>Platanthera mandarinorum</i> ssp. <i>maximowicziana</i> , <i>Platanthera mandarinorum</i> ssp. <i>mandarinorum</i> var. <i>neglecta</i> , <i>Platanthera ophrydioides</i> var. <i>ophrydioides</i> , <i>Platanthera takedae</i> , <i>Platanthera sachalinensis</i> , <i>Platanthera tipuloides</i> ssp. <i>tipuloides</i> var. <i>sororia</i> , <i>Platanthera tipuloides</i> ssp. <i>nipponica</i> , <i>Pogonia japonica</i> , <i>Pogonia minor</i> , <i>Tipularia japonica</i> , <i>Platanthera iinumae</i> , <i>Kuhlthasseltia nakaiana</i> , <i>Yuania japonica</i>

Total of 982

Table 2 Outline of Other Systems Relating to the Shirakami-sanchi World Heritage Area

Name of systems	Month/year of designation	Outline	Zone	Management classification	Major restrictions	Notes
Prohibited area (Pursuant to Shin-Fukaura-machi Fishery Cooperative Nai-Kyo No.1 Class 5 Common Fishery Rights Exercise Rules and Recreational Fishing Rules)	March 1998	Commercial and recreational fishing is prohibited to enable the recovery of fish resources by protecting the upstream areas as natural spawning grounds so that fishing can continue to be enjoyed in downstream areas.	Sazanai River Prohibited Area From the upper end of the Oike No.1 Power Plant Sazanai Intake Dam to the upstream tributary basin.	Buffer Area (Area B)	Catching <i>Plecoglossus altivelis</i> , <i>Oncorhynchus masou</i> and <i>Salvelinus leucomaenis</i> is prohibited.	Fishery Act
Prohibited area (Pursuant to Oirase Inland Fishery Cooperative Nai-Kyo No.3 Class 5 Common Fishery Rights Exercise Rules and Recreational Fishing Rules)	March 1997		Oirase River Prohibited Area From the upper end of the Tohoku-Electric Power Co., Inc. Oirase Dam to upstream Oirase River tributary basin.	Core Area (Area A), Buffer Area (Area B)	Catching <i>Plecoglossus altivelis</i> , <i>Oncorhynchus masou</i> , <i>Salvelinus leucomaenis</i> and <i>Tribolodon hakonensis</i> is prohibited.	
Prohibited area (Pursuant to Akaishi Fishery Cooperative Nai-Kyo No.5 Class 5 Common Fishery Rights Exercise Rules and Recreational Fishing Rules)	June 1998		Akaishi River Prohibited Area From the upstream end of the Akaishi Dam to the upstream tributary basin.	Core Area (Area A), Buffer Area (Area B)	Catching <i>Plecoglossus altivelis</i> , <i>Oncorhynchus masou</i> , <i>Salvelinus leucomaenis</i> , <i>Cottus pollux</i> and <i>Tribolodon hakonensis</i> is prohibited.	
Prohibited area (Pursuant to Akaishi District Fishery Cooperative Nai-Kyo No.5 Class 5 Common Fishery Rights Exercise Rules and Recreational Fishing Rules)						
Prohibited area (Pursuant to Iwaki River Fishery Cooperative Nai-Kyo No.14 Class 5 Common Fishery Rights Exercise Rules and Recreational Fishing Rules)	June 1997		Iwaki River Prohibited Area From the upstream end of the erosion-control dam in the Nakatsugaru-gun Nishimeyamura Kawaharatai Onikawabe National Forest to upstream Iwaki River tributary basin. From the upstream end of the mud-control dam in Nakatsugaru-gun Nishimeyamura Kawaharatai Kawaharazawa National Forest to upstream Iwaki River tributary basin.	Core Area (Area A), Buffer Area (Area B)	Catching <i>Plecoglossus altivelis</i> , <i>Oncorhynchus masou</i> , <i>Salvelinus leucomaenis</i> , <i>Cyprinus carpio</i> , <i>Carassius</i> , <i>Tribolodon hakonensis</i> , <i>Cottus pollux</i> , and <i>Lethenteron japonicum</i> is prohibited.	
Prohibited area (Pursuant to Kasuge Fishery Cooperative Class 5 Common Fishery Rights Exercise Rules and Recreational Fishing Rules)	January 2004 (Revised in January 2012)	Commercial and recreational fishing is prohibited to protect fishery resources and ecosystems.	Kasuge River Prohibited Area Main stream and tributaries of the Kasuge River within the Forest Ecosystem Reserve (Core Area and Buffer Area of the World Heritage Area)	Core Area (Area A), Buffer Area (Area B)	Recreational fishing of <i>Plecoglossus altivelis</i> , <i>Salvelinus leucomaenis</i> , <i>Oncorhynchus masou</i> , <i>Tribolodon hakonensis</i> etc. is prohibited.	

* Only prohibited areas relating to Shirakami-sanchi World Heritage Area are listed in the above table.

Table 3 Major Facilities for Shirakami-sanchi Environmental Education and Information Dissemination

Facility	Operating organization	Location	Shirakami-sanchi environmental education and information dissemination activities
Shirakami-sanchi World Heritage Conservation Center (Nishimeya-kan)	Ministry of the Environment	Nishimeya-mura, Aomori Prefecture	Surveys, research, information dissemination and educational activities relating to the preservation and management of the Heritage Area.
Shirakami-sanchi World Heritage Conservation Center (Fujisato-kan)	Ministry of the Environment	Fujisato-machi, Akita Prefecture	Public education and awareness through displays about the Heritage Area, and guided nature observation tours.
Tsugaru Shirakami Forest Ecosystem Conservation Center	Forestry Agency	Ajigasawa-machi, Aomori Prefecture	Nature restoration projects and forest environment educational activities in the area around the Heritage Area.
Fujisato Forest Ecosystem Conservation Center	Forestry Agency	Fujisato-machi, Akita Prefecture	Forest environment educational and conservation/management activities relating to the Heritage Area.
Shirakami-sanchi Visitor Center	Aomori Prefecture	Nishimeya-mura, Aomori Prefecture	Public education and awareness using displays, videos and images about the Heritage Area and guided nature observation tours, and information dissemination through the facility's website.
Juniko Eco-Museum Center "Kokyokan"	Aomori Prefecture	Fukaura-machi, Aomori Prefecture	Public education and awareness through displays showing the natural environment of Juniko and its surrounding area, and guided nature observation tours.
Tourist Center "Hello Shirakami"	Ajigasawa-machi	Ajigasawa-machi, Aomori Prefecture	Public education and awareness through displays introducing the Heritage Area and Akaishi <i>Matagi</i> hunters.
Mini Shirakami "Kuromori-kan"	Ajigasawa-machi	Ajigasawa-machi, Aomori Prefecture	Public education and awareness through displays about the Heritage Area, and guided nature observation tours.
Subari Furusato Natural Park Center	Akita Prefecture	Fujisato-machi, Akita Prefecture	Public education and awareness through displays about the Heritage Area.
Hachimori-Bunakko Land	Akita Prefecture	Fujisato-machi, Akita Prefecture	Classes on forests, forestry and forest products using a range of teaching material, and field workshops (inoculation (mushrooms) workshops and woodworking classes).
Akita Shirakami Taiken Center	Akita Prefecture	Happo-cho, Akita Prefecture	Nature workshops and guided nature observation tours in Shirakami-sanchi, and overnight training.

Outline of Management Systems

1. Shirakami-sanchi World Heritage Area Liaison Committee Articles of Association (extract)

Article 2 (Purpose)

The Committee is established for the purpose of liaison and coordination among the relevant organizations to promote the appropriate conservation and management of the World Heritage List inscribed Shirakami-sanchi.

Article 3 (Organization)

1. The Committee shall comprise the following organization:

Tohoku Regional Environment Office,
Tohoku Regional Forest Office,
Aomori Prefecture,
Aomori Prefecture Board of Education,
Akita Prefecture, and
Akita Prefecture Board of Education.

2. The following organizations shall participate as observers until the revision of the Management Plan:

Ajigasawa-machi,
Fukaura-machi,
Nishimeya-mura,
Fujisato-machi,
Happo-cho, and
Noshiro City.

3. In addition, entities connected with the conservation and management of the Shirakami-sanchi World Heritage Area may be requested to participate as observers on an as-required basis.

Article 4 (Agenda)

The Committee shall discuss and coordinate the following matters to achieve the purpose stipulated in Article 2.

- (1) Matters required for facilitating the necessary cooperation among the organizations concerned regarding the implementation of conservation and management measures.
- (2) Matters concerning the Management Plan.
- (3) Other matters deemed necessary by the Committee for the effective conservation and management of the property.

Article 5 Executive Officers

1. The Committee shall appoint executive officers.

(1) The following persons shall serve as executive officers:

Senior Ranger, Tohoku Regional Forest Office;
Director, Forest Planning Division, Forest Planning and Management Department, Tohoku Regional Forest Office;
Natural Heritage Conservation Coordinator, Tohoku Regional Forest Office;
Director, Nature Protection Section, Environment and Lifestyle Division, Aomori Prefecture;
Director, Forestry Policy Section, Agriculture, Forestry and Fisheries Division, Aomori Prefecture;
Director, Cultural Properties Protection Section, Aomori Prefecture Board of Education;
Director, Nature Conservation Division, Department of Living and Environment, Akita Prefecture;

Director, Forest Maintenance Division, Department of Agriculture, Forestry and Fisheries, Akita Prefecture; and

Director, Cultural Assets Preservation Office, Akita Prefectural Board of Education.

- (2) Executive officers shall hold executive meetings as required to ensure the effective operation of the Committee, and shall be responsible for facilitating liaison and coordination among the organizations concerned.

2. Responsible Government Agencies

Biodiversity Policy Division, Nature Conservation Bureau, Ministry of the Environment;
Forest Multiple Use and Conservation Division, Private Forest Department, Forestry Agency;
National Forest Planning Division, National Forest Department, Forestry Agency; and
Monuments and Sites Division, Cultural Properties Department, Agency for Cultural Affairs

Outline of the World Heritage Convention

1. Designation

Convention Concerning the Protection of the World Cultural and Natural Heritage

2. Objective

To establish a framework of international cooperation and support to effectively protect world cultural and natural heritage sites from the threat of damage or destruction as a legacy for all humankind.

3. Summary

Date of adoption: November 16, 1972 (17th UNESCO General Conference in Paris)

Effective date: December 17, 1975

Member states: 190 (as of September 2012)

World heritage sites: Currently 981 sites are inscribed on the World Heritage List (193 Natural, 759 Cultural, 29 Mixed — as of July 2013)

Secretariat: UNESCO World Heritage Center

4. World Heritage Definitions

Cultural heritage: Monuments, groups of buildings and sites that are of outstanding universal value from a historical, artistic or scientific perspective.

Natural heritage: Characteristic natural areas, habitats of threatened species of animals and plants, and areas of natural scenery that are of outstanding universal value from an aesthetic, academic or conservation perspective.

Mixed heritage: Heritage sites that have value as both cultural heritage and natural heritage.

Timeline of inscription of Shirakami-sanchi on the World Heritage List

March 1990: Shirakami-sanchi Forest Ecosystem Reserve designated.

June 1992: National Diet approved the World Heritage Convention; the Government submitted a letter of acceptance of the Convention to the Secretariat.

July 1992: Shirakami-sanchi designated a Nature Conservation Area.

September 1992: World Heritage Convention came into effect in Japan.

October 1992: The Government nominated Shirakami-sanchi and Yakushima to the World Heritage Committee as natural heritage candidate sites.

May 1993: IUCN (International Union for the Conservation of Nature and Natural Resources) conducted an area study.

June 1993: The Bureau Session of the World Heritage Committee (three recommendations given).

September 1993: The Japanese Government responded to the recommendations from the Bureau Session.

December 1993: Decision at the World Heritage Committee meeting in Colombia to inscribe Shirakami-sanchi and Yakushima on the World Heritage List.

July 1995: Shirakami-sanchi World Heritage Area Liaison Committee established.

November 1995: Shirakami-sanchi World Heritage Area Management Plan formulated.

June 1997: Regarding entry into the Core Area, the Shirakami-sanchi World Heritage Area Liaison Committee confirmed that “in principle, entry is prohibited” on the Akita Prefecture side, and “27 designated routes have been established and approval is required for entry” on the Aomori Prefecture side.

October 1997: IUCN conducted an area study and reported on the state of World Heritage Site conservation.

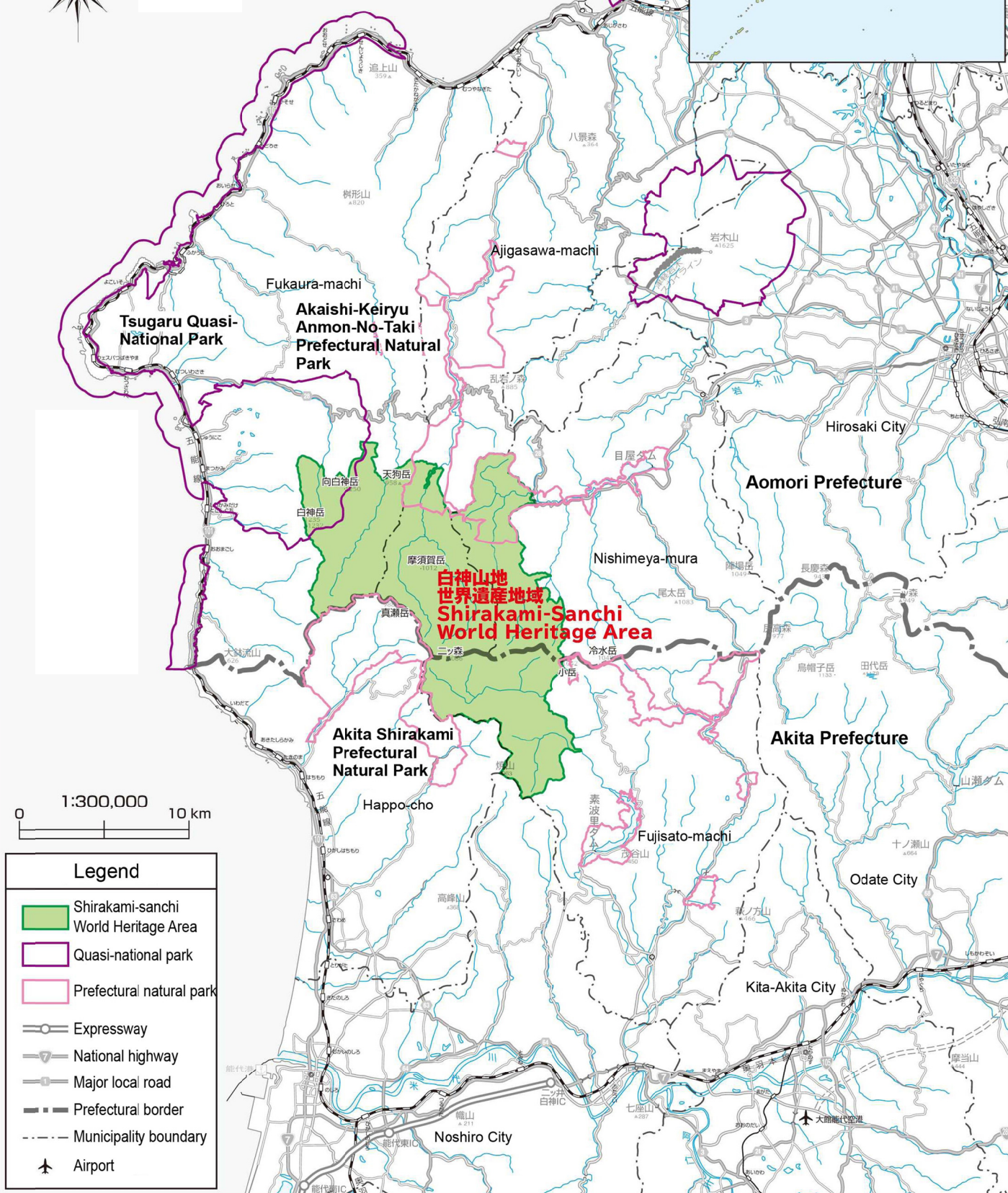
July 2003: Entry procedures for the designated routes on the Aomori Prefecture side were change from an approval system to a notification system.

March 2004: The Government designated the Shirakami-sanchi National Wildlife Protection Area.

June 2010: The Scientific Council for the Shirakami-sanchi World Heritage Area was established.
July 2012: Regular report at the 36th Session of the World Heritage Committee.

図1 白神山地世界遺産地域位置図

Location Diagram



Management Classification Map

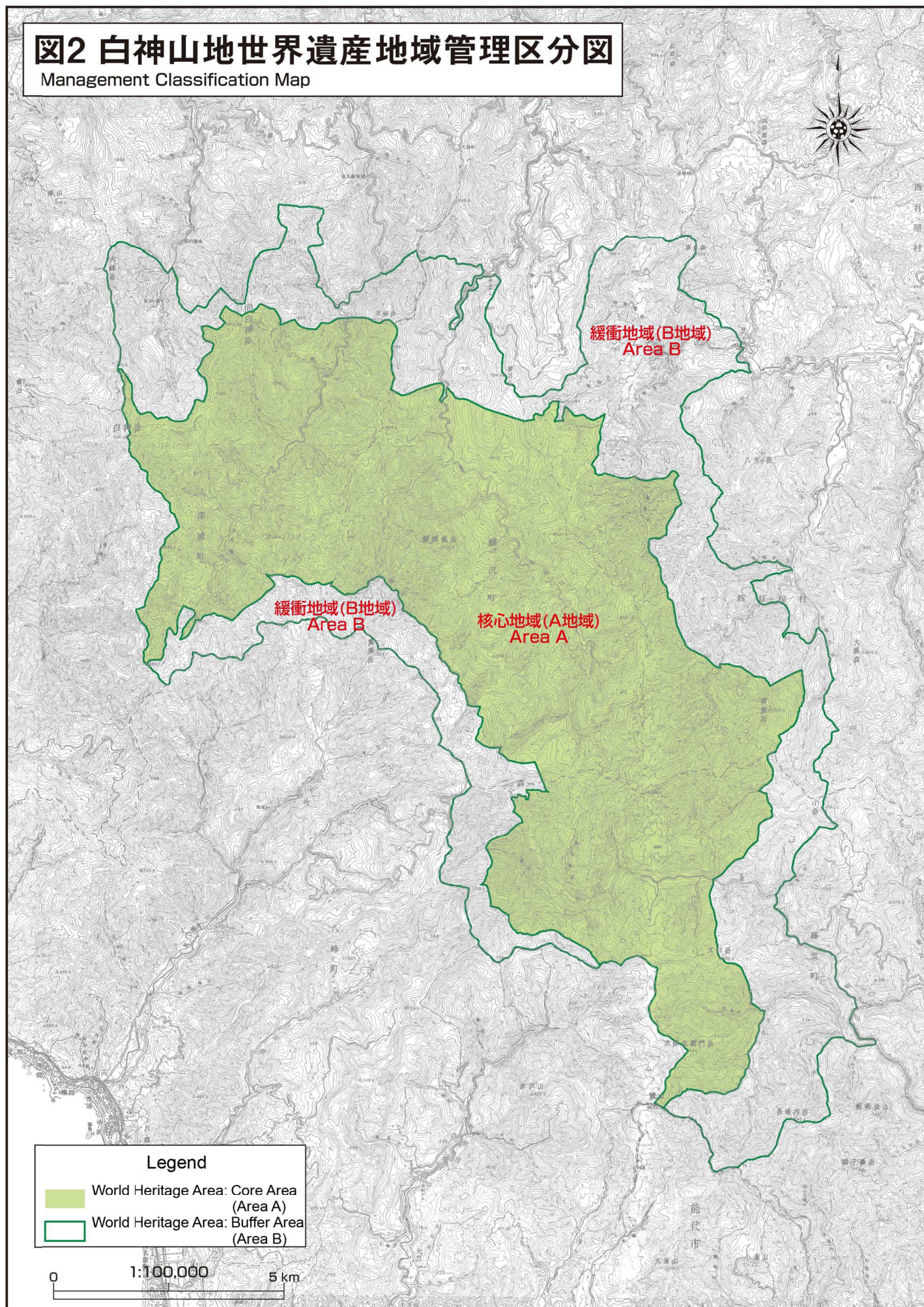
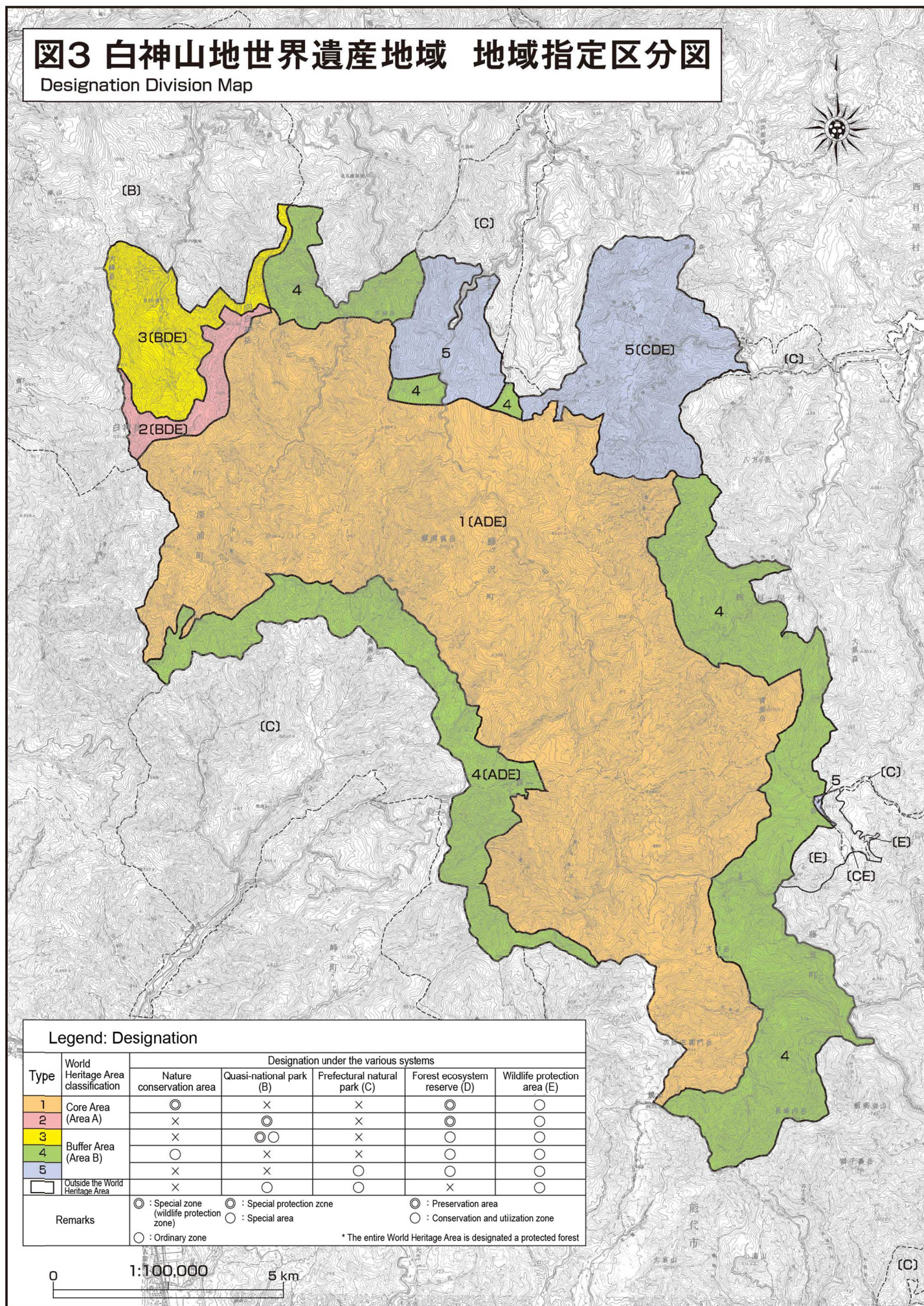


図3 白神山地世界遺産地域 地域指定区分図

Designation Division Map



Legend: Designation

Type	World Heritage Area classification	Designation under the various systems				
		Nature conservation area	Quasi-national park (B)	Prefectural natural park (C)	Forest ecosystem reserve (D)	Wildlife protection area (E)
1	Core Area (Area A)	◎	×	×	◎	○
2		×	◎	×	◎	○
3		×	◎○	×	○	○
4	Buffer Area (Area B)	○	×	×	○	○
5		×	×	○	○	○
	Outside the World Heritage Area	×	○	○	×	○
Remarks		◎ : Special zone (wildlife protection zone)	◎ : Special protection zone	◎ : Preservation area	○ : Conservation and utilization zone	
		○ : Ordinary zone	○ : Special area			

* The entire World Heritage Area is designated a protected forest

0 1:100,000 5 km

リサイクル適正の表示:印刷用の紙にリサイクルできます。
この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係わる判断の基準にしたがい、
印刷用の紙へのリサイクルに適した材料「A ランク」のみを用いて作製しています。